矢掛町埋蔵文化財発掘調査報告２

清水谷遺跡

〈柚木地区〉

里山田地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査（２）

2003年3月

岡山県矢掛町教育委員会

矢掛町埋蔵文化財発掘調査報告２

清水谷遺跡

〈柚木地区〉

里山田地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査（２）

2003年３月

岡山県矢掛町教育委員会

調査区全景（真上より）

巻頭図版 2

出土土器（1）

出土土器（2）

序

矢掛町は岡山県の南西部に位置する人口約17,000人の町で、水と自然に恵まれた風光明媚な土地柄です。また、古代には吉備真備公ゆかりの下道氏が繁栄を極め、近世には山陽道第18番目の宿場町として国指定重要文化財の旧矢掛本陣・旧矢掛脇本陣が現存する歴史かおる町としても有名です。

また、矢掛町には400箇所以上の遺跡が存在することが岡山県教育委員会の調査で分かっています。

平成９年度に県営圃場整備事業に先立って、事業予定地内の確認調査が実施され、南北に連なる山裾を中心に弥生時代から中世の集落に関連した遺構と、縄文時代以降の土器・石器などの遺物が検出されました。

これらの調査成果を受けて、工事で影響を受ける範囲について記録保存のための発掘調査を、平成11年度から平成14年度まで国庫補助事業として実施いたしました。その結果、平成11年度の発掘調査では弥生時代前期後半の環濠集落が発見され、県内だけでなく西日本中の注目を集めました。

今回はその環濠集落と近接する地区の調査でもあり、発見された遺構の関連性が注目されます。また、古墳時代から中世にかけてのまとまった資料が検出されたことは矢掛町の歴史の一ページが新たにひらかれたといっても過言ではありません。

本書が埋蔵文化財の保護・保存に役立ち、歴史研究や郷土の理解の一助となれば幸いです。

また、発掘調査にあたりましては、岡山県教育庁文化課、岡山県古代吉備文化財センター、あるいは多くの研究者の方々から、数々のご指導とご教示を賜りました。

最後になりましたが、岡山県井笠地方振興局、ならびに地権者の皆様には多大なご支援とご助力をいただくとともに、地元有志をはじめとする作業員の方々には、真夏の猛暑の中、誠心誠意で発掘調査に従事してくださいました。あわせて厚くお礼申し上げます。

平成15年3月31日

矢掛町教育委員会
教育長　守　屋　　保

例　言

1．本書は里山田地区県営圃場整備事業に伴い、矢掛町教育委員会によって実施された清水谷遺跡＜柚木地区＞の発掘調査報告書である。

2．清水谷遺跡＜柚木地区＞は岡山県小田郡矢掛町里山田1361－１、1362－１に所在する。

3．発掘調査は2001年5月14日から2002年3月29日まで実施し、整理作業及び報告書作成は2002年6月3日から2003年3月31日までおこなった。

4．発掘調査および報告書の作成にあたっては下記の諸氏・関係機関からご支援、ご助言をいただいた。記して感謝の意を表したい（敬称略・順不同）。

赤澤宜侯　武田恭彰　高田知樹　森　宏之　松本和男　尾上元規　藤原憲芳　山本圭介
井笠地方振興局　岡山県教育庁文化課　岡山県古代吉備文化財センター　総社市教育委員会　地元地権者の方々

5．本報告書の作成は矢掛町教育委員会がおこない、執筆・編集は藤江望がおこなった。

6．出土遺物、図面、写真などはすべて矢掛町教育委員会（小田郡矢掛町矢掛2677－1）が保管している。

凡　例

1．本報告書にもちいた高度は海抜高である。

2．本報告書に掲載した地図は矢掛町全図・矢掛町都市計画図を縮小複製したものに、加筆・修正したものである。

3．本報告書の遺構、遺物の縮尺は基本的に以下のとおりである（一部を除く）。

遺構　1/30・1/60　　土器　1/4　　石器・土製品　1/2　　玉類　1/1

4．遺構図の網掛けは柱痕を示す。

5．報告書に掲載した遺物番号は土器、石器・石製品、土製品にわけて通し番号をつけ、土器以外については下記の記号を付している。また、図番号・観察表番号は対応している。

石器・石製品：S　　土製品：C

6．本報告書に掲載した出土土器の図面のうち、中軸線の左右に白抜きのある図は口径復元をしたものである。

7．土器観察表における色調は『新版　標準土色帖（1988年版）』（農林水産省・農林水産技術会議事務局監修、財団法人日本色彩研究所色票監修）を参考にした。

8．石器の分類は打製石鏃についてのみおこない、岡山県教育委員会の分類にしたがった。具体的には以下のとおりである。

Ⅰ類：平基式　　Ⅱ類：凹基式　　Ⅲ類：凸基Ⅰ式　　Ⅳ類：有茎式
Ⅴ類：抉り入り式　　Ⅵ類：凸基Ⅱ式

Ⅰ　Ⅱ　Ⅲ　Ⅳ　Ⅴ　Ⅵ

目　次

巻頭図版

序

例　言

凡　例

目　次

第Ⅰ章　調査の経緯 …… 1
　第１節　調査に至る経緯 …… 1
　第２節　調査の体制 …… 2
　第３節　調査の経過 …… 2
　第４節　報告書作成の体制と経過 …… 4

第Ⅱ章　地理的位置と歴史的環境 …… 5
　第１節　地理的位置と環境 …… 5
　第２節　歴史的環境 …… 6

第Ⅲ章　発掘調査の概要 …… 9
　第１節　調査の概要 …… 9
　第２節　遺構と遺物 …… 10
　　（１）掘立柱建物 …… 10
　　（２）柵列 …… 43
　　（３）溝 …… 43
　　（４）土壙 …… 49
　　（５）柱穴 …… 55
　　（６）遺物包含層 …… 67

第Ⅳ章　まとめ …… 73

観察表

図版

報告書抄録

挿 図 目 次

第１図　調査区の位置 (S=1/5,000)
第２図　グリッド設定図 (S=1/600)
第３図　遺跡の位置 (s=1/4,500,000・S=1/150,000)
第４図　主要遺跡分布図 (S=1/25,000)
第５図　遺構配置図 (S=1/200)
第６図　西壁セクション図 (S=1/60)
第７図　東西トレンチ セクション図 (S=1/60)
第８図　SB01出土遺物 (S=1/2・S=1/4)
第９図　SB01 (S=1/60)
第10図　SB02 (S=1/80)
第11図　SB02・SB03出土遺物 (S=1/2・S=1/4)
第12図　SB03 (S=1/60)
第13図　SB04 (S=1/60)
第14図　SB04出土遺物 (S=1/4)
第15図　SB05 (S=1/60)
第16図　SB06 (S=1/60)
第17図　SB06 (S=1/60)
第18図　SB05・SB06出土遺物 (S=1/2・S=1/4)
第19図　SB07 (S=1/60)
第20図　SB07・SB08出土遺物 (S=1/2・S=1/4)
第21図　SB08 (S=1/60)
第22図　SB09 (S=1/60)
第23図　SB10 (S=1/60)
第24図　SB10出土遺物 (S=1/4)
第25図　SB12 (S=1/60)
第26図　SB12 (S=1/60)
第27図　SB13出土遺物 (S=1/4)
第28図　SB13出土遺物 (S=1/2)
第29図　SB13 (S=1/80)
第30図　SB13 (S=1/80)
第31図　SB14 (S=1/60)
第32図　SB15 (S=1/60)
第33図　SB16 (S=1/60)・SB16出土遺物 (S=1/4)
第34図　SB14・SB15出土遺物 (S=1/4)
第35図　SB17 (S=1/60)
第36図　SB19 (S=1/60)
第37図　SB18 (S=1/60)
第38図　SB18出土遺物 (S=1/2)
第39図　SB19出土遺物 (S=1/4)
第40図　SB21 (S=1/60)
第41図　SB20出土遺物 (S=1/4)
第42図　SB20 (S=1/60)
第43図　SB22 (S=1/60)
第44図　SB22 (S=1/60)
第45図　SB22出土遺物 (S=1/4)
第46図　SB23 (S=1/60)
第47図　SB23・SB25出土遺物 (S=1/2・S=1/4)
第48図　SB25 (S=1/60)
第49図　SB24 (S=1/60)
第50図　柵列 (S=1/80)
第51図　SD11・SD12・SD13・SD14出土遺物 (S=1/4)
第52図　SD13出土遺物 (S=1/2)
第53図　SD15・SD16・SD17・SD19・SD20出土遺物 (S=1/2・S=1/4)
第54図　SK5 (S=1/30)・SK5出土遺物 (S=1/2・S=1/4)
第55図　SK27 (S=1/30)
第56図　SK27出土遺物 (S=1/2・S=1/4)
第57図　SK8出土遺物 (S=1/2・S=1/4)
第58図　土壙出土遺物(1)　(S=1/4)
第59図　土壙出土遺物(2)　(S=1/2・S=1/4)
第60図　柱穴(1)　(S=1/30)
第61図　柱穴(2)　(S=1/30)
第62図　柱穴出土遺物(1)　(S=1/4)
第63図　柱穴出土遺物(2)　(S=1/4)
第64図　柱穴出土遺物(3)　(S=1/4)
第65図　柱穴出土遺物(4)　(S=1/4)
第66図　柱穴出土遺物(5)　(S=1/4)
第67図　柱穴出土遺物(6)　(S=1/4)
第68図　柱穴出土遺物(7)　(S=1/2)
第69図　包含層出土遺物(1)　(S=1/4)
第70図　包含層出土遺物(2)　(S=1/4)
第71図　包含層出土遺物(3)　(S=1/4)
第72図　包含層出土遺物(4)　(S=1/4)

第73図　包含層出土遺物(5)　(S=1/4)
第74図　包含層出土遺物(6)　(S=1/4)
第75図　包含層出土遺物(7)　(S=1/4)
第76図　包含層出土遺物(8)　(S=1/2)
第77図　包含層出土遺物(9)　(S=1/2)
第78図　包含層出土遺物(10)　(S=1/2)
第79図　包含層出土遺物(11)　(S=1/1・1/2)
第80図　包含層出土遺物(12)　(S=1/2)
第81図　包含層出土遺物(13)　(S=1/2)

表　目　次

第１表　出土土器観察表
第２表　出土石器・石製品一覧表
第３表　出土土製品一覧表

図 版 目 次

巻頭図版１　調査区全景（真上より）
巻頭図版２　上　出土土器（１）　下　出土土器（２）
図　版１　上　調査区遠景　下　調査区近景（西側より）
図　版２　上　調査区（１）　下　調査区（２）
図　版３　上　調査区現状　中　表土掘削状況
下　遺構検出状況（１）
図　版４　上　遺構検出状況（２）　中　調査区西壁セクション（１）
下　調査区西壁セクション（２）
図　版５　上　調査区西壁セクション（３）中　東西トレンチ１
下　東西トレンチ１　セクション
図　版６　上　掘立柱建物完掘状況　中　建物跡完掘状況　下　焼土壙検出状況
図　版７　上　焼土壙断面　中　焼土壙完掘状況（１）　下　焼土壙完掘状況（２）
図　版８　上　土壙断面　中　土壙完掘状況　下　遺物出土状況（１）
図　版９　上　遺物出土状況（２）　中　遺物出土状況（３）　下　遺物出土状況（４）
図　版10　出土土器（３）
図　版11　出土土器（４）
図　版12　出土石器・石製品（１）
図　版13　出土石器（２）
図　版14　出土土製品

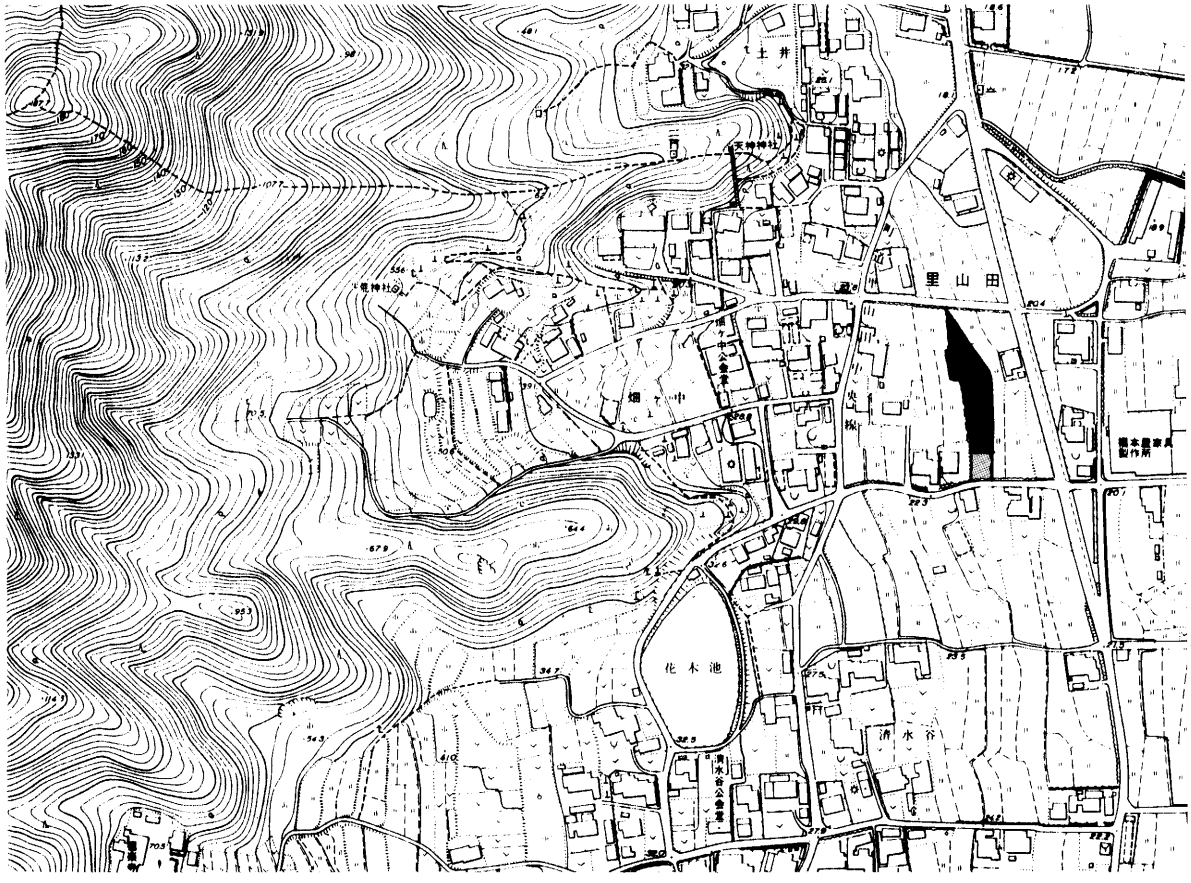
第Ⅰ章　調査の経緯

第１節　調査に至る経緯

小田郡矢掛里山田地内において、県営ほ場整備事業（担い手育成基盤事業）が計画されたことに伴い、平成９年度、岡山県教育委員会による確認調査が実施された[1]。その結果、事業予定地内に弥生時代から中世にかけての竪穴住居や土壙、柱穴、溝などの集落に関する遺構と縄文時代以降の遺物が数多く検出され、周知の遺跡以外にも広範囲に埋蔵文化財の存在が確認された。この調査の結果をふまえ、関係各機関の協議のすえ、事業予定地は一部を除いて盛り土工法とし、埋蔵文化財の保護に努めることになった。

しかし、平成13年２月、里山田地区ほ場整備組合より矢掛町に対し、事業予定地の柚木地区について一部を切土工法に変更する旨の要望が出された。柚木地区は確認調査の結果、遺構が集中している[1]と指摘されている地区のひとつであるため、矢掛町教育委員会は従来どおり盛土工法による事業の実施を依頼したが、周囲との高低差が著しいため盛土工法は困難である旨の回答をうけた。矢掛町教育委員会は岡山県教育庁文化課と協議のうえ、要望が出された1,510㎡についてやむを得ず、発掘調査による記録保存を実施することとした。

註（１）杉山一雄編『清水谷遺跡ほか』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告134　岡山県教育委員会　1998年。



第１図　調査区の位置（Ｓ＝1/5,000）　※網掛部分が国庫補助対象地区190㎡

第２節　調査の体制

発掘調査は平成13年５月より平成14年３月まで、岡山県井笠地方振興局より委託をうけ、岡山県教育庁文化課の指導のもと、矢掛町教育委員会が主体となり実施した。

［発掘調査組織］

矢掛町教育委員会

教育長　守屋　保

生涯学習課

課長　谷許和昭

課長補佐　赤澤潤一

主事　丹下千里

主事　小川泰徳

主事補　藤江　望（調査担当）

発掘調査作業員及び遺物整理作業員

藤井　君子　松岡　峰子　新谷　厚江　笠原　夏江　笠原　景子　河上　広江

田口　正子　森川　綱夫　大森　毅　斎木　武士　山辺　静男　山辺須磨子

河上　郁夫　坂口　優子　武政めぐみ　平井まり子　鹿嶋　喜重

第３節　調査の経過

発掘調査は文化庁の平成13年度国庫補助を受け、平成13年5月から平成14年3月まで、矢掛町教育委員会が小田郡矢掛町里山田地内の県営ほ場整備事業に伴う工事で影響を受ける、1,510㎡について実施した。なお、国庫補助対象地区は190㎡（第１図網掛け部分）である。調査は現場の作業と遺物整理作業を並行して行い、現場終了後は遺物整理作業を重点的におこなった。

調査は、まず最初に重機により表土を掘削した後、調査区のグリッドを第２図のように設定した。基準杭はほぼ東西南北に10ｍ間隔で設置し、任意に東側から西側へＡからＤまで、南側から北側へ１から12まで記号と番号を付した。また、グリッド名は南西隅の杭を基準にＡ－１、Ａ－２…のように設定した。

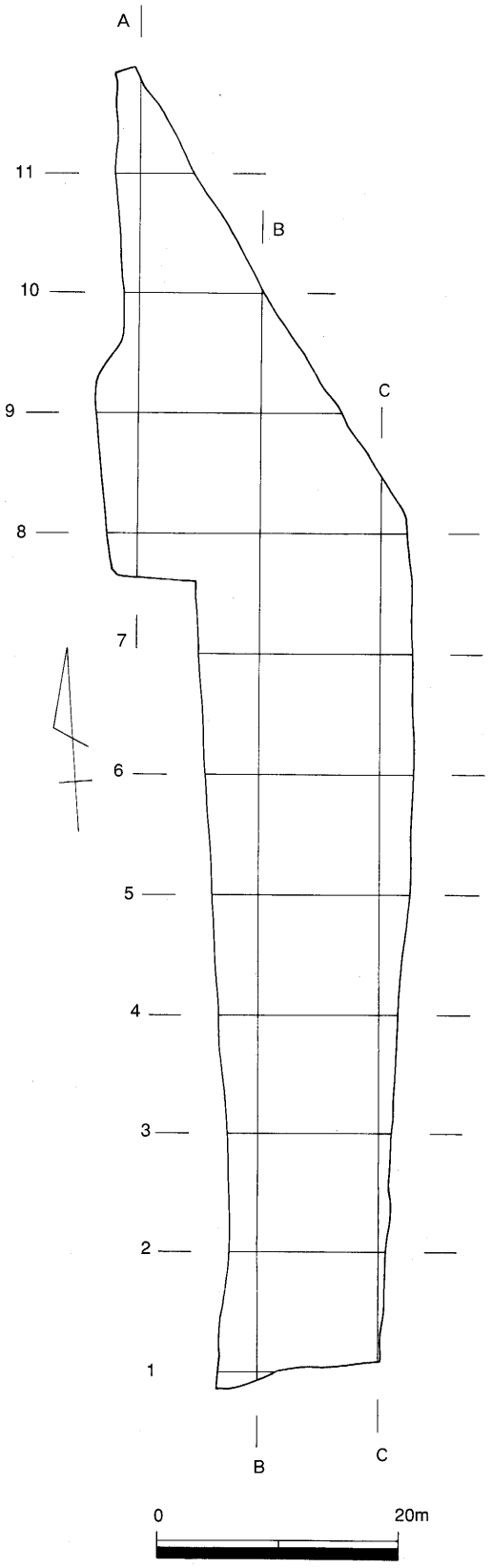
また、遺跡の土層断面を確認し、遺跡形成過程を把握することと水抜きの目的で調査区の西側に沿って幅50㎝のトレンチを設定した。さらに遺跡が山裾の緩斜面に立地していることから、東西方向に20ｍ毎に幅50㎝のトレンチを4本設定し、遺跡形成過程の把握につとめた。

掘削は調査区北側から南側に向かって順じ、掘り下げをおこなった。調査をすすめていくと調査区内をほぼ南北に縦断するパイプが通っていることが分かり、このカクラン箇所については掘削することを避けることとした。これにもかかわらず、調査区内の遺構密度は予想以上に高く、現場作業時の共伴遺物による遺構の時期の特定と遺跡の継続期間の把握は非常に困難であった。

なお、調査は工事の影響をうけない深さまでを目途とした。

（日誌抄）

平成13年　５月14日　発掘調査着手準備。
　　５月28日　重機により表土掘削。
　　６月１日　グリッド設定。
　　６月４日　トレンチ設定・掘削。
　　遺物包含層掘削開始。
　　６月７日　遺構面検出。
　　７月24日　遺構掘削開始。
　　９月３日　一部、土壙埋土水洗。
　　埋土中よりサヌカイト製石器および剥片多数検出。
　　９月21日　遺物包含層掘削終了。
　　11月17日　遺構掘削終了。
　　11月21日　遺構実測終了。
　　11月22日　航空写真撮影。
　　11月23日　発掘調査現地説明会開催。
　　12月13日　現場資材撤収。
平成14年　１月25日　包含層出土遺物洗浄終了。
　　３月26日　包含層出土遺物接合終了。



第２図　グリッド設定図（Ｓ＝1/600）

第４節　報告書作成の体制と経過

本書は、平成13年５月から平成14年３月に矢掛町教育委員会が実施した発掘調査を対象として作成した。報告書の作成は平成14年６月から平成15年３月まで井笠地方振興局の委託を受け、矢掛町教育委員会が主体となりおこなった。発掘調査面積は1,510㎡、遺構総数は約1,500基、出土遺物はコンテナ約100箱である。

出土遺物の水洗・接合作業は平成13年度の現場作業後に約７割を終了していたので、残りの土器の水洗・接合作業から開始し、注記・復元作業、遺物台帳の整備と並行しておこなった。その後、土器・石器・石製品・土製品について器種、残存状況等を加味し、実測する遺物を土器約600点、石器など約200点を選定した。なお、実測した遺物のほとんどを報告書に掲載している。

また、遺物整理と並行して、遺構図の整理をおこない、現場作業時に困難であった共伴遺物による遺構の時期の特定と遺跡の継続期間の把握につとめた。

遺構図の作成および土層断面図のトレースは現場担当者がおこない、遺物のトレースは担当者及び作業員がおこなった。

[報告書作成組織]

矢掛町教育委員会

教育長　守屋　保

生涯学習課

課長　谷許和昭

課長補佐　赤澤潤一

主事　丹下千里

主事　小川泰徳

主事　藤江　望（報告書作成担当）

遺物整理作業員

坂口　優子　武政めぐみ　平井まり子

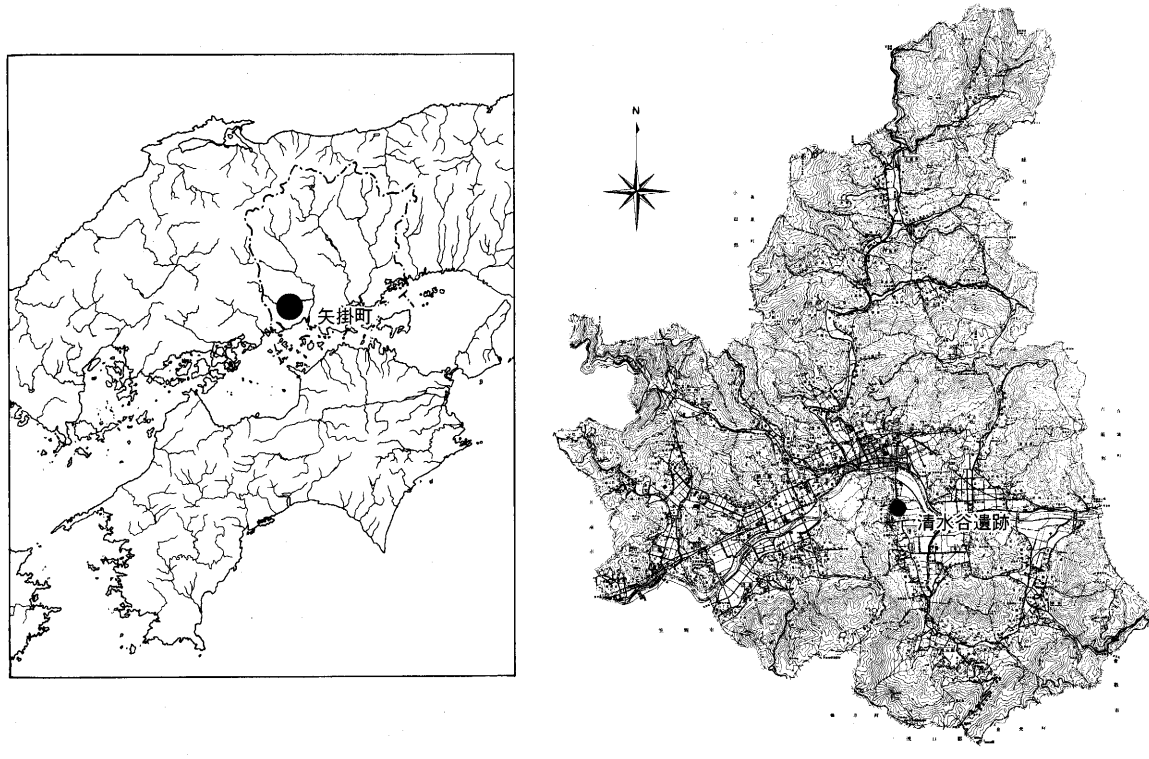
第Ⅱ章　地理的位置と歴史的環境

第１節　地理的位置と環境

清水谷遺跡柚木地区は矢掛町里山田１３６１－１・１３６２－１に所在する。まず最初に遺跡の名称について触れておきたい。岡山県では従来、小字名を遺跡名として使用しており、矢掛町教育委員会でもそれに準拠する形式をとるべきであるが、本遺跡はすでに発刊されている岡山県埋蔵文化財発掘調査報告134『清水谷遺跡ほか』の中で述べられているように、矢掛町里山田地内の圃場整備事業予定地の埋蔵文化財確認調査当時、遺構の存在する小字が多数あり、繁雑になるのを防ぐために「清水谷遺跡ほか」とし小字の地区名による記述によって報告がなされている。遺跡名称の検討はすでに指摘されているところである(1)が、岡山県内では本遺跡について「清水谷遺跡」という名称でひろく周知されており、前回の報告の際も小字の地区名による記述をおこなった。今回も同事業の発掘調査報告ということもあり、前報告を踏襲し小字の地区名で記述することとする。

矢掛町は岡山県南西部に位置し、瀬戸内海気候の比較的温暖で、雨量の少ない気候風土である。主要河川として高梁川の支流である小田川が町の南部を東西に横切り、流域にはわずかに平野を形成している。矢掛町の地形の大半は山地が占めており、北側は吉備高原の南端にあたり、南側は阿部山・竹林寺山・遥照山など海抜400ｍクラスの山々が連なっている。このため、雨量は少ないが水資源には恵まれているといえる。

矢掛町の地質は北部から中部にかけて広がる中生代末期（白亜紀）の花崗岩と南部一帯に広がる流紋岩などの火成岩類が主体を占め、その他粘板岩、輝緑岩がわずかに存在している(2)。



第３図　遺跡の位置（Ｓ＝1/4,500,000・Ｓ＝1/150,000）

清水谷遺跡柚木地区は小田川の南岸、遥照山山系からの緩斜面に立地する。やや峡狭な山が両側にあり、その谷部に位置する。眼前に小田川の氾濫原である比較的広い平野を有し、背後に山をひかえる本遺跡は人類が生活を営むには好条件であったにちがいない。

第2節　歴史的環境

町内で最も古い人類の活動の痕跡は旧石器時代にさかのぼる[3]。阿部山から採集されたナイフ形石器がそれである。阿部山からはその他、サヌカイト製の打製石鏃や磨製石斧、弥生土器も採集されており[4]、自然豊かな山間部での断続的な人類の活動がうかがえる。

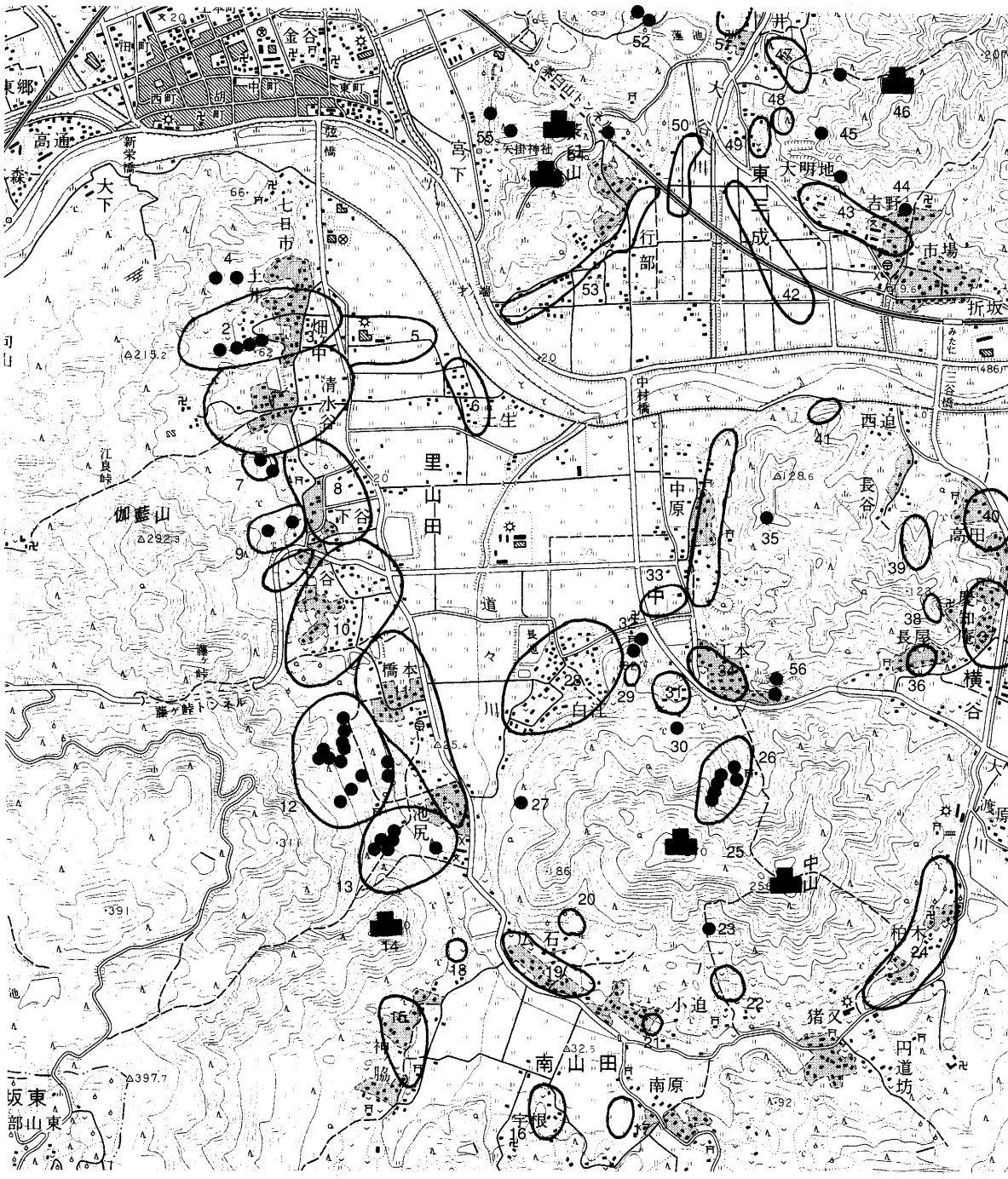
東三成の奥迫遺跡東土井地区[5]で縄文時代早期の楕円押型文土器が出土しているが、町内で人々の活動が顕著になるのは縄文時代後・晩期になってからである。奥迫遺跡東土井地区、里山田の清水谷遺跡、下谷遺跡[6]、中の中池ノ内遺跡[7]などで土器が発見されている。いずれも遺構に伴う出土資料ではないが、遺跡の分布は町内の広範囲にわたっている。

弥生時代になると遺跡の数は飛躍的に増加する。前期の遺跡として注目されるのは里山田の清水谷遺跡一本木地区[8]で、環濠集落と水田跡などが発見された。環濠集落は出土した土器の埋没状況から、弥生時代前期後半から中期初頭の短期間に利用され、廃絶されたことが分かっている。また、環濠集落の約半分が調査されたことで集落内の遺構配置が確認され、当該時期の集落構造を考える上で貴重な遺跡となった。また、少し時代がくだると神之脇遺跡・上山遺跡[9]や竹林寺地蔵岩遺跡など奥まった地形や山間部にも遺跡が増え、小田川流域だけでなく町内にひろく人々の活動の痕跡がみうけられるようになる。また、中の白江遺跡[10]からは後期の土器がまとまって発見され、備中地域当該時期の標識遺跡となっている。

東三成の吉野遺跡[11]からは前期の壷棺が検出されている。この壷棺は二点の壷が入れ子になった状態で発見されており、うち内部におさめられた壷の胴部には穿孔がほどこされており、当時の葬送観念をうかがうことができる。また、後期になると芋岡山遺跡[12]や中池ノ内遺跡から土壙墓や土器棺墓がまとまった状態で発見されており、生活区域と墓域とを分けた状況は周辺地域の検出状況と同様である。

古墳時代の集落の調査例はほとんどなく、状況把握は困難である。しかし、町内全域にわたって、山裾を中心に多くの古墳が築造されており、弥生時代から引き続き人々の活動が活発だったことを推測させる。とくに今回発掘調査した里山田地区周辺は町内の古墳の中でも特出すべき古墳が築造されている。ひとつは、通称「橋本荒神塚」と呼ばれている橋本古墳群の15号墳で、径が約20ｍの円墳である[13]。横穴式石室の内部には石棚を有し、その構造は珍しく、県内でも6例が知られるのみである。石棚の機能は屍床としての利用や石室の内部構造として石障が発達したものなど解釈が分かれるところであるが、町内の同時期の古墳と比較して規模とその特異な構造から、被葬者は地域の有力者だったのではないかと推測される。橋本古墳群からさらに南にくだったところに小迫大塚古墳が築造されている[14]。墳丘の一部が削平をうけているが、町内の古墳では最大級の横穴式石室の方墳で、築造は古墳時代後期終わりごろである。これと同時期に営まれた東三成の下道氏の墓域からは火葬したと思われる骨蔵器が発見されており、仏教の影響と在来の葬送観念の有様が注目される。小迫大塚古墳が終末期古墳として示す歴史的意義は大きい。

奈良時代になると、一般の集落とは違う性格を持った遺跡が町内に点在するようになる。浅海の毎



1．清水谷遺跡　2．畑中古墳群　3．畑中散布地　4．土井１・２号墳　5．清水谷遺跡一本木地区
6．中世散布地　7．四項山古墳群　8．里山田下谷遺跡　9．三項山古墳群　10．里山田上谷遺跡
11．橋本散布地　12．橋本古墳群　13．池尻古墳群　14．焼山城址　15．神之脇遺跡
16．中世散布地　17．上山遺跡　18．中世散布地　19．中世散布地　20．中世墓地
21．中世散布地　22．鉄滓散布地　23．小迫大塚古墳　24．中世散布地　25．船ヶ迫山城址
26．安居寺谷古墳群　27．王子の塚古墳　28．白江遺跡　29．芋岡山遺跡　30．後期古墳
31．中池ノ内遺跡　32．芋岡山１・２号墳　33．白江遺跡（圃場整備）　34．古墳・中世散布地　35．弥生墳墓？
36．中世散布地　37．中世散布地　38．妙泉寺境内内中世墓地　39．中世散布地　40．中世散布地
41．古墳散布地　42．奥迫遺跡沖ノ後地区ほか　43．吉野遺跡　44．圀勝寺裏古墳　45．後期古墳
46．要ガイ山城址　47．弥生散布地　48．大里中世墓地　49．大里中世散布地　50．奥迫遺跡赤岸地区ほか
51．奥迫遺跡西土井地区　52．古墳～中世散布地　53．茶臼山城掘址　54．茶臼山城址　55．蛸の頭古墳
56．江本裕安寺谷１・２号墳

第４図　主要遺跡分布図（Ｓ＝1/25,000）

戸遺跡[15]、中の白江遺跡[16]では発掘調査の結果、出土資料から官衙の可能性が指摘されている。とくに毎戸遺跡からは３棟の規則的に配置された掘立柱建物とともに、「馬」の銘が墨書された土師期が出土し、古代の駅家跡だった可能性が高く、古代交通史上貴重な発見となった。この発見から現在の矢掛町内が古代から近世にかけて山陽道交通のうえで重要な位置を占めていたことが推測される。

中世になると、川面館跡や毎戸西方遺跡などの町西部や東三成の奥迫遺跡大里地区、中の中池ノ内遺跡などで遺構が発見されている。その他、町内全域にわたり中世段階の散布地が発見されており、現在の集落とほぼ一致している。また、町内には中世の山城が15以上も築かれ、戦国期の全国的な時代の流れの中に位置づけられる。とくに横谷の猿掛城は庄氏の居城として利用された後、毛利元清の出城になるなど、備中国支配の要として歴史上注目される史跡である。

さらに近世には山陽道第18番目の宿場町として興隆を極めた。大名宿として利用された旧矢掛本陣石井家には当時の資料が数多く残され、大名や貴族などの宿泊の記録や庶民の暮らしをことこまかに知ることができる。

以上のように矢掛町は古代より一般的な人々の生活が営まれるだけでなく、公的な施設や拠点施設が発達していたことが分かる。また、清水谷遺跡が所在する里山田地内は町内でも特出すべき遺跡が多く存在しており、人々が活動し生活を営むのに適した土地柄だったことが推測される。また、柚木地区の周辺には小字名をみても「土井」や「七日市」といった中世段階の土地利用がうかがえる地名が残存しており興味深い。

註（１）杉山一雄編『清水谷遺跡ほか』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告134　岡山県教育委員会　1998年。
（２）森　文忠「第一章　第二節　地形と地質」『矢掛町史　本編』矢掛町　1982年。
（３）間壁忠彦ほか「第二章　郷土のあけぼの」『矢掛町史　本編』矢掛町　1982年。
（４）鴨方町立天文台博物館蔵
（５）高畑知功『奥迫遺跡』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告60　岡山県教育委員会　1985年。
（６）蛯原啓介「里山田下谷遺跡」『岡山県埋蔵文化財報告』31　岡山県教育委員会　2001年。
（７）尾上元規『中池ノ内遺跡』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告108　岡山県教育委員会　1996年。
（８）直原伸二『清水谷遺跡＜一本木地区＞』矢掛町埋蔵文化財発掘調査報告１　矢掛町教育委員会　2001年。
（９）小林利晴・大澤正己『神之脇遺跡ほか』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告169　岡山県教育委員会　2002年。
（10）間壁忠彦「岡山県矢掛町白江遺跡」『倉敷考古館研究集報』第1号　倉敷考古館　1966年。
（11）宇垣匡雅「吉野遺跡」『岡山県埋蔵文化財報告』22　岡山県教育委員会　1992年。
（12）間壁忠彦「岡山県矢掛町芋岡山遺跡調査報告」『倉敷考古館研究集報』第３号　倉敷考古館　1967年。
（13）平井　勝「岡山県矢掛町橋本荒神塚古墳（橋本15号墳）の測量調査」『古代吉備』第19集　1997年。
（14）藤田憲司・伊藤　晃「小迫大塚古墳」『岡山県史』第18巻　考古資料　岡山県史編纂委員会　1986年。
（15）下澤公明『川面館跡・毎戸遺跡・毎戸西方遺跡』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告５　岡山県教育委員会　1974年。
（16）桑田俊明『白江遺跡ほか』岡山県埋蔵文化財発掘調査報告80　岡山県教育委員会　1992年。

第Ⅲ章　発掘調査の概要

第１節　調査の概要

今回調査の対象となった柚木地区は周知の遺跡として従来よりその存在がしられていたが、平成９年度の岡山県教育委員会の確認調査において遺構の集中することが指摘された地区のひとつである。そのため里山田地内の県営圃場整備事業を実施するにあたり、盛土工法により遺跡の保全が計られたが、周囲との高低差が著しいため、削平される1,510㎡についてやむを得ず発掘調査を実施することとなった。なお、今回の調査は工事によって影響を受ける範囲にとどめた。

県の確認調査の結果、今回の調査区周辺は表土を剥いだ段階で遺構面が検出されることがわかっていたので、調査はまず北側から南側にむかって重機で表土を掘削していき、この段階で任意にグリッドを設定することとし、10m間隔で東西南北に杭を設定した。また、周囲の地形が東西方向の緩斜面であることから、杭にそって東西方向に3本のトレンチを設定し、さらに、調査区の西側に沿って水抜きをかねたトレンチを一本設定した。

表土を掘削したところ、調査区内を南北に縦断する近代のパイプが埋設されていることがわかった。パイプの埋設による撹乱は深いところで表土から1.3m以上にもなり、この他、調査区内を一部暗渠が横断している箇所もあった。また、調査区の西側はトレンチを設定したが田んぼの区画に沿っているため、暗渠がつくられており撹乱が著しい。また、暗渠は遺構面直上から遺構面にかけてつくられていることから、遺跡が形成された当時の原地形は後世の開墾による削平をうけている可能性が高い。なお、染め付け碗や陶器の鉢が暗渠の掘形より出土したため、これらは近世から近代にかけてつくられたものと考えられる。

層位は表土の下に旧表土がみとめられる箇所も一部あったが、概ね、薄いマンガン層があり、その下に遺物包含層がみとめられる。さらに、その下部が茶褐色ないし黄褐色の基盤層とおもわれる地山で、この基盤層に遺構を掘りこんでいることがわかった。遺物包含層は大別すると二層にわかれており、上層は灰褐色ないし暗灰褐色を呈する砂質土層で、マンガンを含み固くしまっている。下層は暗褐色ないし黒褐色で、やや粘性のある砂質土層で遺物を多く含む。遺物包含層は調査区の東側にいくにつれて厚く堆積しており、これは地形が傾斜していることと後世による削平の影響によるものであろう。遺物包含層の下部が基盤層で、この面に遺構を掘りこんでいる。遺構の埋土は概ね暗褐色ないし黒褐色で遺物包含層との識別が困難であった。しかし、出土遺物から本遺跡は縄文時代晩期から中世にかけての複合遺跡であることが分かっており、遺構面がひとつである可能性は低い。

調査区の南側にいくにつれて、粘性がつよく固くしまった層位となり、同時に遺構の数と遺物の量も減少する。地形を観察しても南側の方が若干落ち込んでいることから調査区の南側は谷部にあたるのではないかと推測される。また、最も遺構と遺物が集中するのは調査区の中央部で微高地にあたる。

次に調査は北側から南側へ向かって、順次、遺物包含層を掘削し、遺構面の検出に重きをおいた。また、岡山県が実施した確認調査のトレンチの位置を再確認し、周囲の遺構との整合性にもつとめた。その結果、確認調査のトレンチで確認された溝は両端が調査区外へのびる溝であることが分かった。

遺物包含層からは土器・石器などともに鉄滓や焼土塊が出土し、当時の人々が断続的に本遺跡を利

用し、一般的な生活を営んでいたことが分かった。また、特出すべき遺物として畿内産土師器の杯や円面硯があげられる。これらは一般の集落から出土する遺物とは考えにくいことから、本遺跡は7世紀頃、この周辺の拠点的集落あるいは官衙的な性格をもったものであったと考えられる。

遺構は柱穴を主体として土壙、溝を検出した。調査区西側の遺構は後世の削平が著しく、不明瞭な部分が多いが、東側へいくにつれてよく残っていた。遺構の密度は調査区中央部を中心に非常に高く、建物の配置を現場で把握することは困難であった。また、建物や溝の多くは東側の調査区外へ広がる傾向を示しており、とくに古墳時代から古代にかけての集落の主体部は東側の調査区外に存在すると思われる。調査区の南側からは2棟の総柱建物を検出した。この建物は倉庫である可能性が高く、周囲に同様の建物が複数存在すると思われる。

第2節　遺構と遺物

（1）掘立柱建物

1）SB01（第9図）

調査区の北端に位置する2×3間以上の建物で、1辺は調査区外のため不明である。平面形は長方形を呈し、各柱穴は約30～70cmの円形ないし楕円形で、深さは一様に約50～60cmである。柱穴の埋土は暗褐色の砂質土でやや粘性がある。遺物はサヌカイト製の打製石鏃（**S 1**）、サヌカイトのフレイクが出土しているが、土器の多くは古代後期ごろの土師器（**1**）が検出されており、遺構の時期は平安時代に位置づけられよう。

2）SB02（第10図）

調査区西北側に位置し、建物の1辺は調査区外のため不明である。4×4間以上の建物である。平面形はややいびつな長方形を呈し、各柱穴は約20～60cmの円形ないし楕円形で、埋土はやや粘質の暗褐色砂質土である。柱穴の深さは約20～40㎝でやや削平をうけている。遺物は弥生土器（**2**）サヌカイト製の打製石鏃が2点（**S 2**・**S 3**）、サヌカイトのフレイクが出土しているが、おおむね古墳時代の土師器、須恵器（**4**）の破片が多く当該時期に位置づけられる。

3）SB03（第12図）

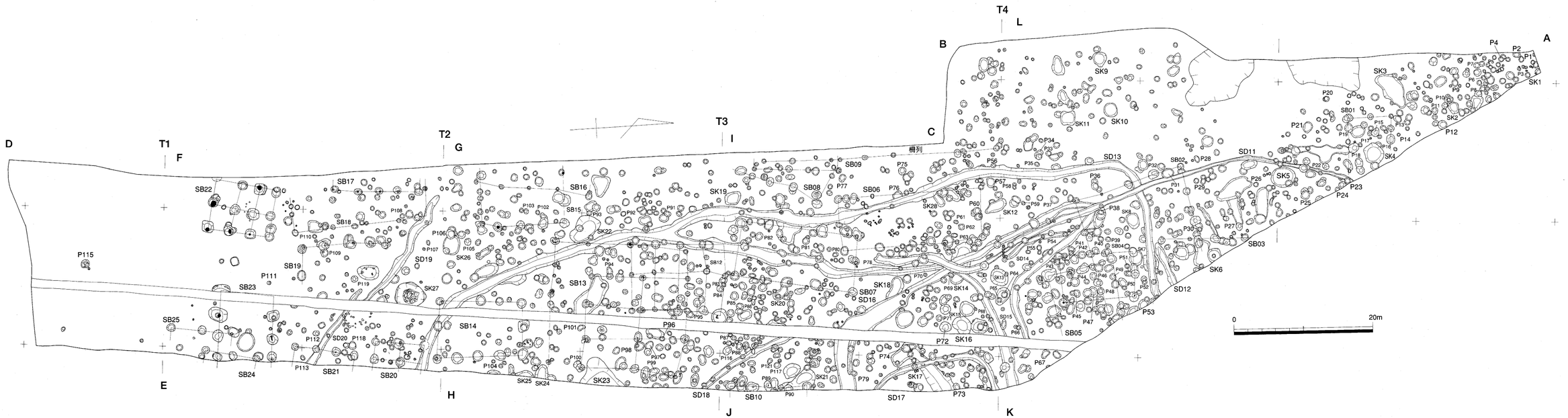
調査区西北側に位置する。建物の半分以上が調査区外になるため、規模は明らかではないが、2×3間以上のややいびつな長方形を呈する建物と推測される。各柱穴は径が約30～60cmの円形を呈し、埋土は暗褐色の砂質土である。また、調査区の西側にいくにつれて、削平を受けており、残存状況は良好でない。遺物は須恵器の口縁が1点（**3**）、須恵器・土師器の胴部片、サヌカイト製フレイクが数点検出された。

4）SB04（第13図）

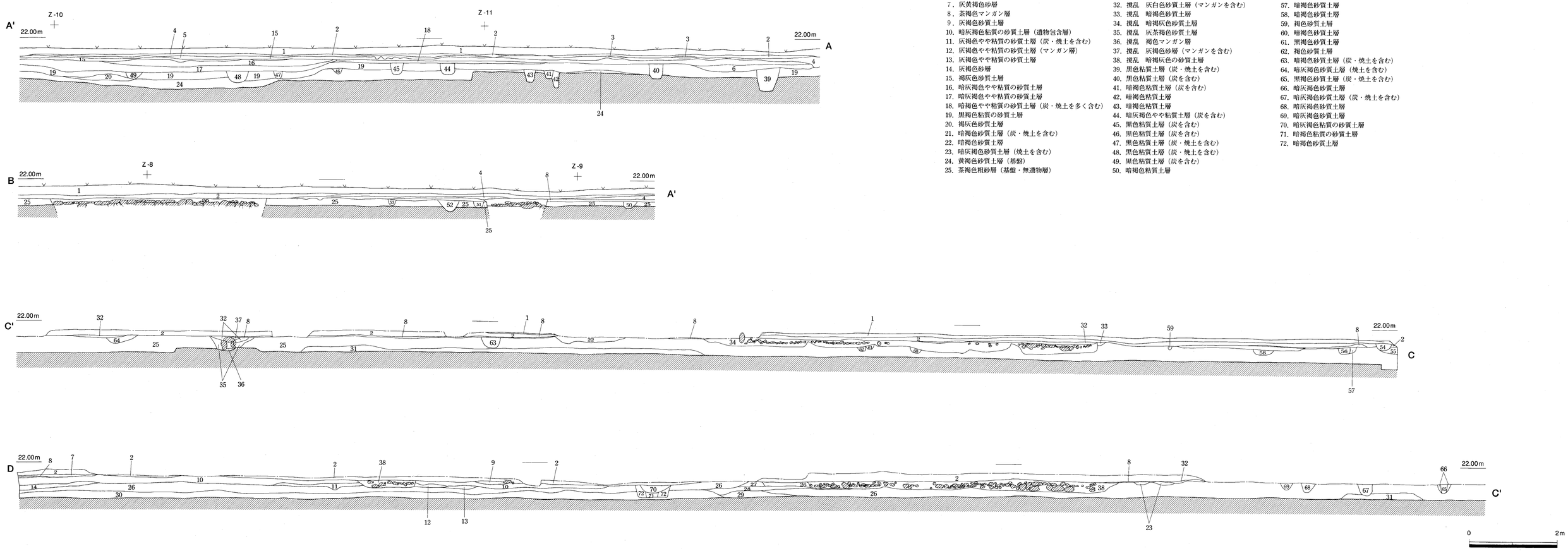
調査区北側に位置する2×3間の建物である。平面形は長方形を呈し、各柱穴は約50～60㎝の円形ないし楕円形を呈し、埋土はやや粘質の暗褐色砂質土である。一部黒褐色の柱痕を残すものもあった。柱穴の深さは約20～50㎝で、やや削平をうけている。遺物は古墳時代の土師器・須恵器（**5**）が多く出土しているほか、サヌカイトのフレイクがわずかに検出されている。

5）SB05（第15図）

調査区北側の西端に位置する。建物の位置から調査区外へのびる可能性を含んでいること、柱穴の配列の途中に近代のパイプ埋設に伴う撹乱をうけていることから2×2間以上の建物と推測される。

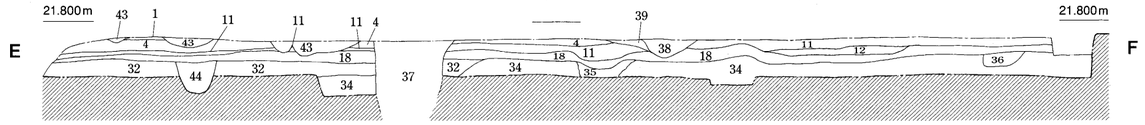


第５図　遺構配置図（Ｓ＝1/200）

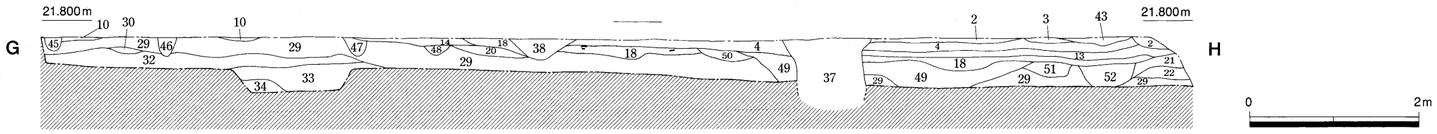


1．表土
2．灰褐色土層（マンガンをわずかに含む）（旧表土）
3．黒色土層（旧表土）
4．灰褐色砂質土層（マンガンを含む）
5．灰褐色砂質土層（マンガンを含む）
6．暗褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
7．灰黄褐色砂層
8．茶褐色マンガン層
9．灰褐色砂質土層
10．暗灰褐色粘質の砂質土層（遺物包含層）
11．灰褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
12．灰褐色やや粘質の砂質土層（マンガン層）
13．灰褐色やや粘質の砂質土層
14．灰褐色砂層
15．褐灰色砂質土層
16．暗灰褐色やや粘質の砂質土層
17．暗灰褐色やや粘質の砂質土層
18．暗褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を多く含む）
19．黒褐色粘質の砂質土層
20．褐灰色砂質土層
21．暗褐色砂質土層（炭・焼土を含む）
22．暗褐色砂質土層
23．暗灰褐色砂質土層（焼土を含む）
24．黄褐色砂質土層（基盤）
25．茶褐色粗砂層（基盤・無遺物層）
26．茶褐色マンガン層
27．茶褐色マンガン層
28．黒褐色マンガン層（無遺物層）
29．黄褐色砂層（無遺物層）
30．青灰色砂層（無遺物層）
31．褐色マンガン層
32．撹乱　灰白色砂質土層（マンガンを含む）
33．撹乱　暗褐色砂質土層
34．撹乱　暗褐灰色砂質土層
35．撹乱　灰茶褐色砂質土層
36．撹乱　褐色マンガン層
37．撹乱　灰褐色砂層（マンガンを含む）
38．撹乱　暗褐灰色の砂質土層
39．黒色粘質土層（炭・焼土を含む）
40．黒色粘質土層（炭を含む）
41．暗褐色粘質土層（炭を含む）
42．暗褐色粘質土層
43．暗褐色粘質土層
44．暗灰褐色やや粘質土層（炭を含む）
45．黒色粘質土層（炭を含む）
46．黒色粘質土層（炭を含む）
47．黒色粘質土層（炭・焼土を含む）
48．黒色粘質土層（炭・焼土を含む）
49．黒色粘質土層（炭を含む）
50．暗褐色粘質土層
51．暗灰褐色やや粘質の砂質土層
52．暗褐色やや粘質の砂質土層
53．暗褐色やや粘質の砂質土層（炭を含む）
54．灰褐色砂質土層
55．黒褐色砂質土層（炭・焼土を含む）
56．暗褐色砂質土層
57．暗褐色砂質土層
58．暗褐色砂質土層
59．褐色砂質土層
60．暗褐色砂質土層
61．黒褐色砂質土層
62．褐色砂質土層
63．暗褐色砂質土層（炭・焼土を含む）
64．暗灰褐色砂質土層（焼土を含む）
65．黒褐色砂質土層（炭・焼土を含む）
66．暗灰褐色砂質土層
67．暗灰褐色砂質土層（炭・焼土を含む）
68．暗灰褐色砂質土層
69．暗灰褐色砂質土層
70．暗灰褐色粘質の砂質土層
71．暗褐色粘質の砂質土層
72．暗褐色砂質土層

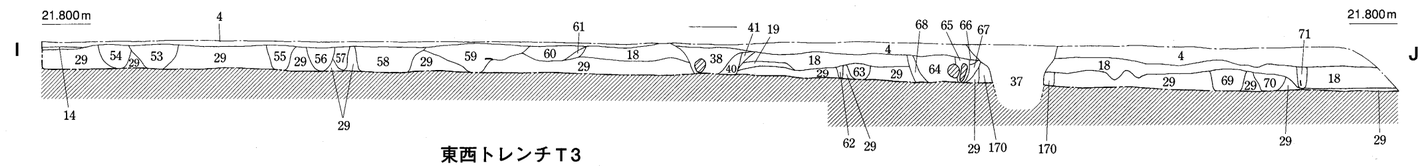
第６図　西壁セクション図（Ｓ＝1/60）



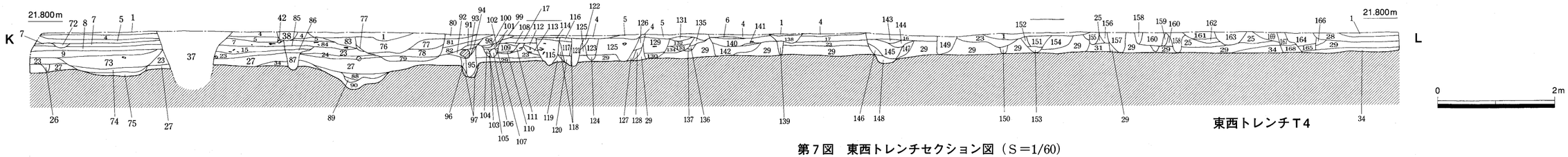
東西トレンチT1



東西トレンチT2



東西トレンチT3



東西トレンチT4

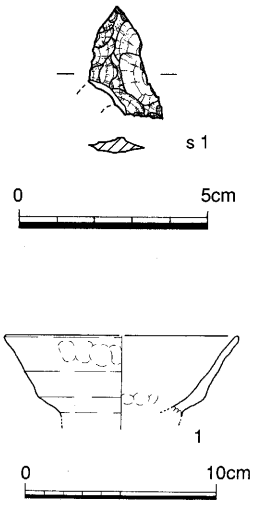
1．表土
2．灰黄色砂層
3．灰褐色砂質土層
4．灰黄褐色砂質土層
（マンガンを含む・遺物包含層）
5．灰黄褐色砂質土層（マンガンを含む）
6．茶褐色マンガン層
7．茶褐色砂質土層（マンガンを含む）
8．赤茶褐色砂質土層
（マンガンを多く含む）
9．灰黄褐色砂質土層（マンガンを含む）
10．暗褐色砂質土層
11．灰褐色砂質土層
12．茶褐色マンガン層
13．褐灰色砂質土層（遺物包含層）
14．暗褐色砂質土層（遺物包含層）
15．暗褐色砂質土層
16．褐色砂質土層（砂粒が粗い）
17．暗褐灰色砂質土層（砂粒が粗い）
18．褐灰色砂質土層
（炭・焼土を含む．遺物包含層）
19．褐灰色砂質土層（遺物包含層）
20．暗褐色粘質の砂質土層（炭を多く含む）
21．暗褐色砂質土層
22．暗褐色やや粘質の砂質土層
23．暗褐色砂質土層
24．暗褐色砂質土層
25．褐色砂質土層
26．暗褐色砂質土層（無遺物層）
（174のブロック埋積）
27．褐色砂質土層
28．茶褐色砂質土層
29．黄褐色砂質土層（砂粒が粗い）
30．茶褐色砂質土層（マンガンを含む）
31．茶褐色やや粗い砂質土層（無遺物層）
32．茶褐色粗い砂質土層
（マンガンを多く含む．無遺物層）
33．茶褐色粗い砂質土層
（マンガンを多く含む．無遺物層）
34．黄褐色粗い砂質土層（マンガンを含む．灰色の粘質土をブロック状に含む．無遺物層）
35．灰色の粘土
（50の層でブロック状にはいる）
36．茶褐色のマンガンブロック
37．撹乱層
38．灰黄褐色砂層（近世溝）
39．灰黄色砂層（マンガンを含む）
40．暗褐色砂質土層（炭を含む）
41．暗褐色砂質土層（炭を含む）
42．灰黄褐色砂層（近世溝）
43．撹乱層
44．暗灰褐色砂質土層（炭を多く含む）
45．暗褐色やや粘質の砂質土層
46．暗褐色砂質土層（焼土を含む）
47．暗褐色砂質土層（炭を含む）
48．黒褐色砂質土層
49．黒褐色やや粘質の砂質土層
（焼土・炭を多く含む）
50．黒褐色やや粘質の砂質土層
（わずかに炭・焼土を含む）
51．暗褐色砂質土層（焼土・炭を含む）
52．暗褐色粘質の砂質土層
（焼土・炭を含む）
53．暗褐色砂質土層
54．暗褐色砂質土層
55．暗灰褐色やや粘質の砂質土層
56．暗褐色砂質土層
57．暗灰褐色砂質土層
58．暗褐色やや粘質の砂質土層
（黄色ブロック・焼土・炭を含む）
59．暗褐色砂質土層（炭をわずかに含む）
60．暗灰褐色粘質の砂質土層
（焼土・炭を含む）
61．暗灰黄褐色砂質土層（焼土・炭を含む）
62．暗褐色やや粘質の砂質土層
（炭・焼土を多く含む）
63．暗褐色やや粘質の砂質土層
（炭・焼土を多く含む）
64．暗褐色粘質の砂質土層
（炭・焼土を多く含む）
65．暗灰褐色やや粘質の砂質土層
（炭を含む）
66．暗灰褐色砂質土層
67．灰褐色砂質土層
68．灰褐色砂質土層（炭を含む）
69．黒褐色粘質の砂質土層
（炭・焼土を含む）
70．暗灰褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
71．灰色粘質の砂質土層
72．灰黄褐色砂質土層
73．暗褐色砂質土層（炭・焼土を含む）
74．暗褐色砂質土層（炭・焼土を多く含む）
75．暗褐色粘質の砂質土層
76．灰黄褐色砂質土層
77．灰黄褐色砂質土層
78．灰黄褐色砂質土層
79．灰黄褐色砂質土層
80．灰黄褐色砂質土層（マンガンを含む）
81．灰黄褐色砂質土層
82．灰黄褐色砂質土層（マンガンを含む）
83．灰黄褐色砂質土層（マンガンを含む）
84．暗褐色砂質土層
85．褐色砂質土層
86．暗褐色砂質土層
87．暗褐色粘質の砂質土層
88．暗褐色粘質の砂質土層
（炭・焼土を含む）
89．暗褐色粘質の砂質土層
90．暗褐色粘質の砂質土層
91．灰褐色砂質土層（マンガンを含む）
92．褐色砂質土層
93．暗褐色砂質土層
94．暗褐色砂質土層
95．黒褐色やや粘質の砂質土層（炭を含む）
96．暗褐色砂質土層（炭を含む）
97．暗褐色砂質土層（炭を含む）
98．灰褐色砂質土層
99．灰黄褐色砂質土層（マンガンを含む）
100．明褐色砂質土層
101．明褐色やや粘質の砂質土層
102．暗褐色やや粘質の砂質土層
103．暗褐色やや粘質の砂質土層
104．明褐色やや粘質の砂質土層
105．暗褐色やや粘質の砂質土層
106．暗褐色やや粘質の砂質土層
107．暗褐色やや粘質の砂質土層
108．暗褐色砂質土層
109．暗褐色粘質の砂質土層
110．暗褐色粘質の砂質土層
111．暗褐色やや粘質の砂質土層
112．褐色やや粘質の砂質土層
113．暗褐色粘質の砂質土層
114．暗褐色やや粘質の砂質土層
115．暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
116．暗褐色やや粘質の砂質土層
（炭を含む）
117．暗褐色やや粘質の砂質土層
（炭を含む）
118．暗褐色やや粘質の砂質土層
119．暗褐色砂質土層（炭を含む）
120．暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
121．黒褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
122．暗褐色やや粘質の砂質土層
（炭を含む）
123．褐色砂質土層
124．褐色やや粘質の砂質土層
125．褐灰色やや粘質の砂質土層
126．暗褐色やや粘質の砂質土層
127．暗褐色粘質の砂質土層
128．暗褐色やや粘質の砂質土層
129．褐色やや粘質の砂質土層
130．褐色粘質の砂質土層
131．暗褐色砂質土層
132．暗褐色やや粘質の砂質土層
133．暗褐色粘質の砂質土層
134．褐色砂質土層
135．褐灰色砂質土層（炭を含む）
136．褐灰色砂質土層（炭を含む）
137．褐色砂質土層
138．暗褐色砂質土層
139．暗褐色やや粘質の砂質土層
140．暗褐色やや粘質の砂質土層
（炭を含む）
141．暗褐色やや粘質の砂質土層
（炭・焼土を含む）
142．暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
143．暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
144．暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
145．黒褐色粘質の砂質土層
（炭・焼土を含む）
146．暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
147．暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
148．黒褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
149．暗褐色やや粘質の砂質土層
150．暗褐色やや粘質の砂質土層
（炭を含む）
151．褐色砂質土層
152．褐色砂質土層
153．暗褐色砂質土層
154．暗褐色砂質土層
155．暗褐色やや粘質の砂質土層
156．暗褐色砂質土層
157．暗褐色やや粘質の砂質土層
158．暗褐色やや粘質の砂質土層
159．暗褐色砂質土層
160．茶褐色砂質土層
161．暗褐色砂質土層
162．暗褐色砂質土層
163．暗褐色砂質土層
164．褐色砂質土層
165．褐色砂質土層
166．暗褐色砂質土層
167．暗褐色砂質土層
168．暗褐色やや粘質の砂質土層
169．暗褐色砂質土層
170．暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）

第７図　東西トレンチセクション図（Ｓ＝1/60）

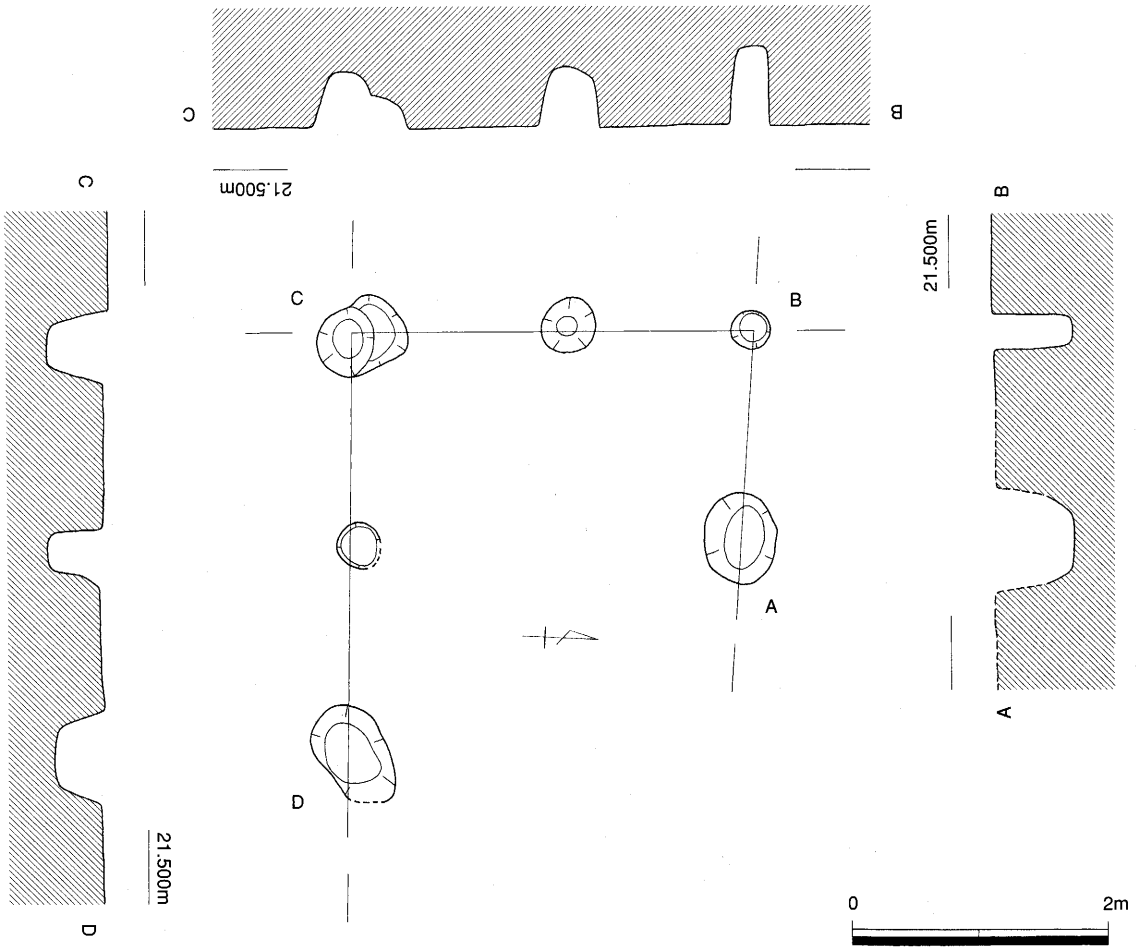
平面形はややいびつな長方形を呈し、南側の柱穴は削平により残存状況が良好ではない。遺物は弥生土器（**6**）やサヌカイト製打製石鏃（**S４**）が若干混在するが、主体を占めるのは８世紀以降の土師器と須恵器（**11**）である。

６）SB06（第16図・第17図）

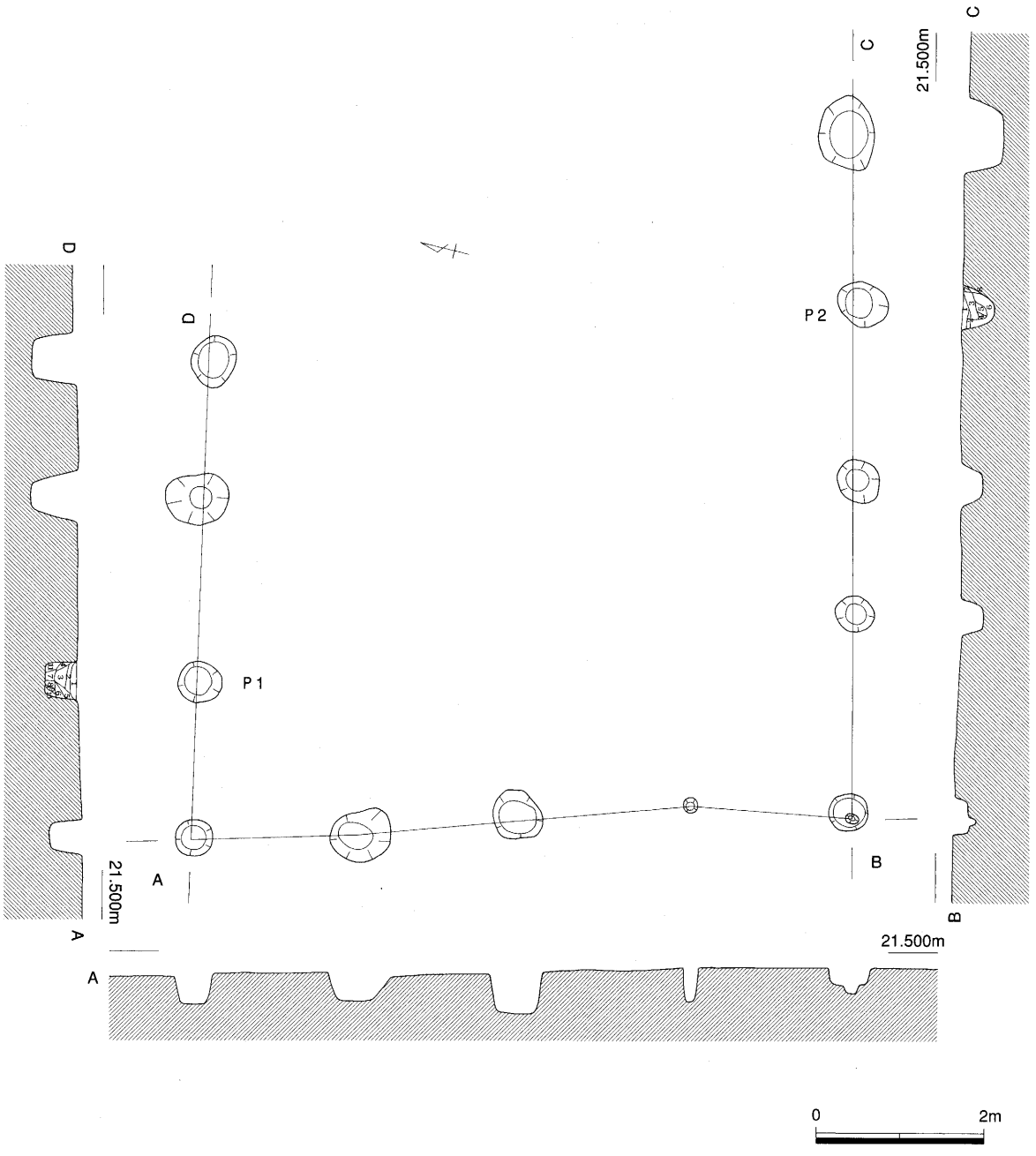
調査区のほぼ中央に位置する、２×４間の建物である。平面形はややいびつな長方形で南北方向に長く、ほぼ磁北に沿って建てられている。各柱穴は径が約30～60㎝で、埋土は暗褐色の砂質土である。遺構は、一様に削平をうけており、残存状況は良好でない。遺物は、弥生土器（**9**）がわずかに混在するが、主体は古墳時代から古代にかけての土師器、須恵器（**7**・**8**・**10**・**12**～**14**）で、破片で図化できなかったが、提瓶など器種も豊富に出土している。



第８図　SB01出土遺物
（S＝1/2・1/4）



第９図　SB01（S＝1/60）



P1

1　暗灰褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
2・3　暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
4・5　暗灰褐色やや粘質の砂質土層（炭を含む）
6・8　暗褐色粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
7・9　暗褐色粘質の砂質土層
10・11　暗褐色やや粘質の砂質土層（砂粒が粗い）

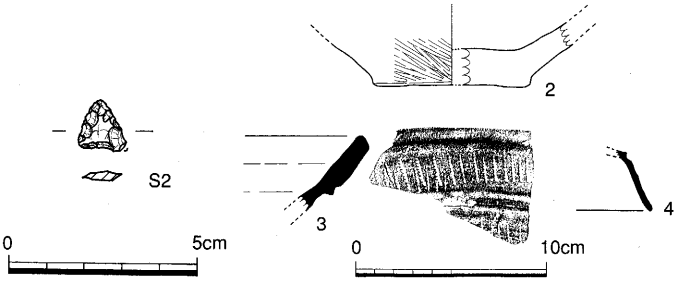
P2

1　灰褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
2　暗灰褐色やや粘質の砂質土層（炭を含む）
3　暗褐色やや粘質の砂質土層
4　暗灰褐色やや粘質の砂質土層（黄色ブロックを含む）
5　暗灰褐色粘質の砂質土層
6　暗灰褐色粘質の砂質土層
7　灰褐色やや粘質の砂質土層
8　灰褐色やや粘質の砂質土層（炭を含む）

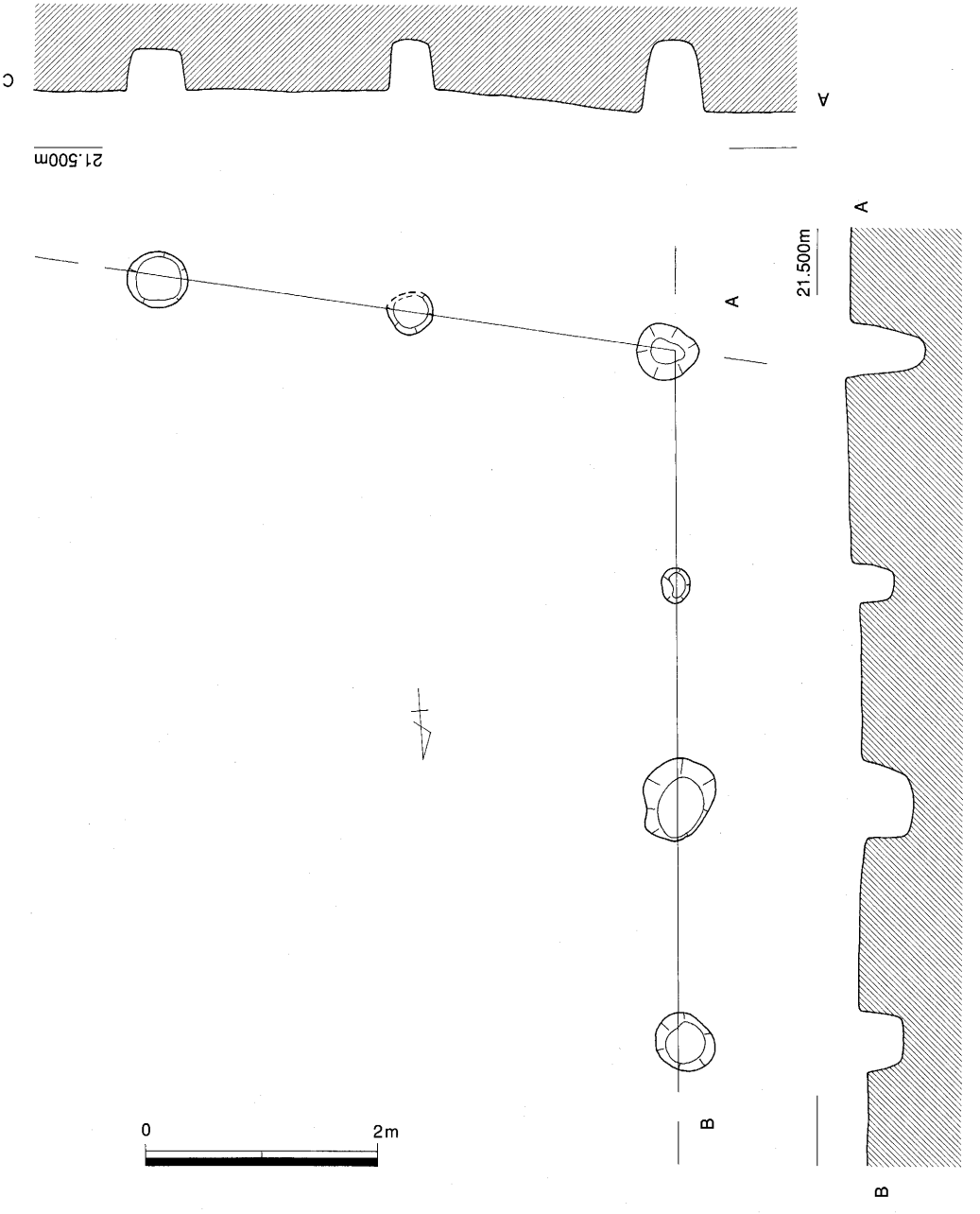
第10図　SB02（S＝1/80）

７）SB07（第19図）

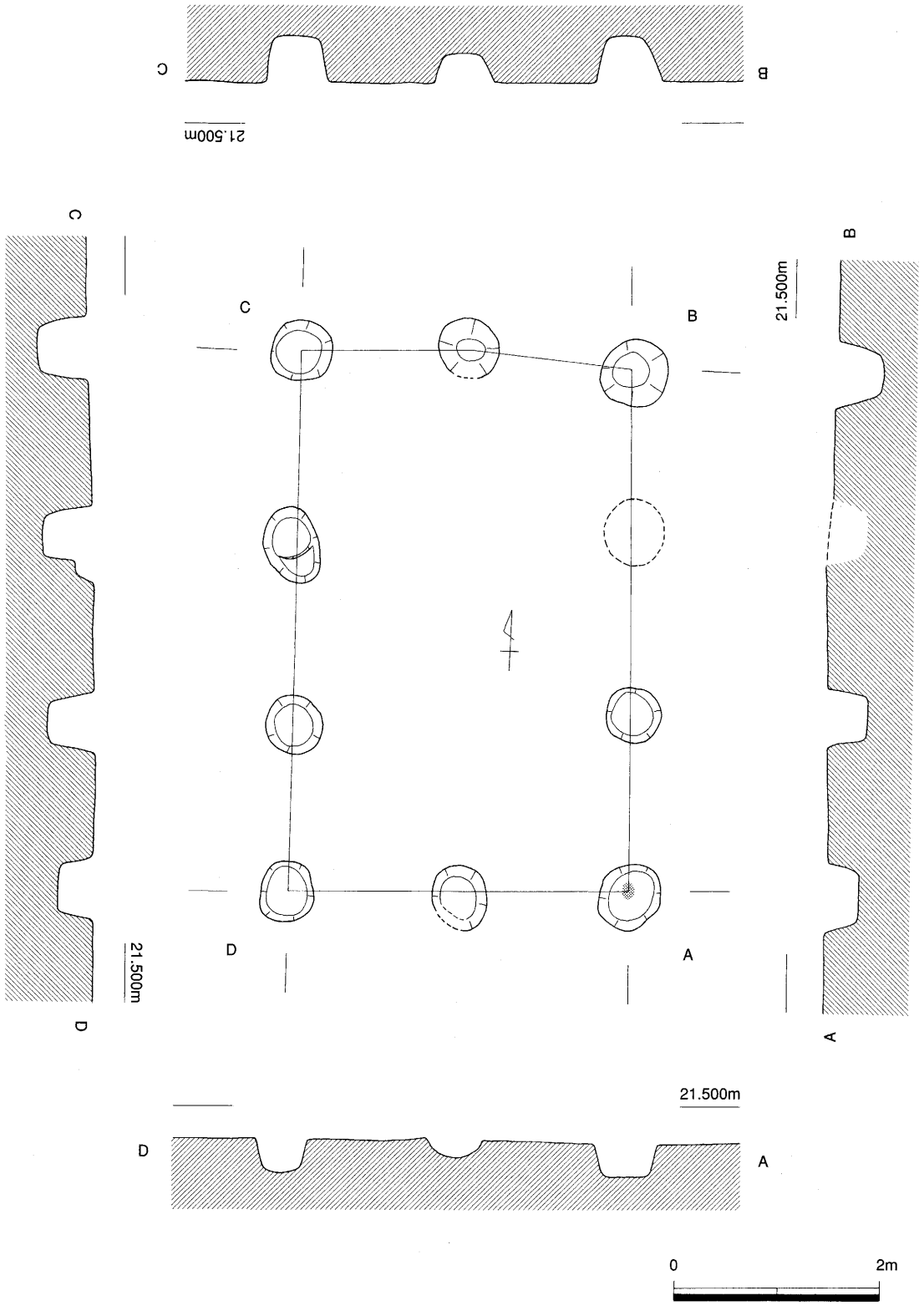
調査区のほぼ中央に位置している２×３間の建物である。平面形は南北方向に長い、いびつな長方形を呈しており、各柱穴には柱痕を残しているものを含む。柱穴の径は約50～80㎝で、やや大きめである。柱穴の埋土は柱痕部分がほかと比較して黒く粘性があるが、基本的に暗褐



第11図　SB02・SB03出土遺物（Ｓ＝1/2・1/4）

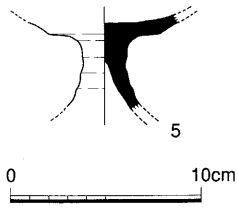


第12図　SB03（Ｓ＝1/60）



第13図　SB04（S＝1/60）

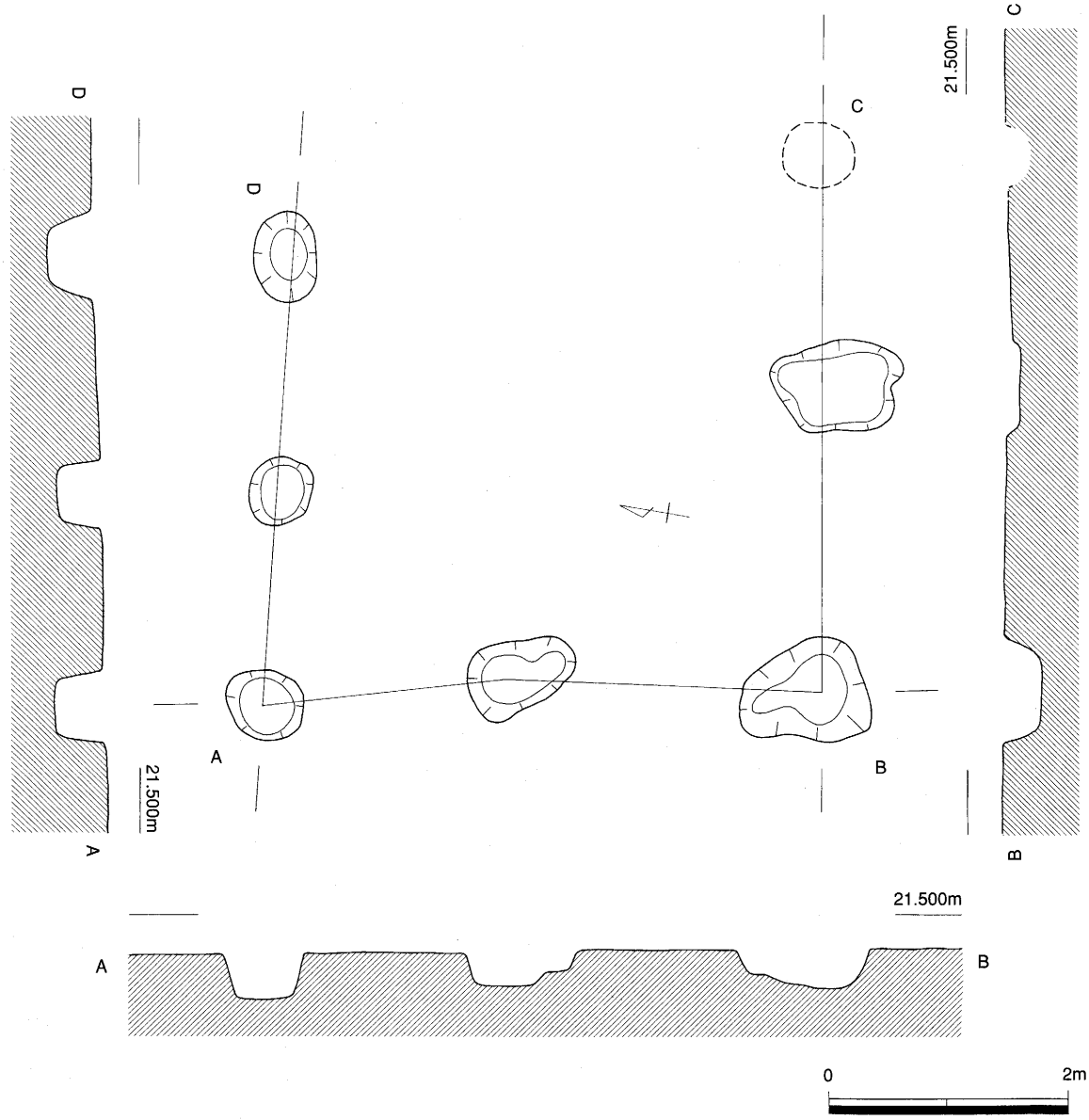
色の砂質土である。遺物は土師器、須恵器（**15・17～19**）が多く出土している。最も古い段階で6世紀前半の坏蓋（**18**）が検出されているが、8世紀段階の土師器の皿（**17**）や須恵器の坏（**19**）が主体を占めているため、建物の時期は8世紀までさがると考えられる。また、サヌカイト製のスクレイパー1点（**S５**）が出土している。



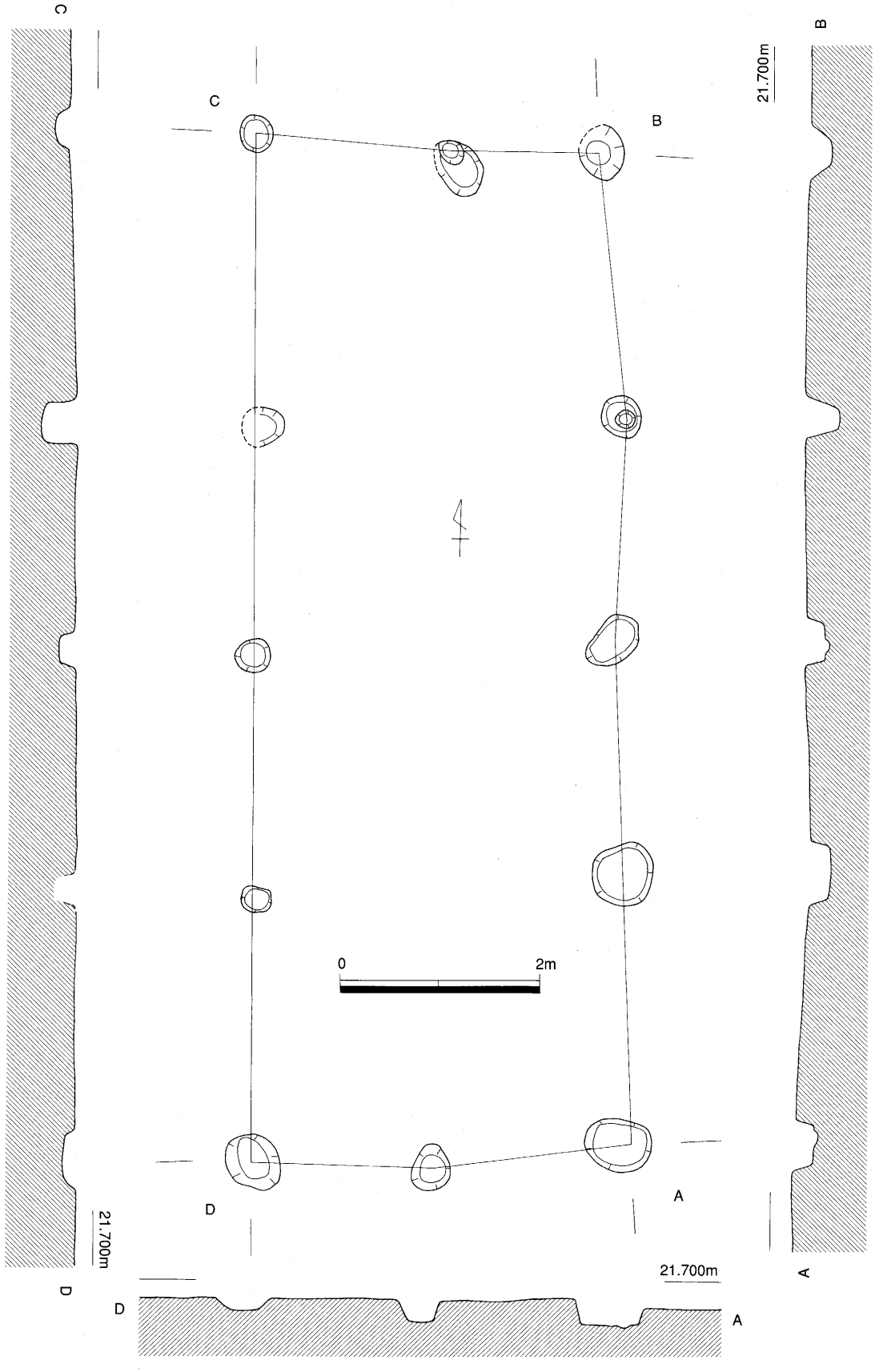
第14図　SB04出土遺物
（Ｓ＝1/4）

８）SB08（第21図）

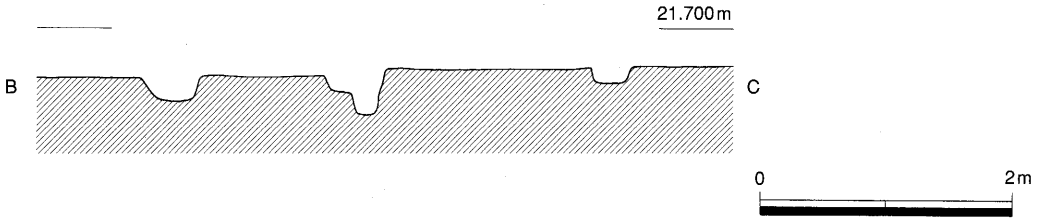
調査区のほぼ中央、東端に位置する。建物の２辺が調査区外に延びているため、遺構の全容を知ることは困難である。おそらく２×３間以上の建物で、平面形はいびつな長方形と考えられる。各柱穴は円形ないし、いびつな楕円形を呈し、径は約40～60㎝である。埋



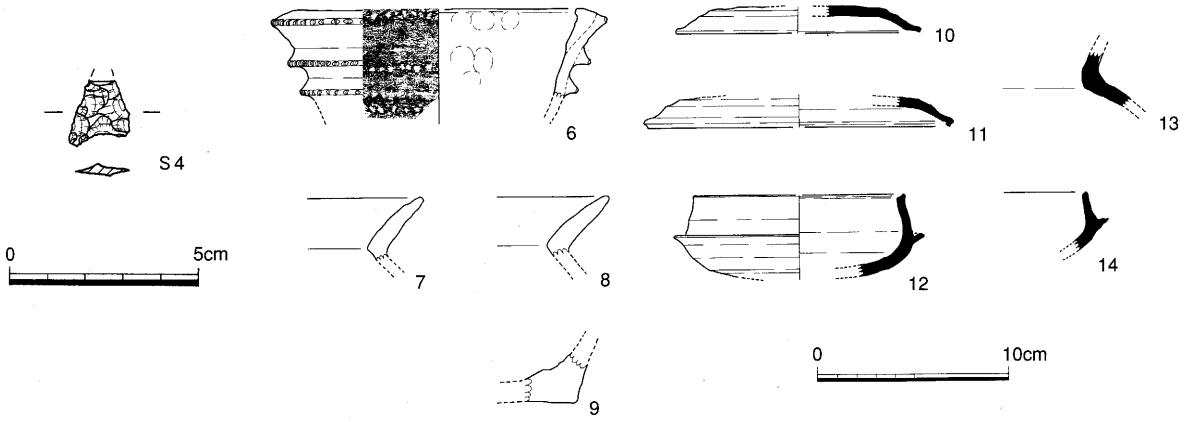
第15図　SB05（Ｓ＝1/60）



第16図　SB06（S＝1/60）



第17図　SB06（S＝1/60）



第18図　SB05・SB06出土遺物（S＝1/2・1/4）

土はやや粘質の暗褐色砂質土で、一部柱痕を残すものもみとめられる。遺物は土師器（**16**）、須恵器が出土している。多くが胴部片で、口縁は１点のみ出土した。器形から６～７世紀に位置づけられる。

９）SB09（第22図）

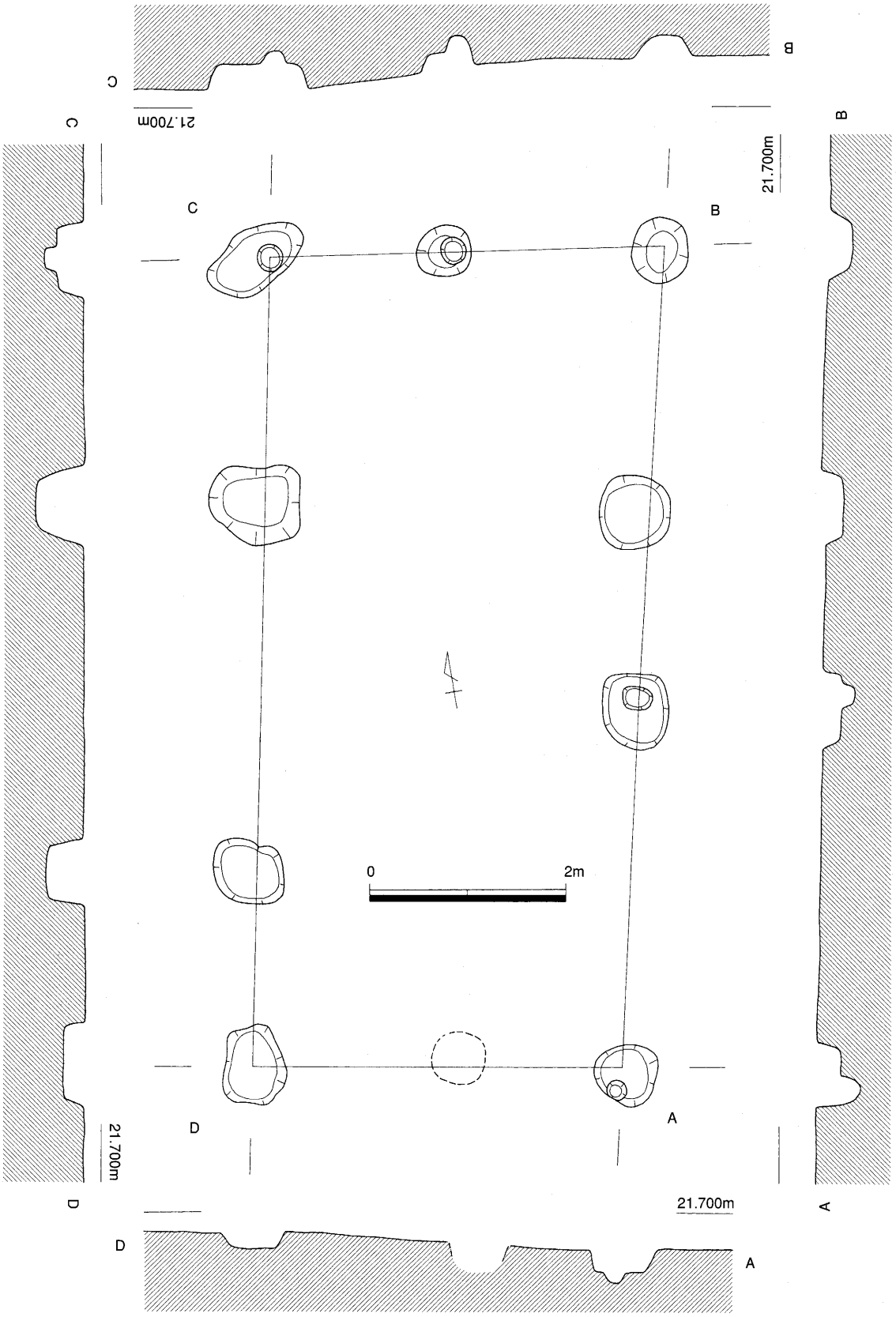
調査区のほぼ中央、東端に位置する。建物の主体が調査区外へ延びることから、遺構の全容を知ることは困難である。各柱穴はややいびつな円形を呈し、径は約30～40㎝にまとまっている。埋土は粘質の黒褐色砂質土で緻密である。出土遺物は検出されなかった。

10）SB10（第23図）

調査区のほぼ中央、西端に位置する。建物の主体が西側の調査区外へ延びることから、遺構の全容を知ることは困難である。また後世の削平をうけており、遺構の残存状況は良好ではない。各柱穴は径が約30～70㎝の円形ないし隅丸方形を呈し、埋土は暗褐色砂質土である。出土遺物は量が多く、土師器、須恵器（**20～34**）が検出されている。**28**は底部にヘラ切りの痕跡を残している。時期は器形から９～11世紀と考えられる。

11）SB12（第25図・第26図）

調査区のほぼ中央に位置する、２×４間の総柱建物である。削平が著しく、遺構の残存状態は良好ではないが、一部柱痕を残すものもみとめられる。ほぼ磁北にそった南北方向に長い、長方形の平面形を呈し、ややいびつである。各柱穴は円形ないし楕円形を呈する。また、柱穴の埋土中に石を含むものもある。埋土は一様に暗褐色の砂質土だが、柱痕を残すものについては柱痕の部分と考えられる

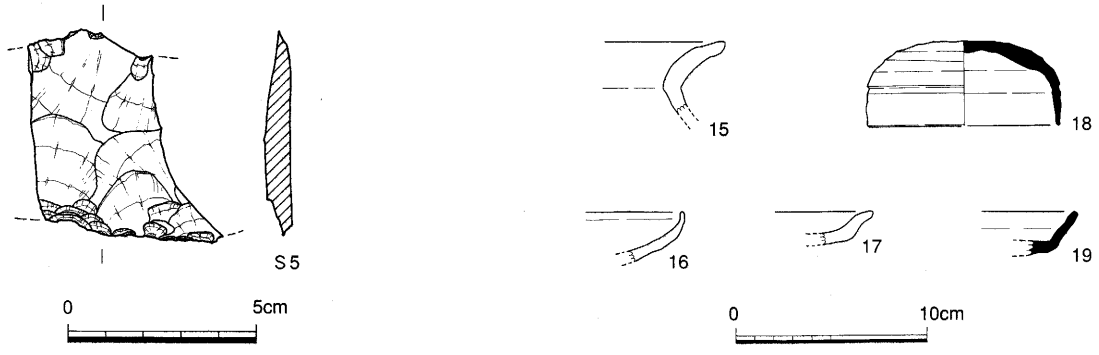


第19図　SB07（S＝1/60）

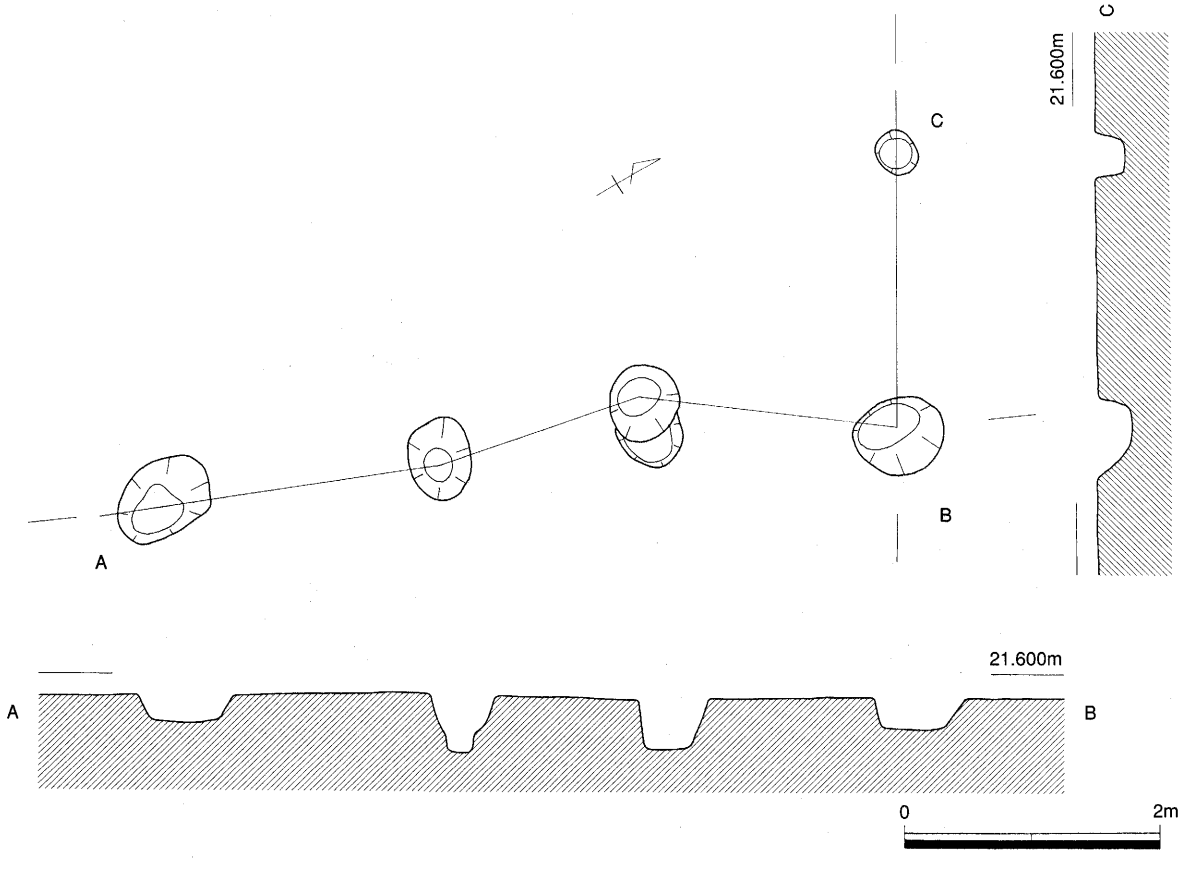
箇所にやや粘性があった。遺物は土師器（**35・36**）、須恵器が出土している。

12）SB13（第29図・第30図）

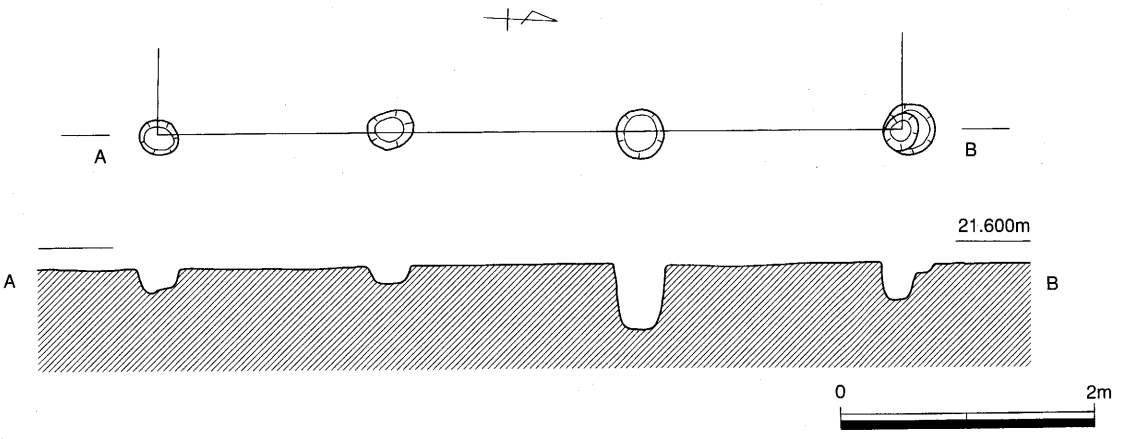
調査区のほぼ中央に位置する、庇付きの２×３間の総柱建物である。削平が著しく、遺構の残存状況は良好ではない。平面形はややいびつな方形を呈している。各柱穴は円形ないし、いびつな楕円形で、埋土中に石を含むものが多い。遺物は土師器、須恵器（**239・242・263・269・282**）、石器（**S６・S７**）が出土している。土師器の中には図化できなかったが、内面が黒色のものも含んでいる。器形から時期は10～11世紀と考えられる。



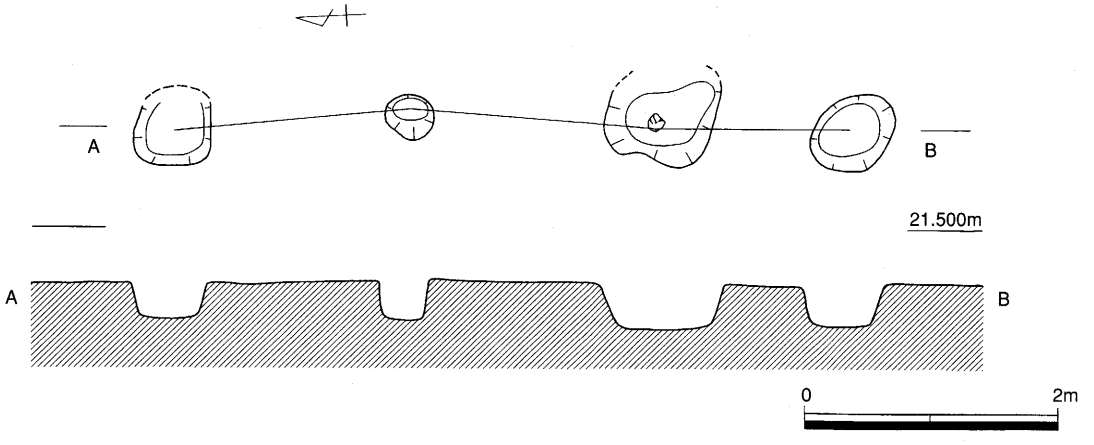
第20図　SB07・08出土遺物（S＝1/2・1/4）



第21図　SB08（S＝1/60）



第22図　SB09（S＝1/60）



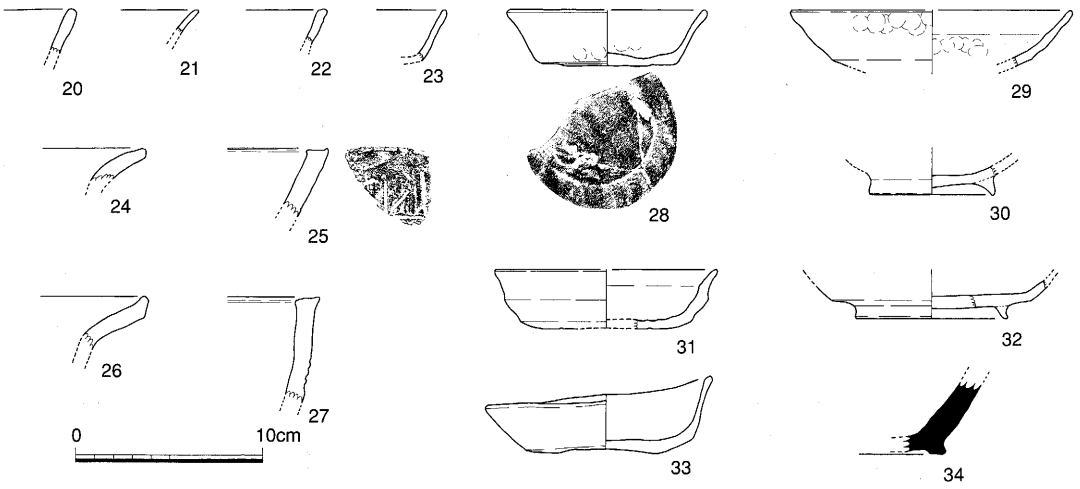
第23図　SB10（S＝1/60）

13）SB14（第31図）

調査区の南西部に位置する２×４間の建物である。遺構は後世の削平をうけており残存状況は良好とはいえない。平面形は長方形を呈し、磁北にそって南北方向に長い。各柱穴は円形ないし、いびつな楕円形で、一部柱痕をのこすものもみとめられる。埋土は暗褐色砂質土である。遺物は土師器、須恵器（**38・223・331**）が検出さており、とくに土師器の甑や甕など煮沸具が多く出土した。また、サヌカイト製の楔形石器（**S8・S9**）や砂岩製の石斧片（**S10**）が混在している。

14）SB15（第32図）

調査区のやや南よりの西端に位置し、遺構の３辺は調査区の東側に延びると推測される。建物は４×２間以上の長方形プランになると考えられる。各柱穴は円形ないしいびつな楕円形を呈し、径は約40～80㎝である。埋土はやや粘質の暗褐色砂質土で、一部柱痕を残すものもみとめられる。後世の



第24図　SB10出土遺物（Ｓ＝1/4）

削平により、遺構の残存状態は良好ではない。遺物は土師器、須恵器（**37**）が出土している。**37**は須恵器の坏蓋で、つまみの形状から8世紀ごろに位置づけられる。

15）SB16（第33図）

調査区のやや南よりの西端に位置し、遺構の３辺は調査区の東側に延びると推測される。建物の主体が東側の調査区外へ延びることから、遺構の全容を知ることは困難である。しかし、現存する遺構の配列からほぼ磁北にそって建物を配置していると考えられる。各柱穴は円形ないし楕円形を呈し、径は約20～40㎝である。埋土は暗褐色の砂質土で、削平により遺構の状態は良好ではない。遺物は土師器（**39**）、須恵器が出土している。

16）SB17（第35図）

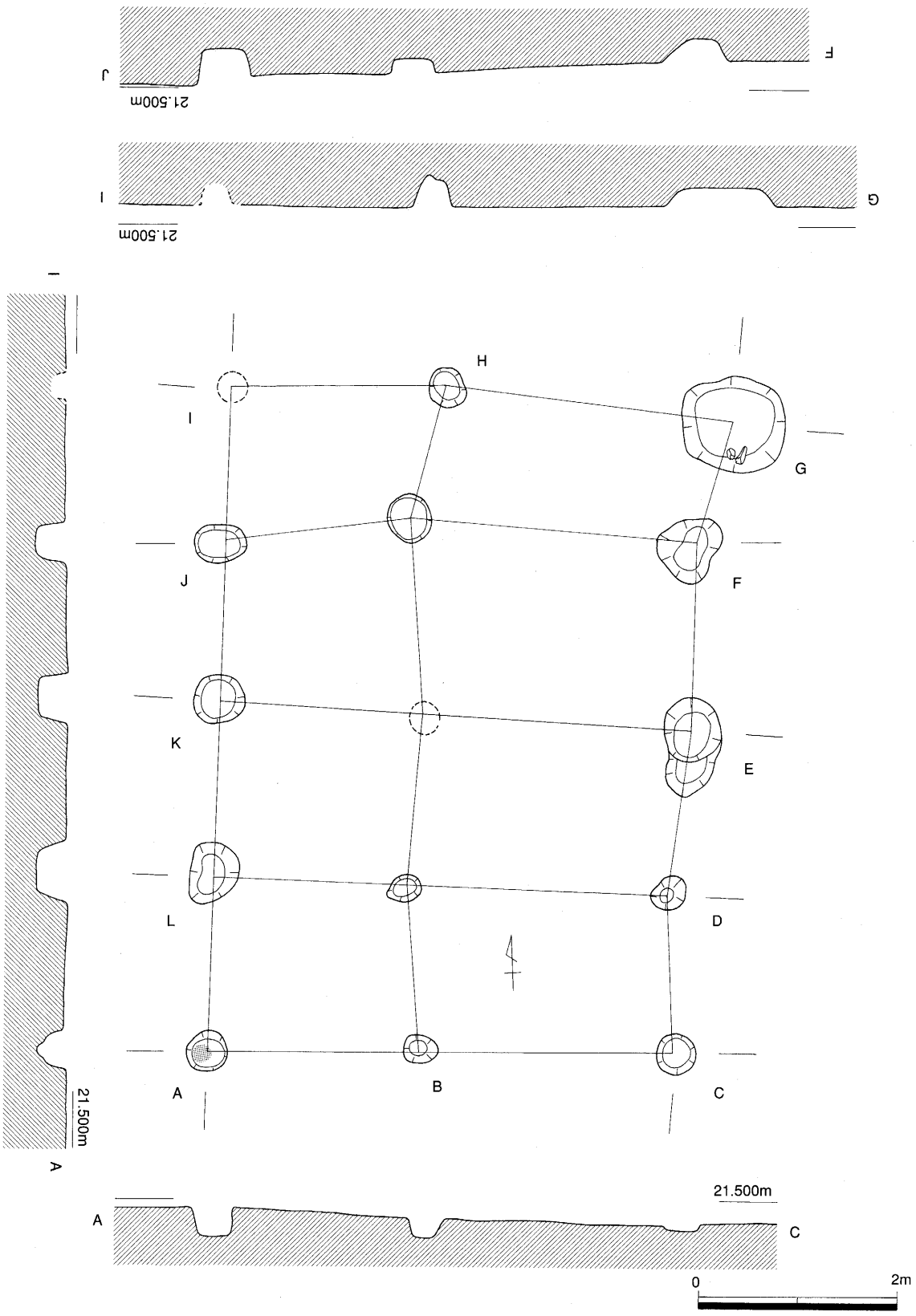
調査区の南よりの西端に位置し、遺構の３辺は調査区の東側に延びると推測される。建物の主体が東側の調査区外へ延びることから、遺構の全容を知ることは困難である。各柱穴は削平により残存状況は良好とはいえないが、ほとんどのものに柱痕がみとめられた。柱穴の平面形はいびつな楕円形のものが多く、径はいずれも60㎝前後でそろっている。埋土は暗灰褐色の砂質土で、やや粒子が粗い。遺物は土師器、須恵器が出土している。とくに土師器は甕や甑といった煮沸具の出土が多い。

17）SB18（第37図）

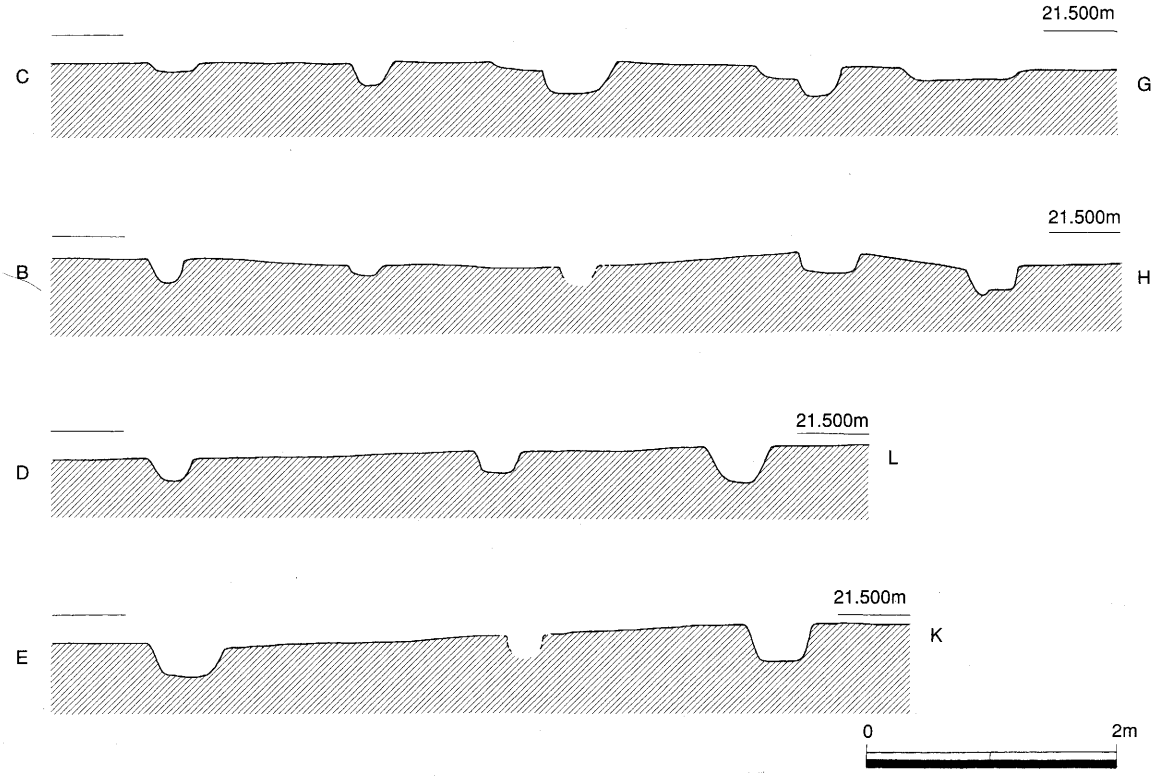
調査区の南よりの西端に位置し、遺構の３辺は調査区の東側に延びると推測される。建物の主体が東側の調査区外へ延びることから、遺構の全容を知ることは困難である。各柱穴は削平により残存状況は良好とはいえない。各柱穴は円形を呈し、径は約30～40㎝で一様である。埋土は暗褐色の砂質土で、建物はほぼ磁北にそって配置されているようである。出土遺物は少量で、土師器と須恵器の破片が出土しているが時期を特定することは困難である。また、サヌカイト製の石錐1点（**S11**）が混じっている。

18）SB19（第36図）

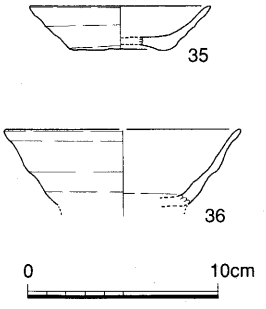
調査区の南側に位置する。３×１間以上の建物と推測されるが、溝や近代の撹乱が近辺に存在するため遺構の全体が不明瞭である。確認できる各柱穴はいずれも径が70㎝前後の楕円形を呈するもので、柱痕を残すもの、埋土中に石を含むものがみられる。埋土は暗灰褐色の砂質土で砂粒が多く、固



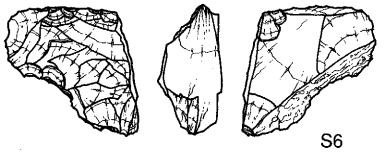
第25図　SB12（S＝1/60）

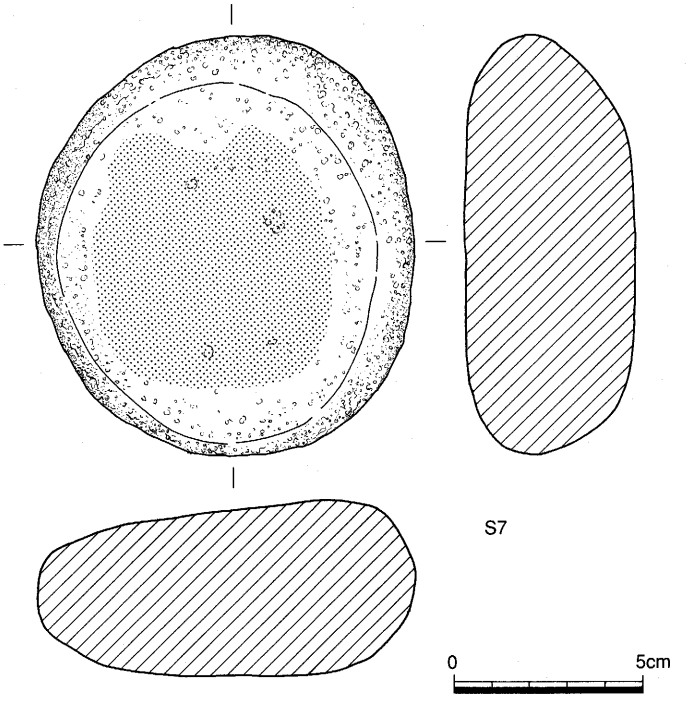


第26図　SB12（S＝1/60）

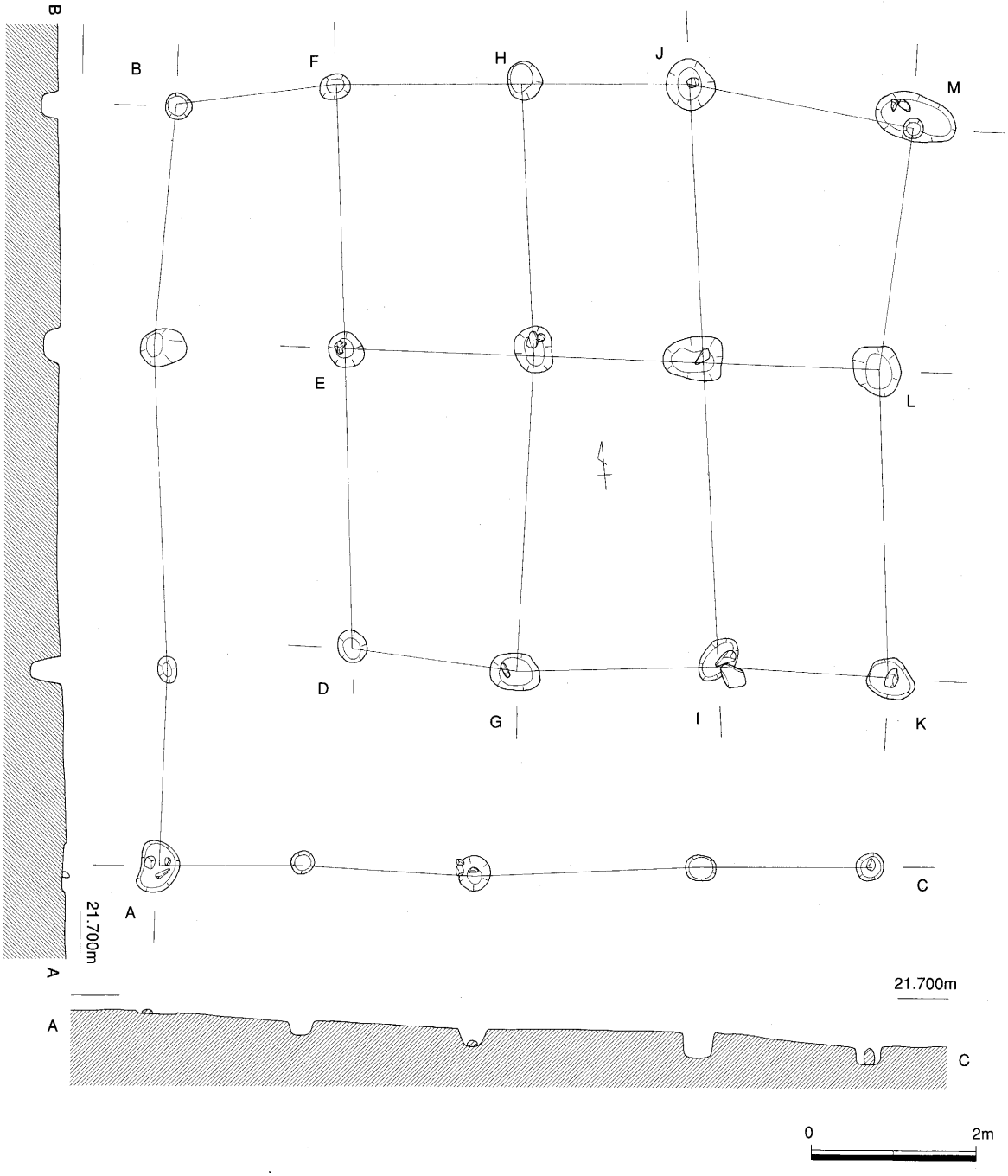


第27図　SB13出土遺物（S＝1/4）

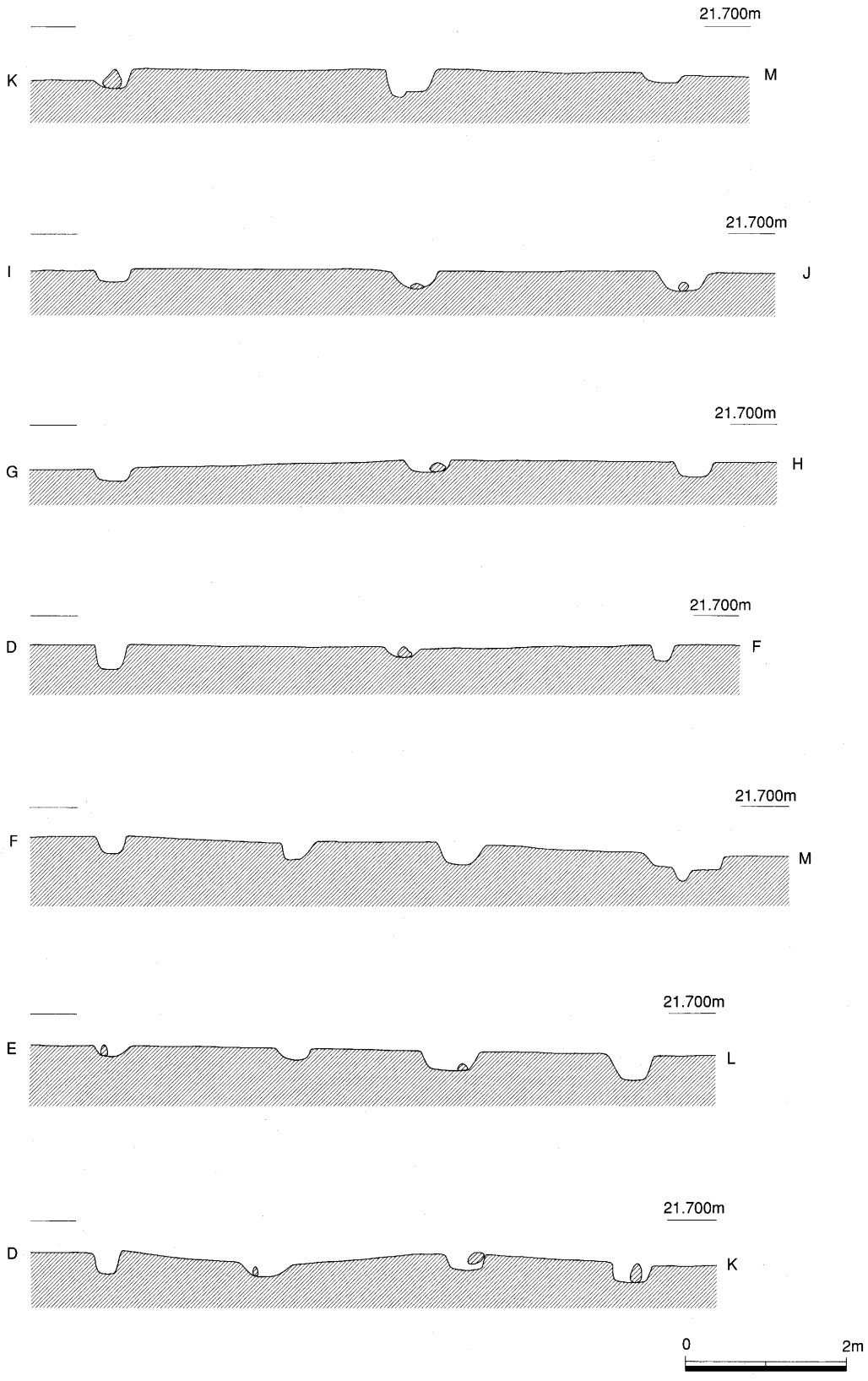




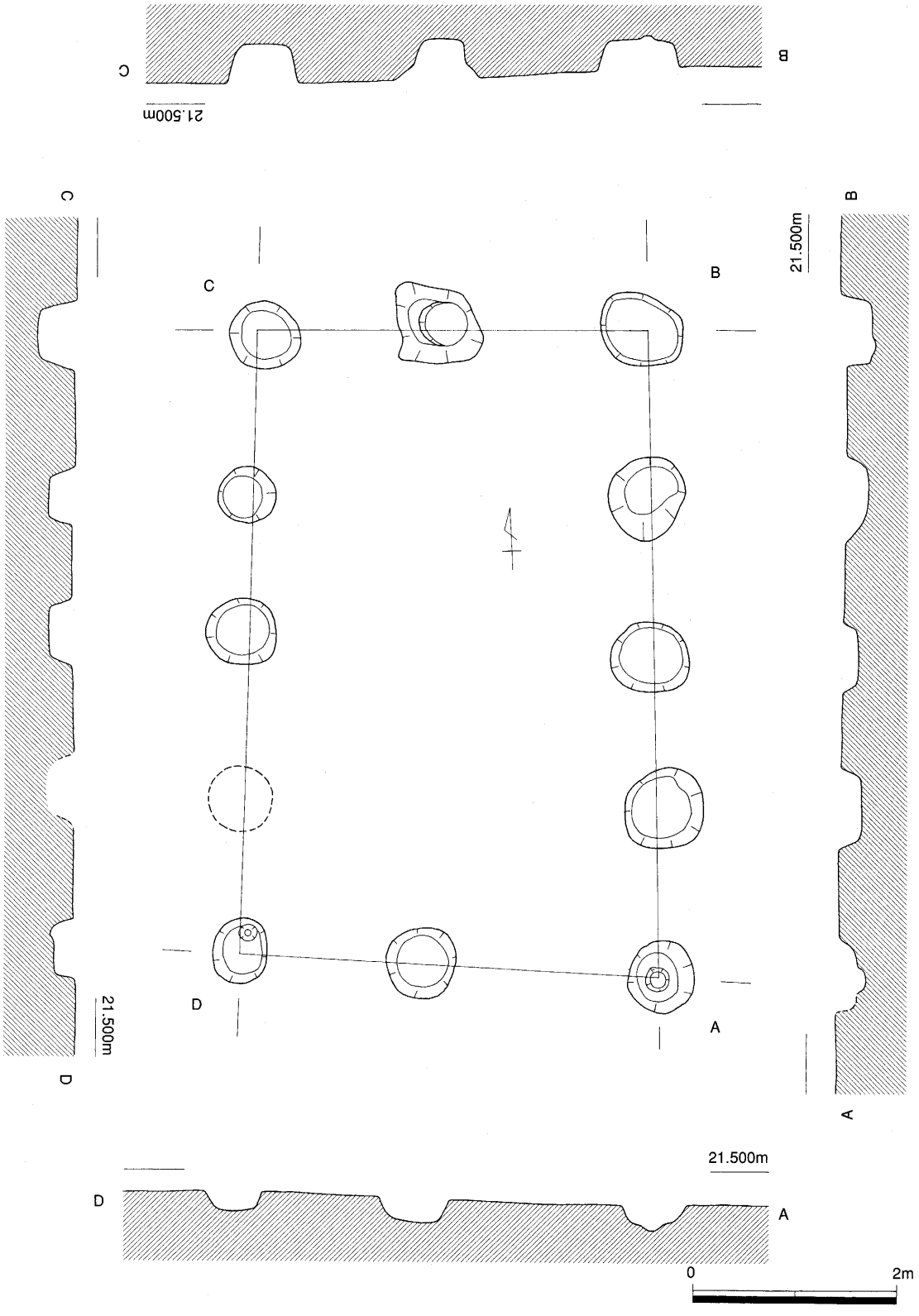
第28図　SB13出土遺物（S＝1/2）



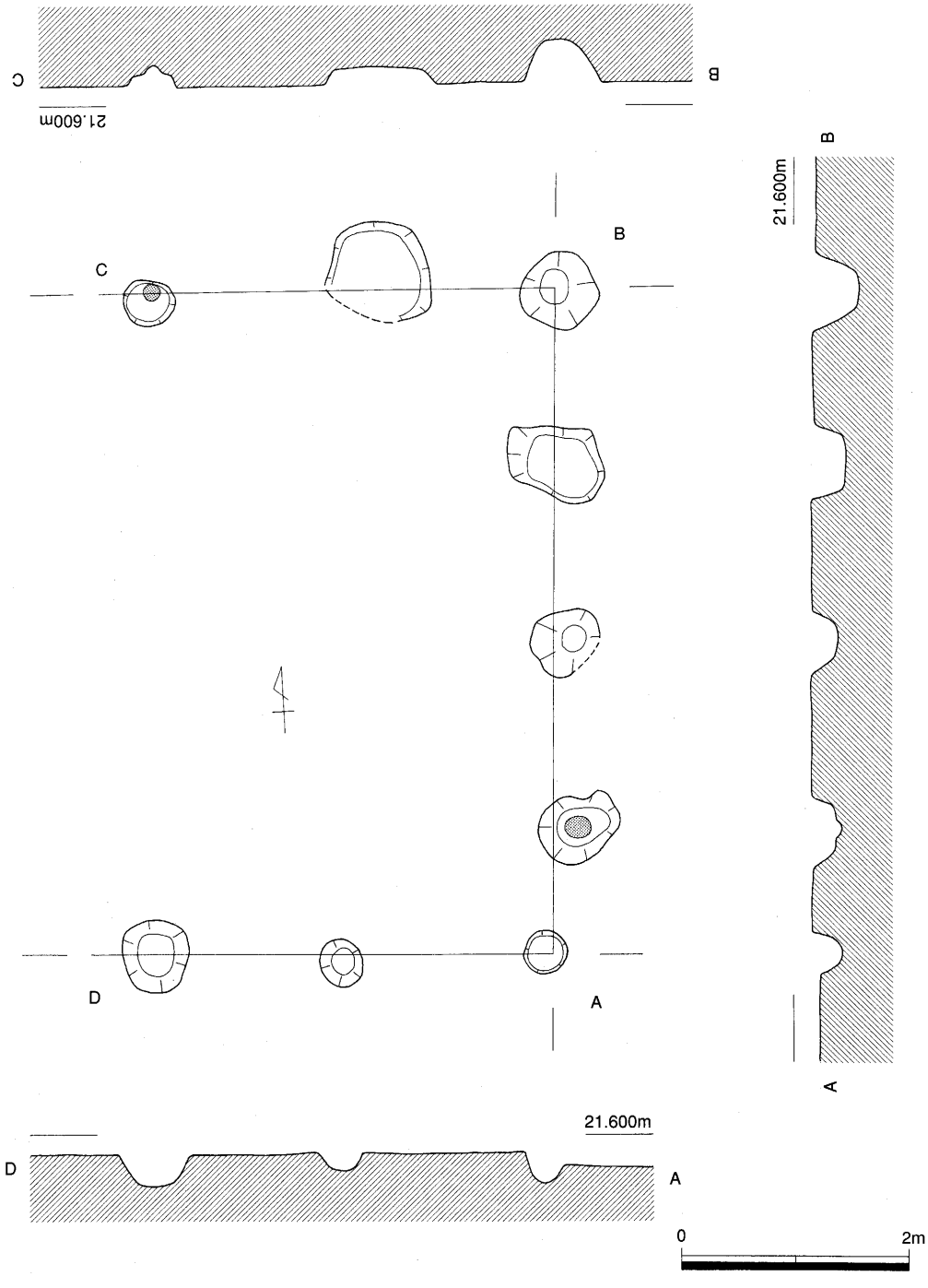
第29図　SB13（S＝1/80）



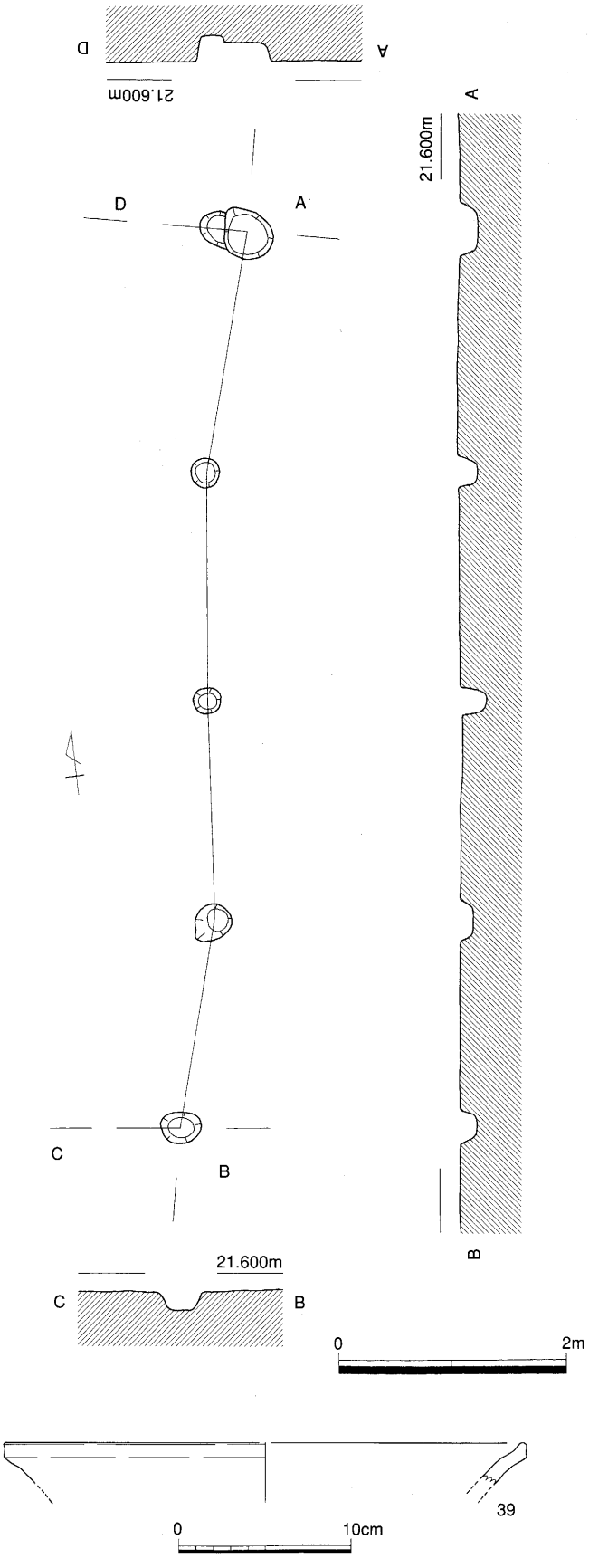
第30図　SB13（S＝1/80）



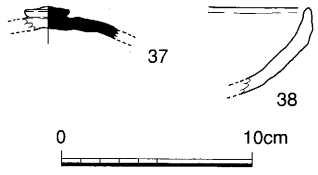
第31図　SB14（S＝1/60）



第32図　SB15（S＝1/60）



第33図　SB16（S＝1/60）**・SB16出土遺物**（S＝1/4）



第34図　SB14・SB15出土遺物
（S＝1/4）

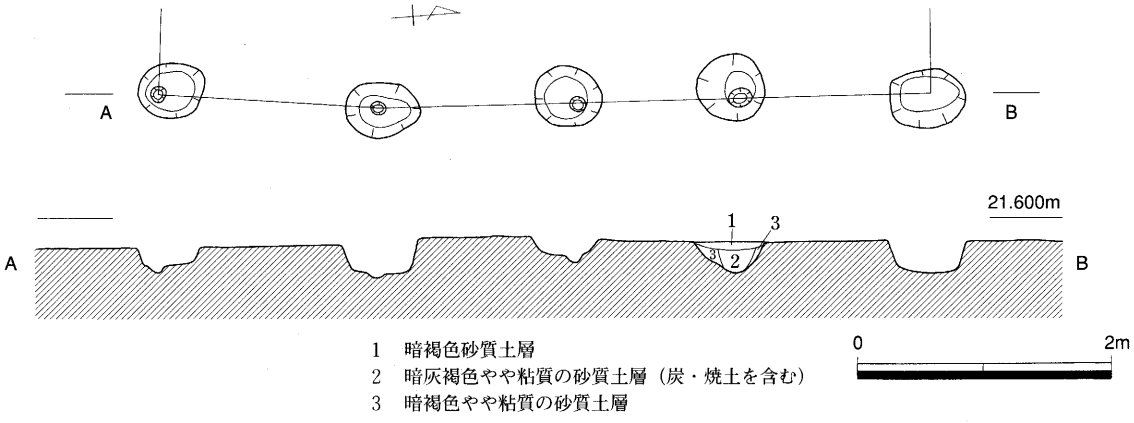
く締まっている。遺物は土師器、須恵器（**40～44**）が出土した。出土した土師器は甕、甑といった煮沸具が多い。

19）SB20（第42図）

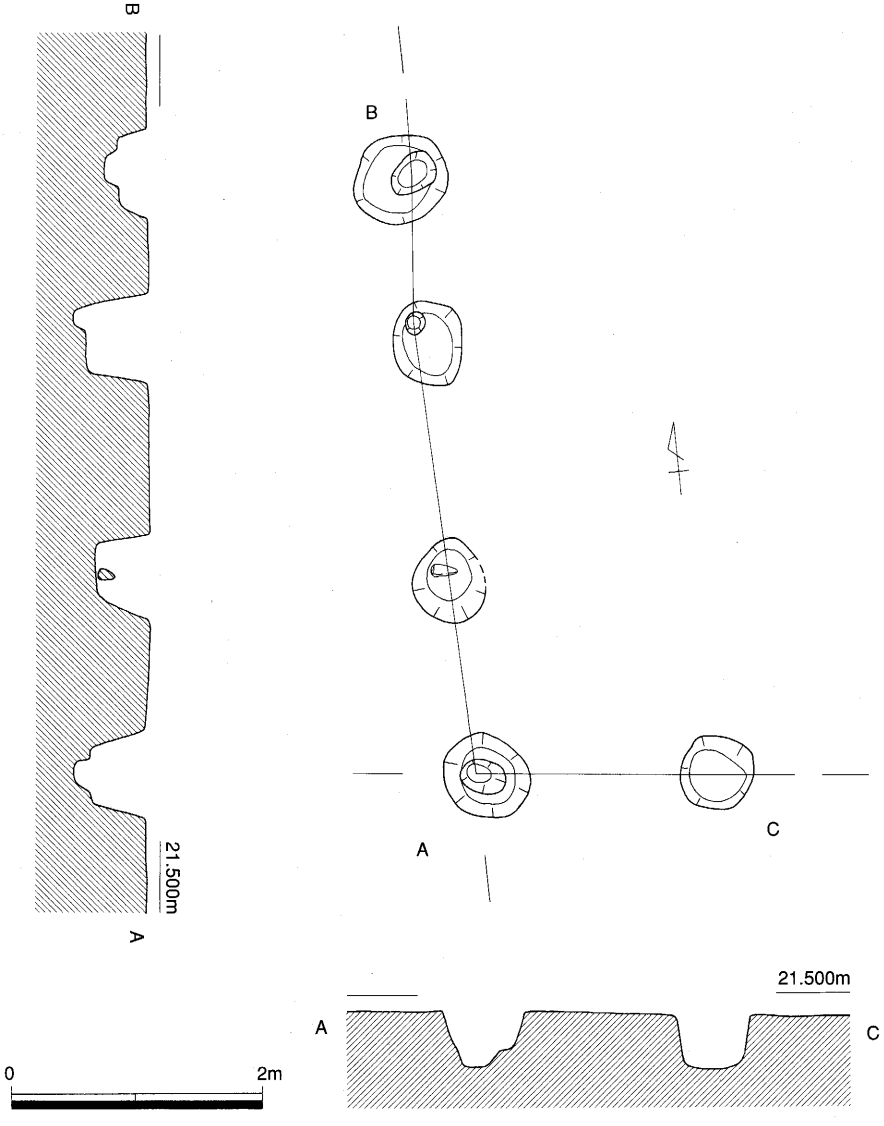
調査区の南側に位置する。総柱建物と考えられるが、遺構が西側の調査区外へ延びているため建物の全体の規模は不明である。各柱穴は平面形がいびつな円形を呈し、一部柱痕がみとめられるものがある。柱穴の径は約30～40cmである。埋土は暗灰褐色あるいは灰褐色の砂質土で、固く締まっており、部分的に粘土ブロックを含む。遺物は土師器、須恵器（45・46）が検出されている。45は内外面に丹塗りをほどこした杯である。このほか甑の破片など煮沸具も出土している。時期は８世紀頃に位置づけられよう。

20）SB21（第40図）

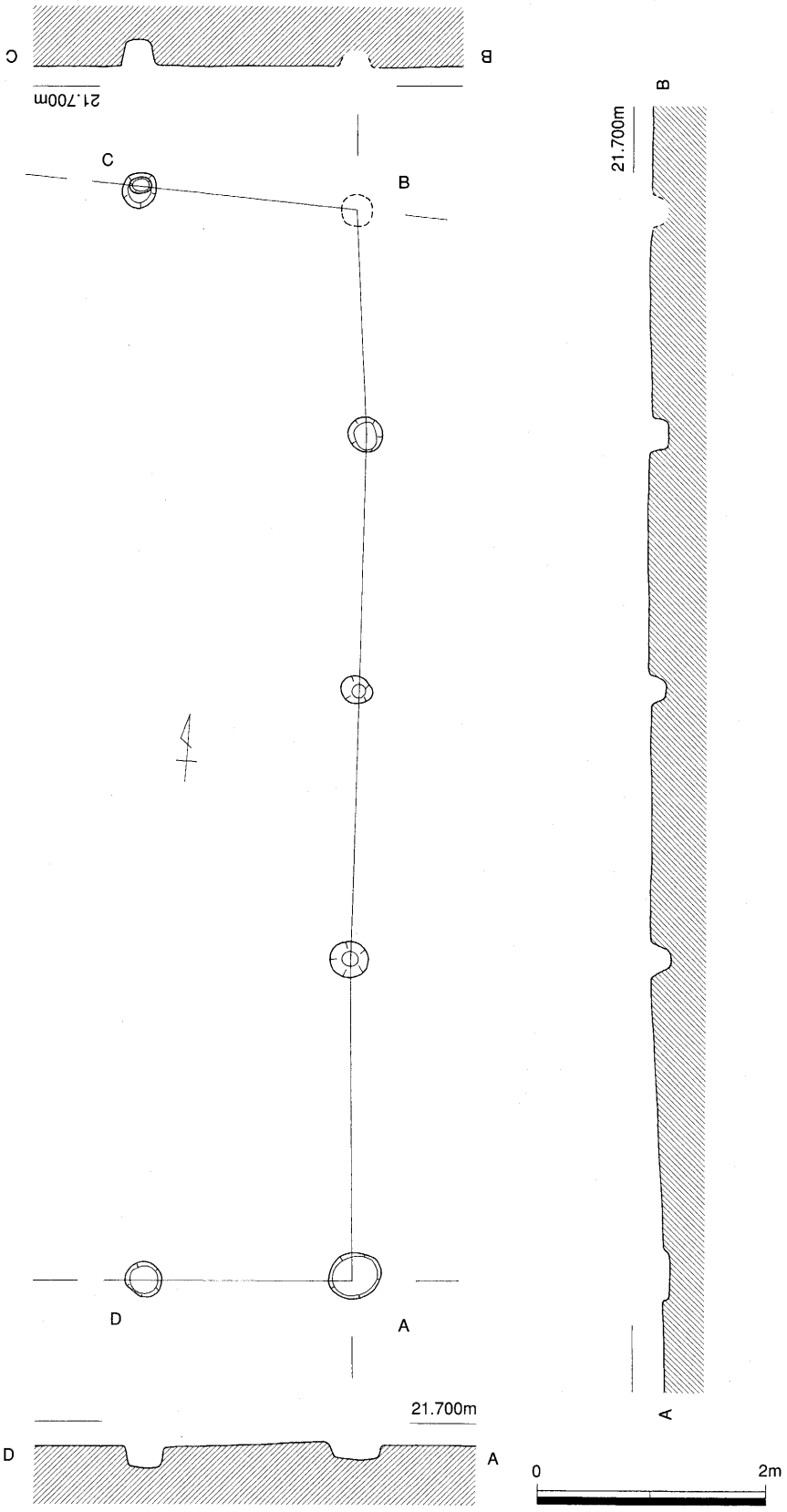
調査区の南側に位置する。建物の３辺は調査区の西側に延びると推測される。建物の主体が西側の調査区外へ延びることから、遺構の全容を知ることは困難である。各柱穴は径が約50～60cmの円形ないし隅丸方形を呈し、深さはいずれも約50cmである。埋土は暗灰褐色の砂質土で、砂粒が多く締まっている。部分的に粘



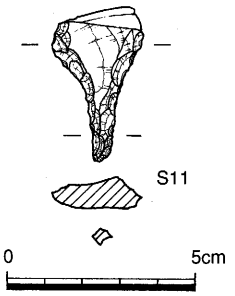
第35図　SB17（S＝1/60）



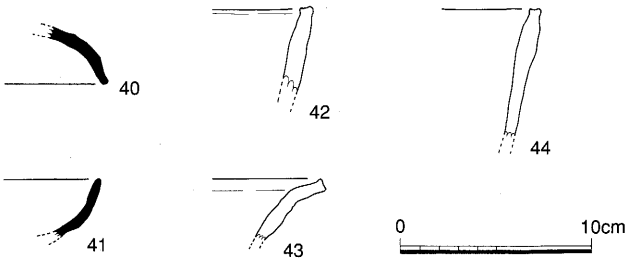
第36図　SB19（S＝1/60）



第37図　SB18（S＝1/60）



第38図　SB18出土遺物（S＝1/2）



第39図　SB19出土遺物（S＝1/4）

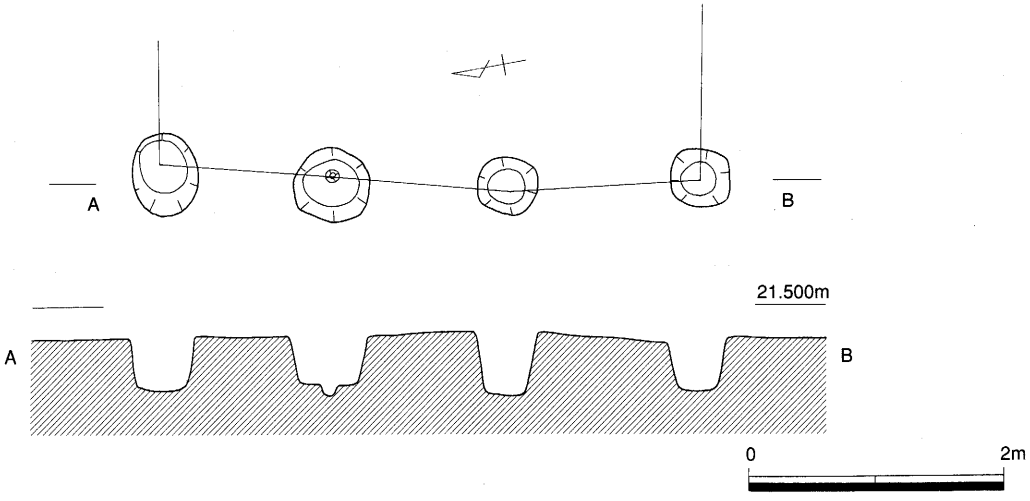
土ブロックが混じる。遺物は土師器、須恵器が出土した。いずれも破片で時期を特定することはできない。

21）SB22（第43図・第44図）

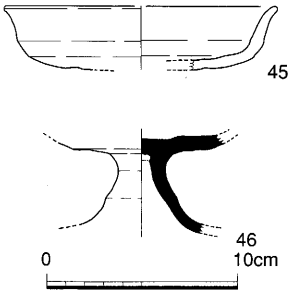
調査区の南側に位置する。２×３間の総柱の建物である。平面形は南北方向に長い、長方形を呈する。各柱穴は径が約60～80㎝の円形ないし隅丸方形を呈し、深さは約30～60㎝である。埋土は暗灰褐色あるいは灰褐色の砂質土で、砂粒が多く、固く締まっている。部分的に粘土ブロックが混じる。柱痕を残すものもみとめられる。遺物は弥生土器（**47～49**）が混在するが、土師器、須恵器（**50・51**）が主体を占める。土師器の中には牛角状取手をもつ甑の破片も含まれており、遺構の時期は出土遺物の器形から７世紀頃と考えられる。

22）SB23（第46図）

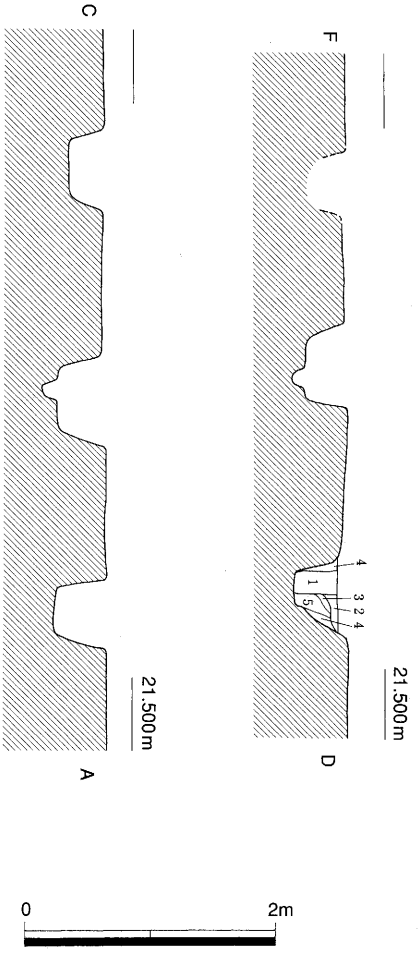
調査区の南側に位置する。近代の撹乱により遺構の残存状況は良好ではないが、２×３間以上の長方形プランの建物と考えられる。遺構配置が調査区外の西側に延びていることから、全容はあきらかではない。各柱穴は径が約70～100㎝の円形ないし楕円形を呈し、深さは約40～50㎝である。埋土は

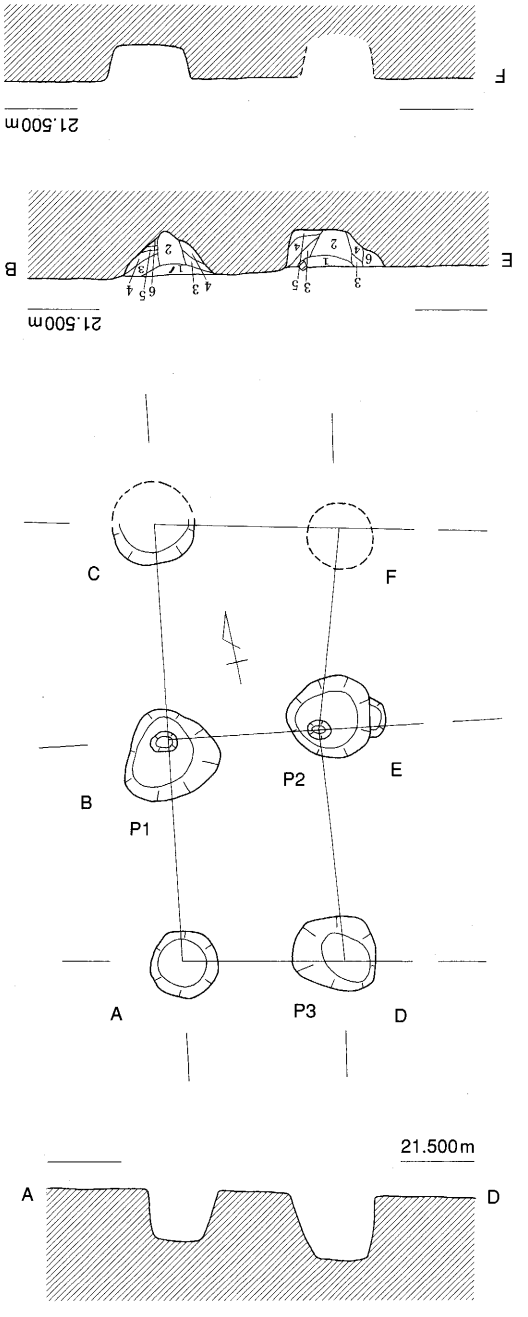


第40図　SB21（S＝1/60）



第41図　SB20出土遺物（S＝1/4）



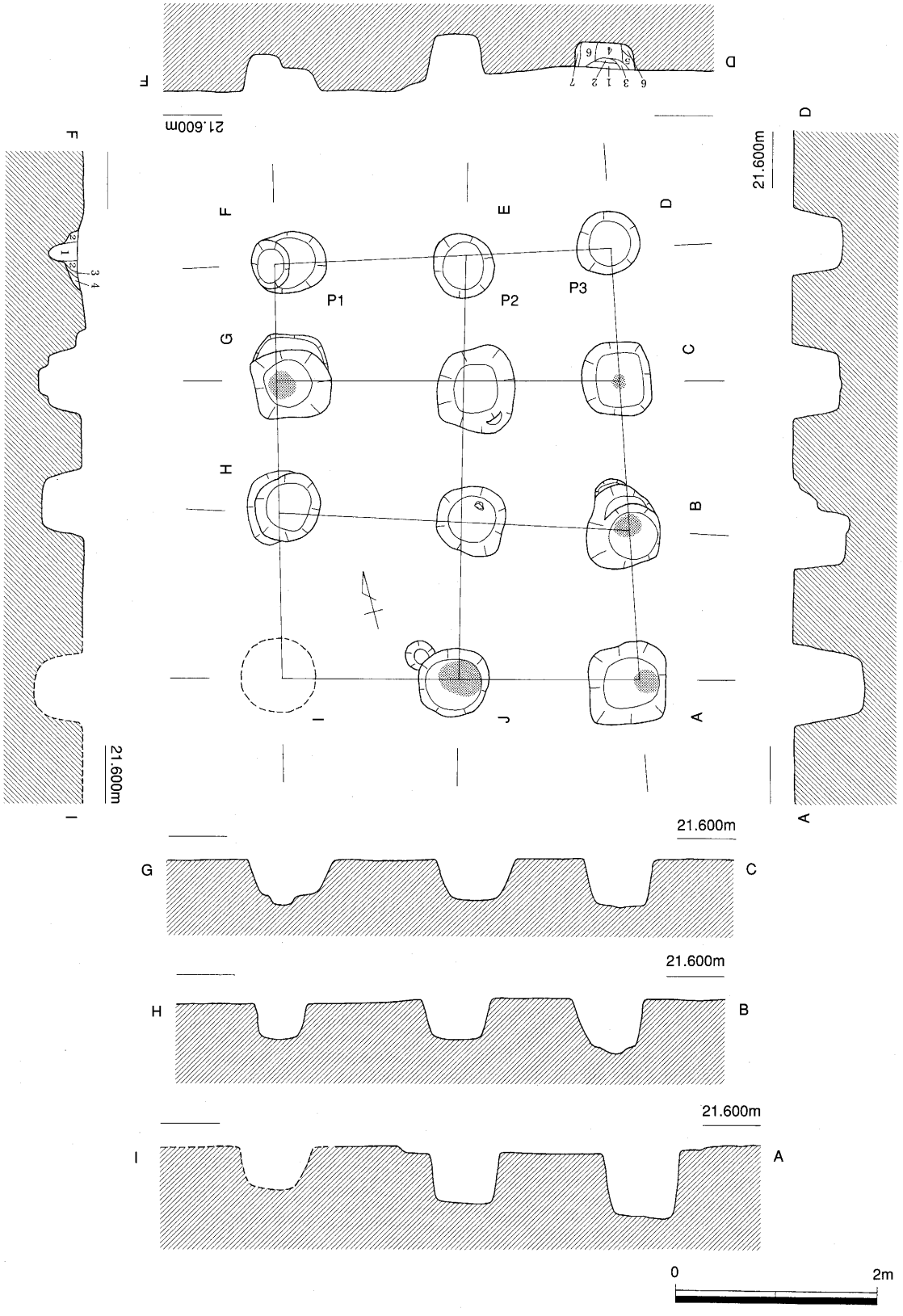


P1
1　暗灰褐色やや粘質の砂質土層
2　黒褐色粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
3　暗灰褐色粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
4　暗灰褐色粘質の砂質土層
5　暗灰褐色砂質土層（焼土を含む）
6　4と同じ

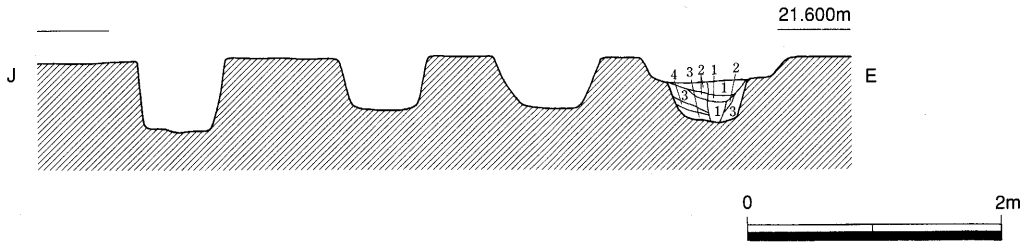
P2
1　灰褐色砂質土層
2　黒褐色粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
3　暗灰褐色やや粘質の砂質土層（炭を含む）
4　暗褐色粘質の砂質土層
5　褐色やや粘質の砂質土層
6　黒褐色粘質の砂質土層

P3
1　灰褐色粘質の砂質土層
2　灰褐色砂質土層（炭・焼土を含む）
3　暗灰褐色砂質土層（焼土を含む）
4　暗黄褐色砂質土層
5　灰褐色やや粘質の砂質土層
（炭・焼土を含む）

第42図　SB20（S＝1/60）



第43図　SB22（S＝1/60）

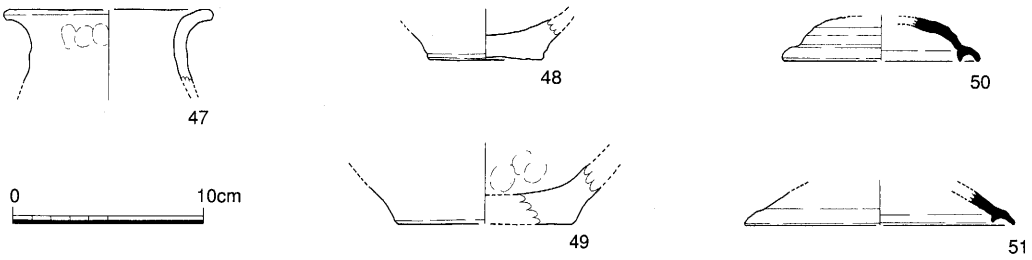


P1
1　灰褐色粘質の砂質土層
2　暗灰褐色やや粘質の砂質土層
3　暗灰褐色粘質の砂質土層
4　灰褐色粘質の砂質土層

P2
1　灰褐色粘質の砂質土層
2　灰褐色やや粘質の砂質土層
3　暗灰褐色粘質の砂質土層
4　黄褐色砂層

P3
1　暗灰褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
2　灰褐色砂質土層
3　暗灰褐色粘質の砂質土層
4　暗灰褐色粘質の砂質土層
5　暗灰褐色やや粘質の砂質土層（焼土を含む）
6　暗灰褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
7　灰褐色砂質土層

第44図　SB22（S＝1/60）



第45図　SB22出土遺物（S＝1/4）

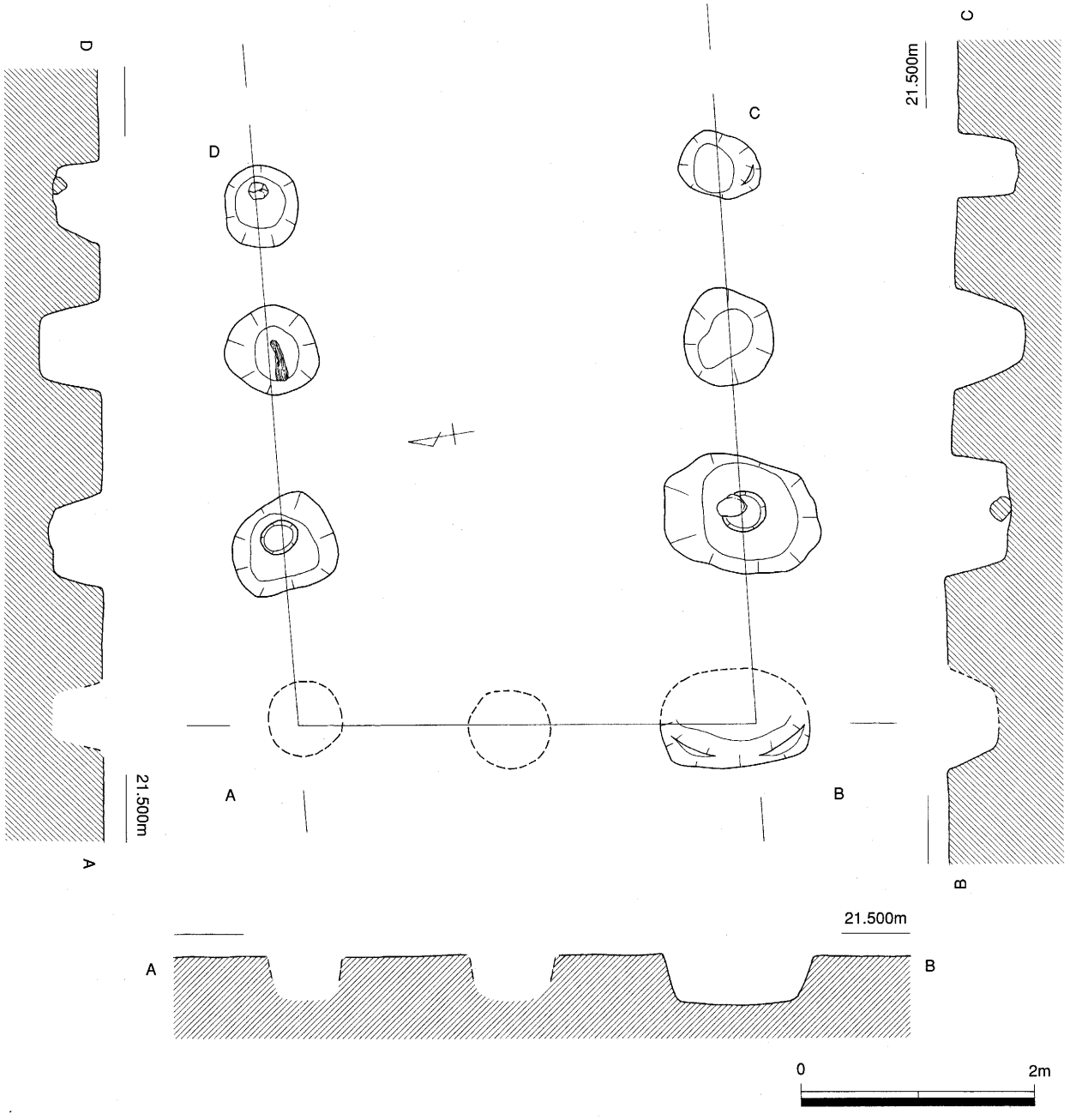
暗灰褐色あるいは灰褐色の砂質土で、部分的に粘土ブロックを含む。また、埋土中に石をふくむもの、柱痕を残すものがある。さらに、遺構の底部に礎板と思われる木材が検出された柱穴も存在する。礎板は朽ちていて、原形を把握することは困難であった。遺物は弥生土器（**52・54**）が出土している。

23）SB24（第49図）

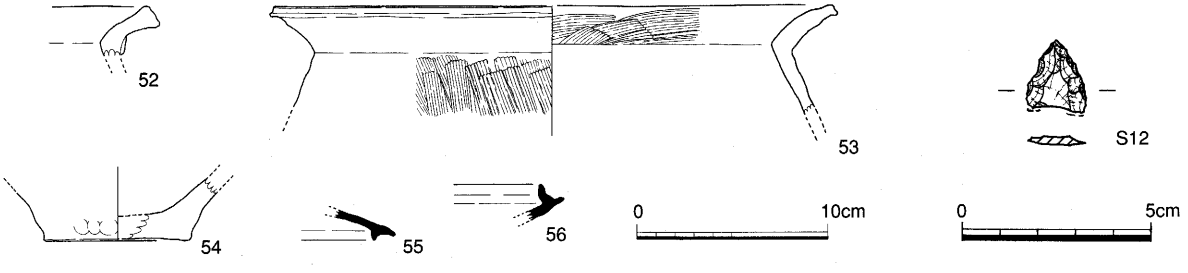
調査区の南側に位置する。建物の３辺は調査区の西側に延びると推測される。建物の主体が西側の調査区外へ延びることから、遺構の全容を知ることは困難である。各柱穴は径が約50～60㎝の円形を呈し、深さは一様に50㎝前後である。埋土は暗灰褐色あるいは灰褐色の砂質土で固く締まっており、部分的に粘土ブロックを含む。遺物は土師器、須恵器（**322**）が出土しており、遺構の時期は須恵器の器形から８世紀頃に位置づけられる。また粘板岩製の磨製石庖丁の破片が混じっている。

24）SB25（第48図）

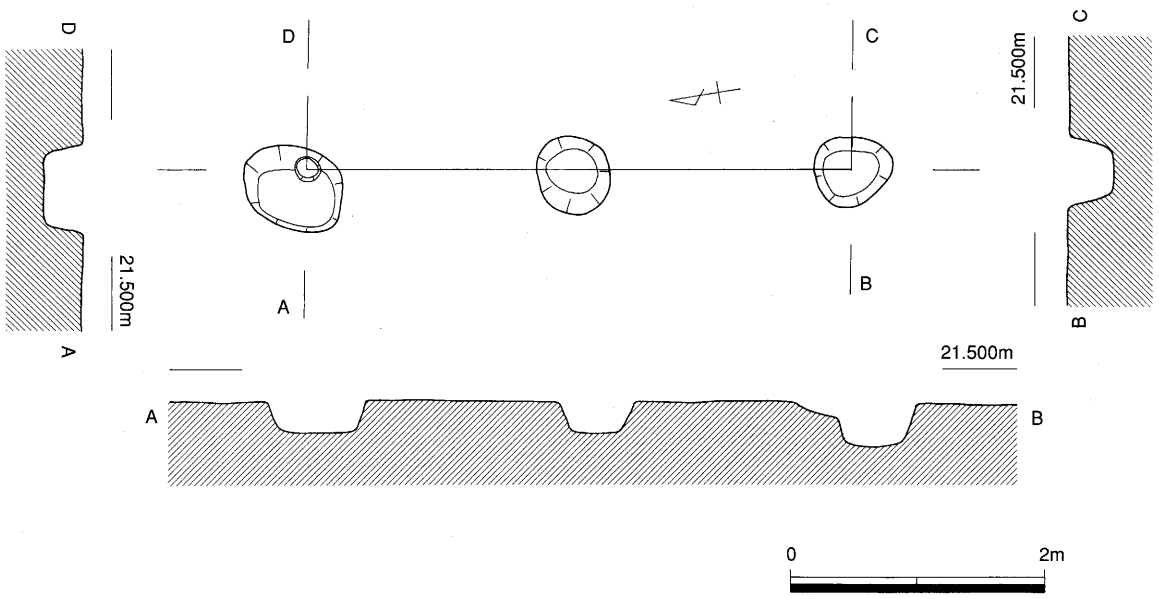
調査区の南側に位置する。建物の３辺は調査区の西側に延びると推測される。建物の主体が西側の



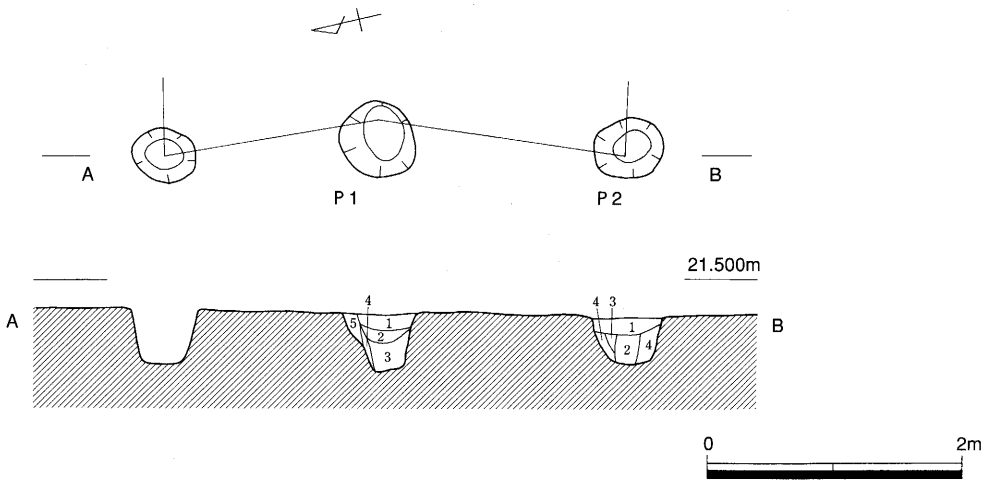
第46図　SB23（S＝1/60）



第47図　SB23・SB25出土遺物（S＝1/2・1/4）



第48図　SB25（S＝1/60）



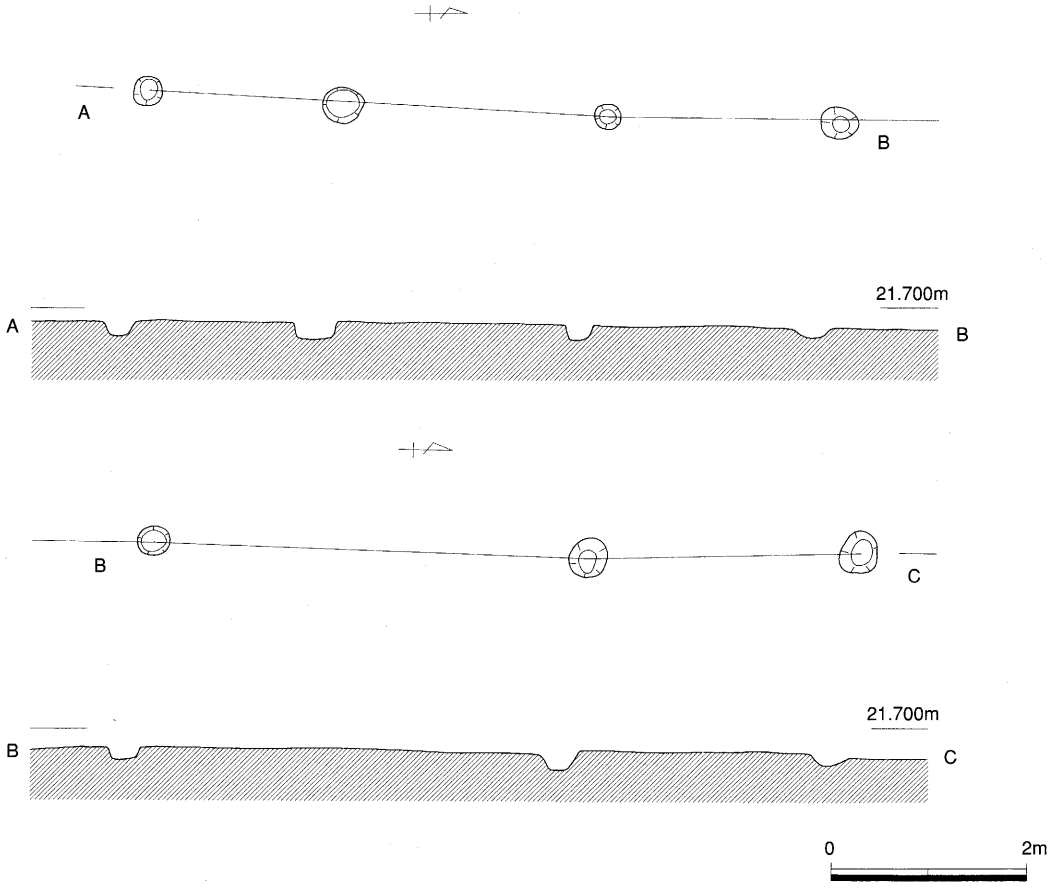
P1

1　暗灰褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
2　暗灰褐色やや粘質の砂質土層
3　灰褐色やや粘質の砂質土層
4　灰褐色砂質土層
5　暗灰褐色砂質土層

P2

1　灰褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
2　暗灰褐色粘質の砂質土層
3　灰褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
4　灰褐色やや粘質の砂質土層

第49図　SB24（S＝1/60）



第50図　柵列（Ｓ＝1/80）

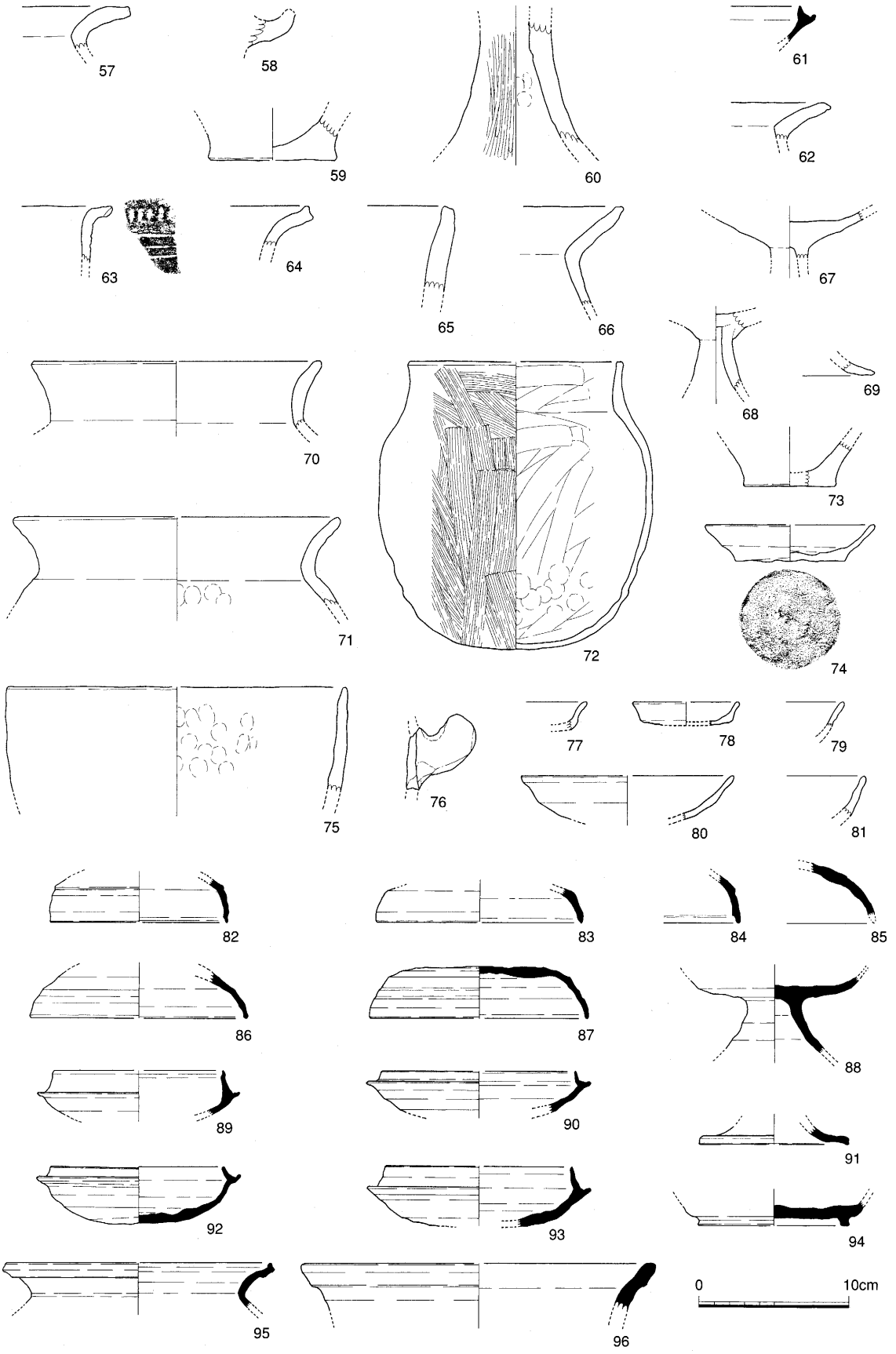
調査区外へ延びることから、遺構の全容を知ることは困難である。径が約60～70㎝の円形ないし楕円形を呈し、後世の削平をうけているため深さは約20～30㎝である。埋土は暗灰褐色あるいは灰褐色の砂質土で、部分的に粘土ブロックを含む。遺物は土師器、須恵器（**53・55・56**）が出土している。土師器は甕などの煮沸具が多く、須恵器の出土は少ない。出土土器の器形から遺構の時期は7世紀頃に位置づけられる。また弥生土器、サヌカイト製の打製石鏃1点（**S12**）が混在している。

（２）柵列（第50図）

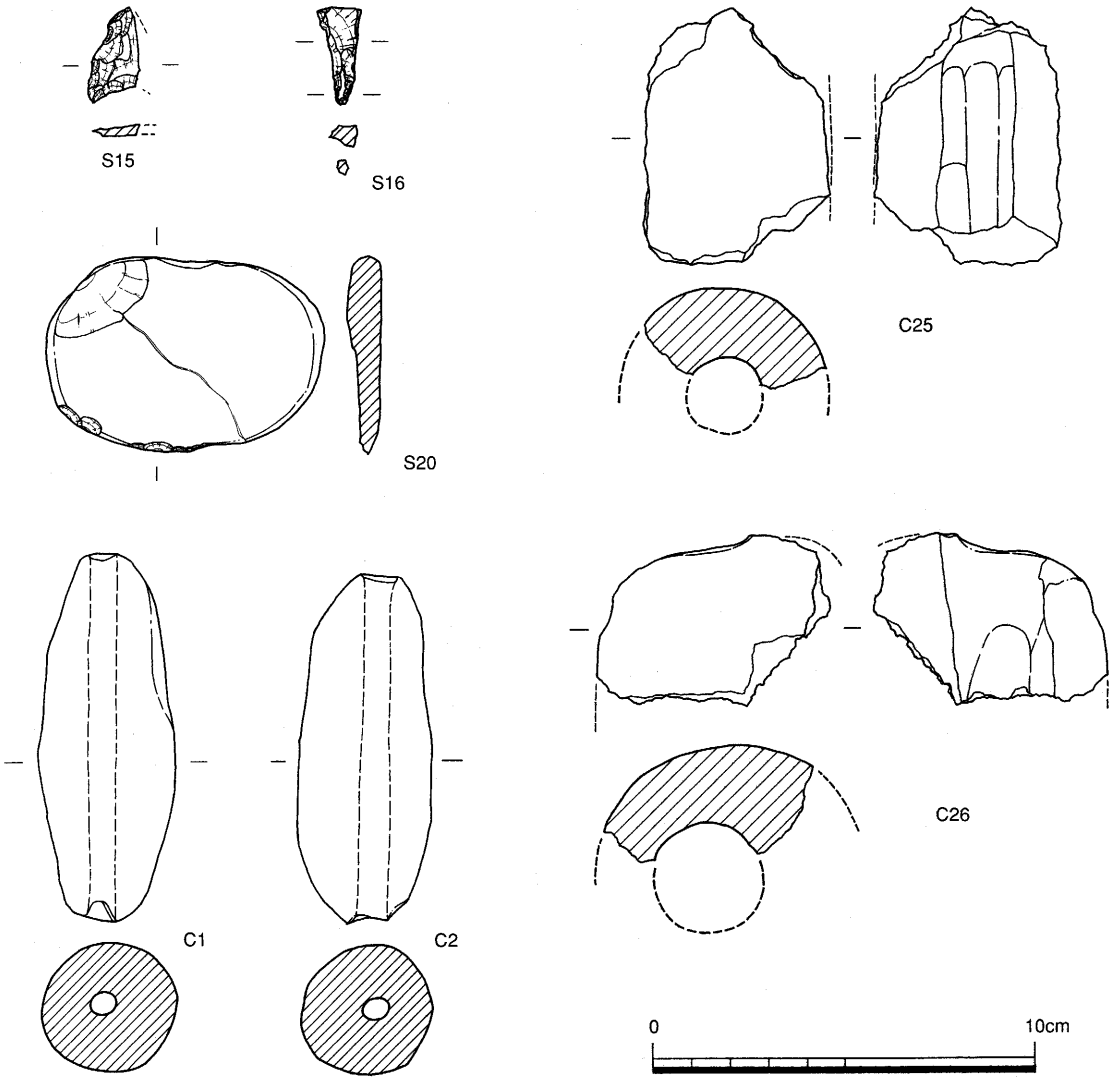
柵列は調査区のほぼ中央部東端に位置し、南北方向にのびる７本の柱穴からなる。各柱穴は径が約20～40cmのほぼ円形で、削平が著しく、残存状況は良好ではない。遺物は検出されていない。

（３）溝

溝はSD11からSD20まで10本確認された。埋土はいずれも黒褐色から暗褐色のやや粘質の砂質土で、深さはそれぞれ10～50㎝で一様ではない。溝状遺構は調査区全体にわたり検出されたが、近世から近代にかけての削平が著しく、遺構の残存状況は良好ではなかった。



第51図　SD11・SD12・SD13・SD14出土遺物（S＝1/4）

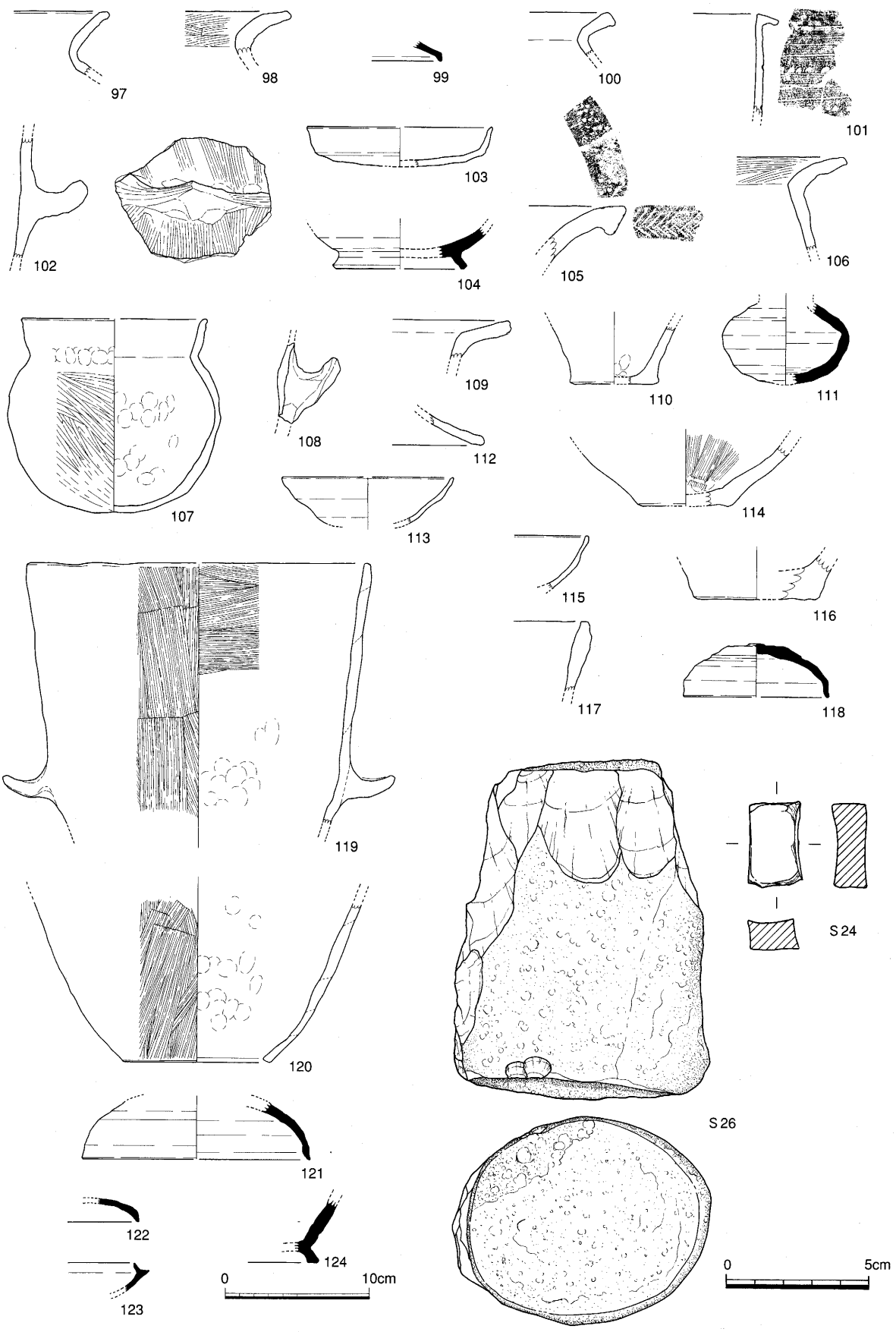


第52図　SD13出土遺物（Ｓ＝1/2）

SD11の出土遺物はほとんど検出されなかったが、甕の口縁（**57**）が1点出土している。SD13からSD16までの溝状遺構と切り合い関係にあり、最も時期が新しいと考えられる。

SD12は調査区西北端に位置し、調査区外へとわずかにつづくと考えられる。遺物は土師器（**58**～**60**）が検出されている。

SD13は調査区の中央部に広範囲にわたって検出され、西側の調査区外に向かって環状をなすように巡っていると推測される。SD13の埋土中からは多くの遺物が検出された。遺物は弥生時代前期から古代の土器（**63**～**96**）、石器（**Ｓ15**～**Ｓ22**）、土製品（**Ｃ１・Ｃ２**）、フイゴの羽口（**Ｃ25・Ｃ26**）、鉄滓などが出土し、とくに注目されるのは鉄滓とフイゴの羽口で、フイゴの羽口は細かい破片もあわせると約20点が検出された。これらの遺物から、本遺跡において鍛冶が盛んに行なわれていたことが推測される。**72**はほぼ完形の甕で、外面は刷毛調整、内面は指頭圧痕とヘラ状工具による粗い調整がほどこされている。**74**は底部にヘラ切りの痕跡を残す古代の土器で、SB12と切り合った近辺から出土した。SB12の柱穴からの出土ではないが流れ込みの可能性がある。

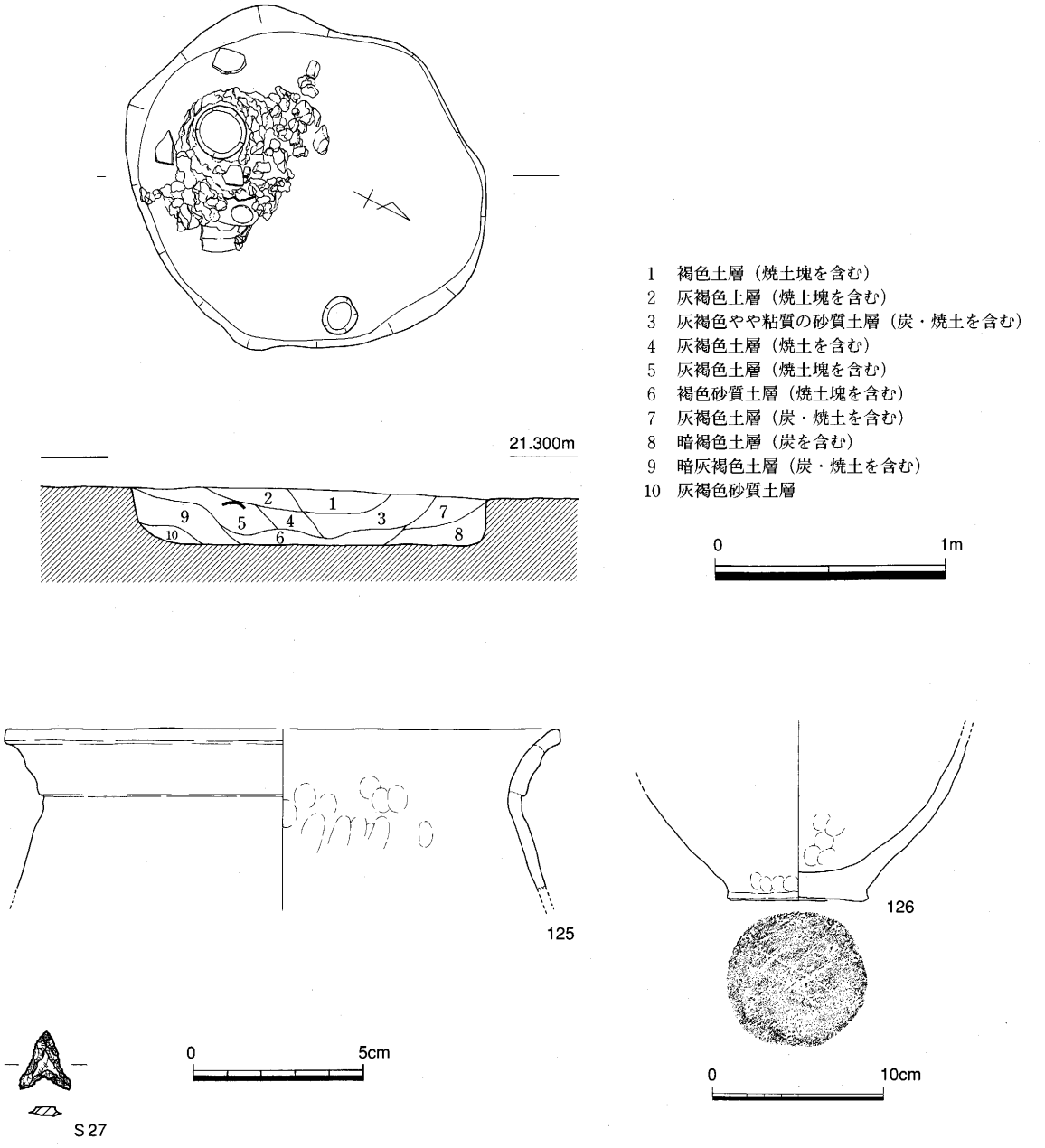


第53図　SD15・SD16・SD17・SD19・SD20出土遺物（S＝1/2・1/4）

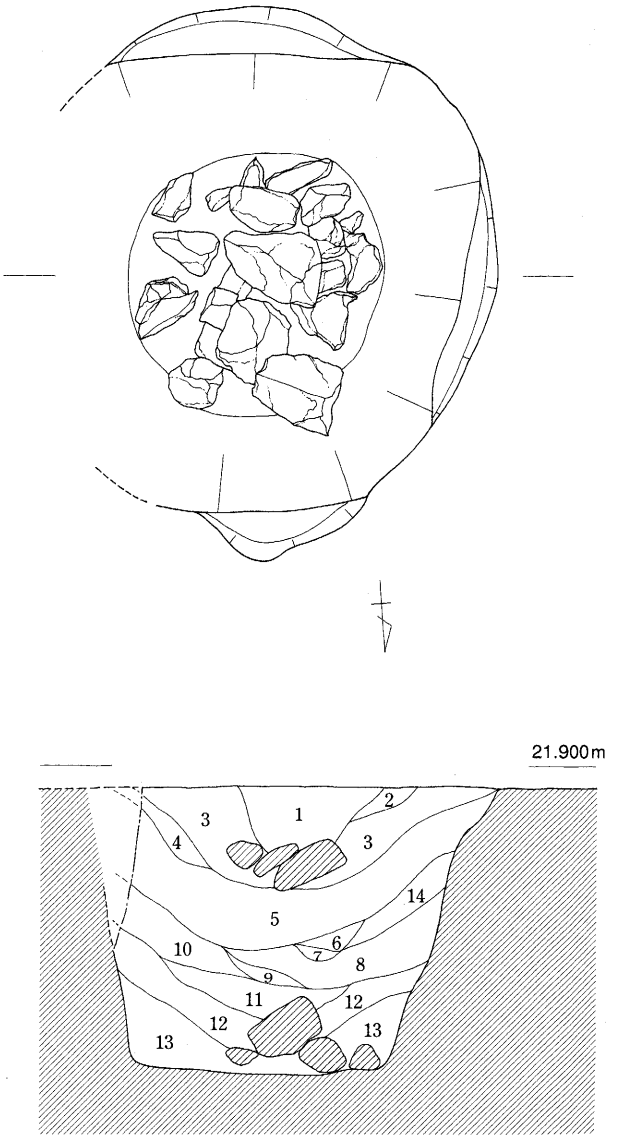
SD14は調査区北よりに位置する溝状遺構である。SD11と近接し、SD15に切られている。遺物は埋土中から須恵器（**61**）、土師器（**62**）を検出した。

SD15は調査区北よりに位置する。一端をSD11に、もう一端を近代のパイプにより切られている。遺物は埋土中より土師器（**97・98・102・103**）及び須恵器（**99・104**）が検出され、器形から8世紀に位置づけられよう。

SD16は調査区のやや北よりに位置し、SD11、SD13と切り合っている。西側の端部は調査区外へとつづいている。遺物は土器（**100・101・105・106・110・111・114・124**）、石器（**S23・S24**）が検出されている。弥生土器が多く混じるが、図化できなかった須恵器片も多数出土しており、時期は古墳時代の終わりごろではないかと考えられる。



第54図　SK5（Ｓ＝1/30）**・SK5出土遺物**（Ｓ＝1/2・1/4）



1　褐灰色粘質の砂質土層（マンガンを含む）
2　灰褐色やや粘質の砂質土層
3　暗灰褐色粘質の砂質土層（マンガンを含む）
4　暗灰色粘質の砂質土層
5　黄褐色砂質土層（マンガンを含む）
6　青灰色砂質土層
7　青灰色やや粘質の砂質土層
8　暗灰色粘質の土層
9　青灰色粘質の砂質土層
10　青灰色砂質土層
11　青灰色粘質の砂質土層
12　暗青灰色粘質の土層
13　暗灰色粘質の土層
14　暗灰色粘質の砂質土層

0　1m

第55図　SK27（S＝1/30）

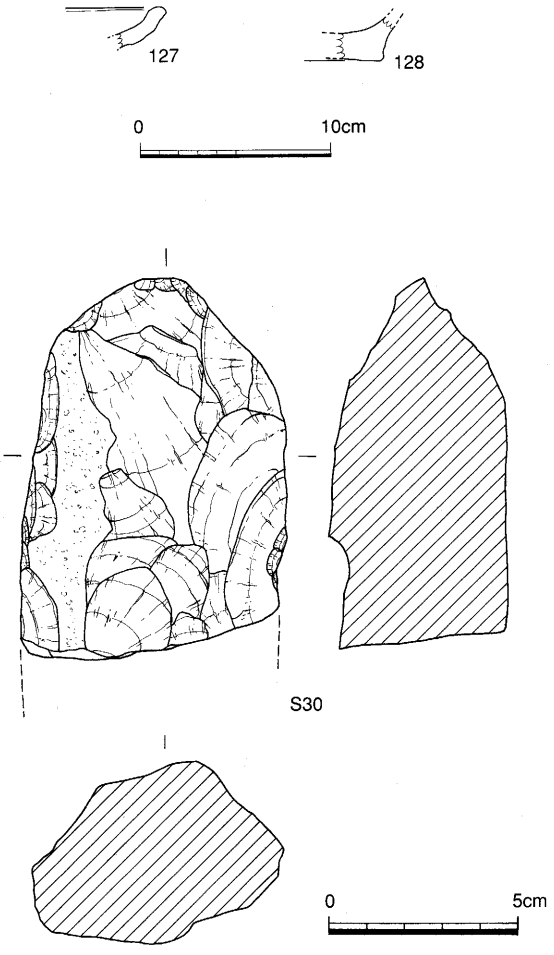
SD17は調査区の西端に位置し、調査区外へとのびる。埋土はやや粘性のある黒褐色の砂質土で、深さは10～20㎝で、近世から近代にかけての削平をうけていると考えられる。遺物を多く含んでいた。サヌカイト製の楔形石器1点、**113**の土器をのぞけば、7世紀から8世紀の土器（**107～109・112・119～123**）が主体を占める。

SD18は調査区西端に位置し、一端が近代のパイプにより撹乱をうけており、もう一端は調査区外へとつづく。出土遺物は土師器、須恵器の破片が出土したが図化できなかった。

SD19は調査区南側に位置する溝状遺構で、一端が近代のパイプにより撹乱をうけている。出土遺物は少量で、土器（**116**）が数片検出された。

SD20は調査区南側の西端に位置し、調査区外へとつづく。土器（**115・117・118**）と石器（**S26**）が検出された。**S26**は 流紋岩製の敲石で基部を持ちやすいように打ち掻いている。下端は平坦で、使用による敲打痕が明瞭にのこる。重量1,300ｇ。

出土遺物から今回検出した溝状遺構は５世紀後半から８世紀にかけて利用されたと考えられる。これらの遺構は集落に伴うものと考えられるが、これらの遺構に共存する住居址、掘立柱建物を検出することはできなかった。しかし、SD13をはじめ、SD12、SD16、SD17、SD18、SD20など溝の一端が調査区の西側へのびる様相を示していることから当該時期の集落の主体部は西側の調査区外に位置すると考えられる。



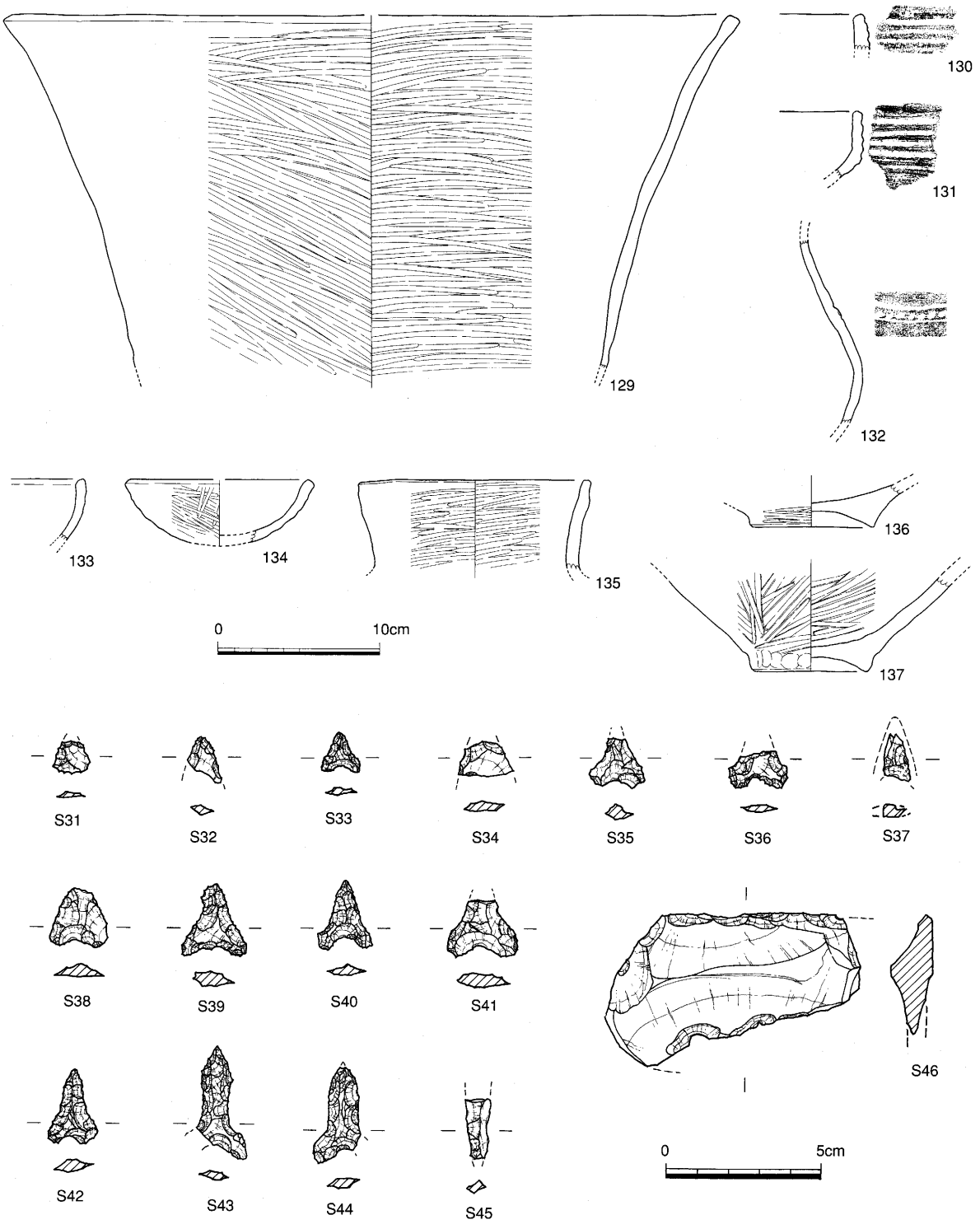
第56図　SK27出土遺物（Ｓ＝1/2・1/4）

（４）土壙（第54図・第55図）

土壙は55基検出した。そのうち埋土中から遺物が出土したものは27基である。土壙の埋土は一部の土壙を除いて、暗褐色ないし黒褐色の色調を呈し、粘質の砂質土である。それぞれ時期は埋土中の出土遺物より縄文時代晩期から中世までと考えられる。しかし、掘立柱建物が中世段階、溝が古墳時代から中世段階を主体とする遺構であるのに対し、土壙から出土した遺物は縄文時代晩期から弥生時代中期にかけてのものが多く、当該時期の遺構の可能性が高い。

SK５は調査区の北側に位置する。平面形は円形を呈し、径が約150㎝、深さが約30㎝の土壙である。埋土は茶褐色ないし赤褐色の砂質土で、粘性はない。埋土中にこぶし大の焼土塊をはじめ、焼土、炭化物を多く含んでいた。しかし、土壙の床面および壁面を観察したところ被熱の痕跡はみとめられず、この場所で火を使った形跡はない。この遺構は古墳時代のものと思われるピットに一部きられているが残存状況は比較的良好であった。遺物は弥生土器（**125・126**）、サヌカイト製の打製石鏃（**S27**）、石錐、スクレイパーが１点ずつ検出された。**125**は弥生時代前期前半の壷の口縁部で、調整は内外面ともに摩滅しており不明だが、くびれ部に段を有し当該時期の土器の特徴をよく表している。弥生時代前期に位置付けられる。

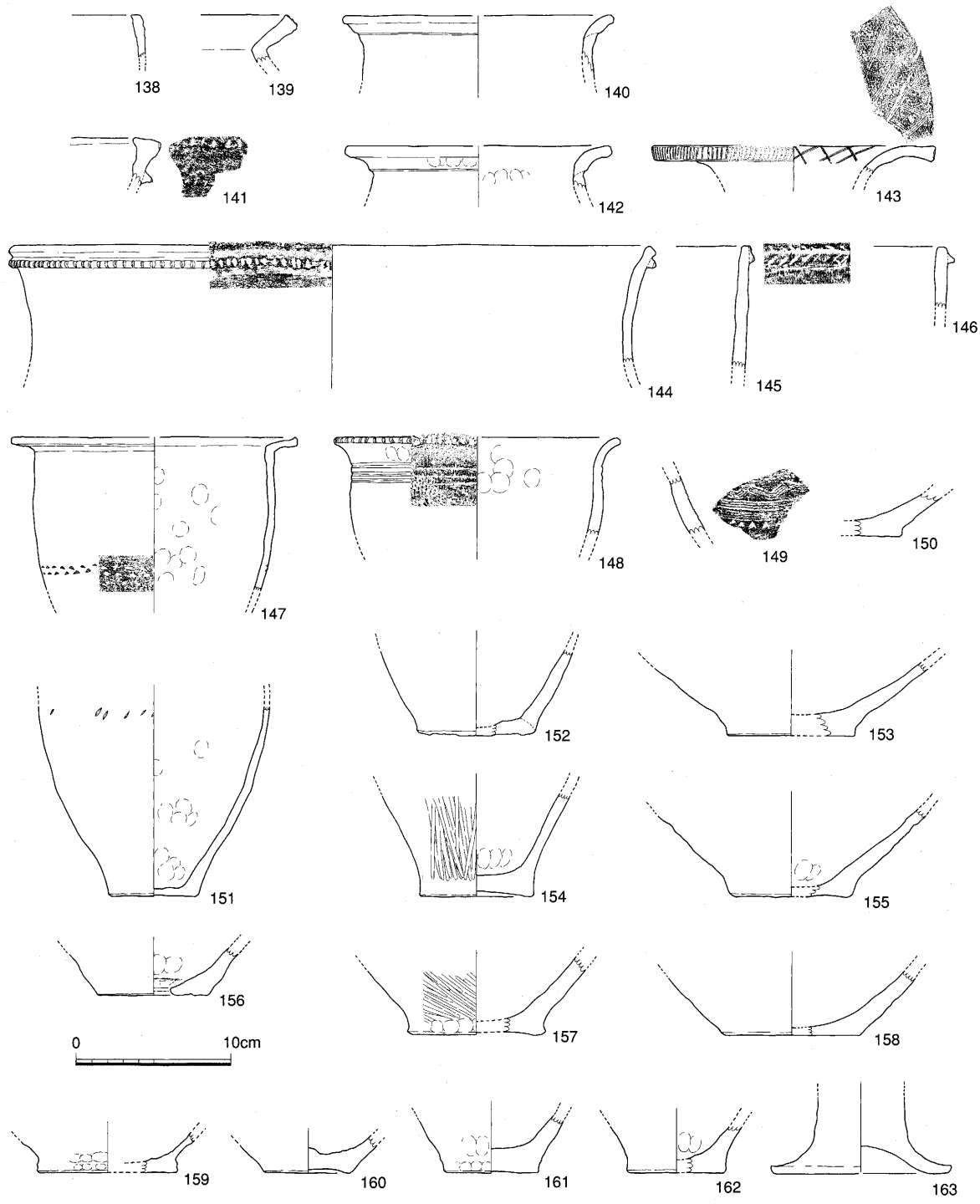
SK27は調査区の南側に位置する。土壙の西側部分は近代のパイプ埋設に伴う撹乱をうけているが、遺構の残存状況はほぼ良好である。平面形はいびつな円形を呈し、径は約200㎝で、深さは約120㎝である。埋土は暗灰褐色から青灰色を呈し、粘質の砂質土層で湿り気がある。下部にいくにつれて砂質の割合が高い。また、部分的に粘土ブロックを含んでおり、遺構の中ほどはマンガンの沈着により橙色を呈している。埋土中には石が多く含まれており、井戸であった可能性が考えられる。出土遺物は



第57図　SK8出土遺物（S＝1/2・1/4）

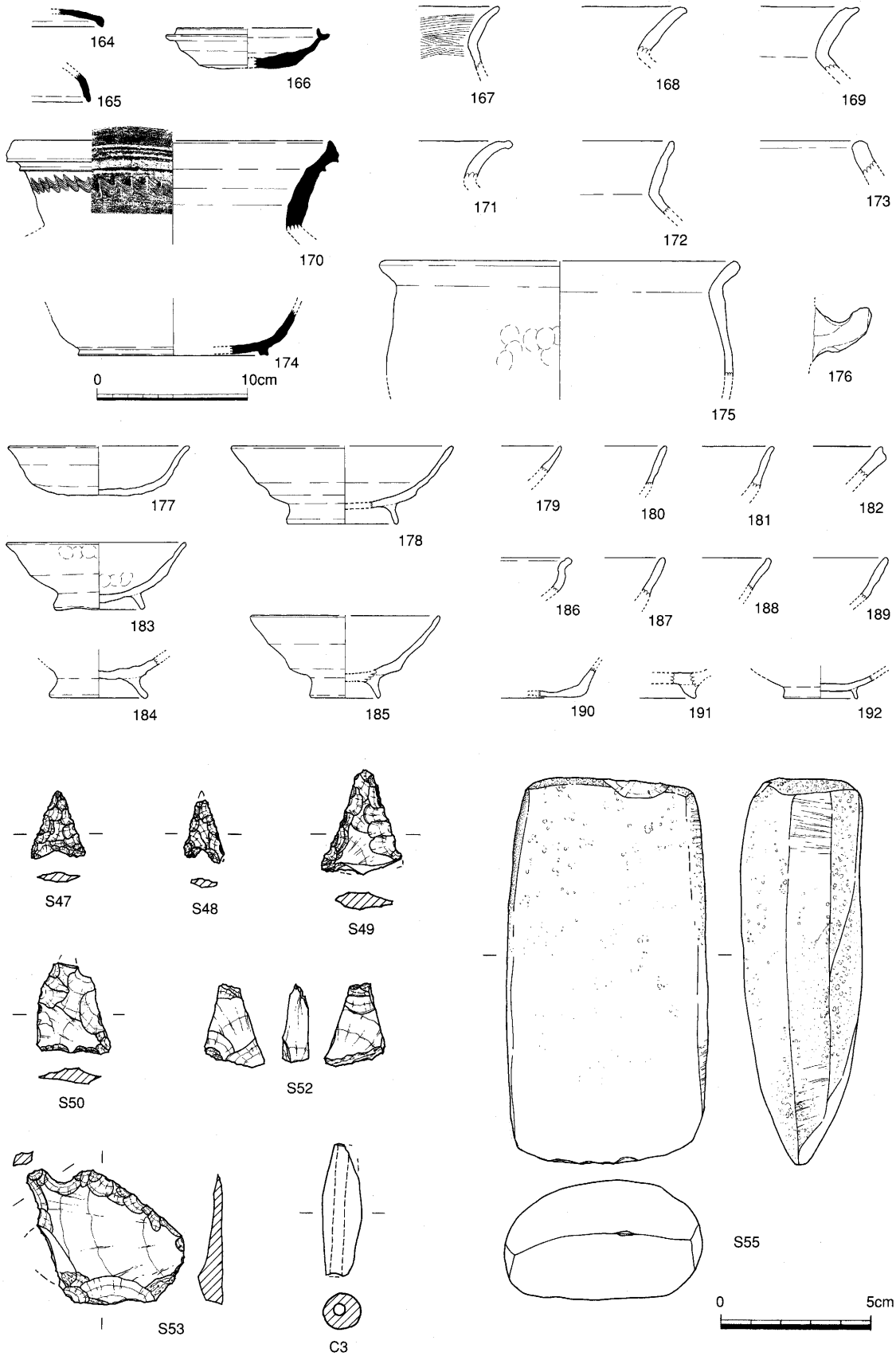
ほとんど含まれておらず、わずかに８～９世紀の土器片（**127**）、弥生土器の底部片（**128**）、流紋岩製の石斧未製品を１点（**S30**）検出したにすぎない。

SK８は調査区のほぼ中央に位置する。平面形はいびつな楕円形を呈し、長径は約100㎝である。埋土は粘質の暗褐色砂質土で、炭化物と焼土を含んでいる。ほかの遺構と比較して遺物を多く含んでおり、とくにサヌカイト製の石器、剥片の出土の割合が高かった。そのため埋土を水洗したところ、サ

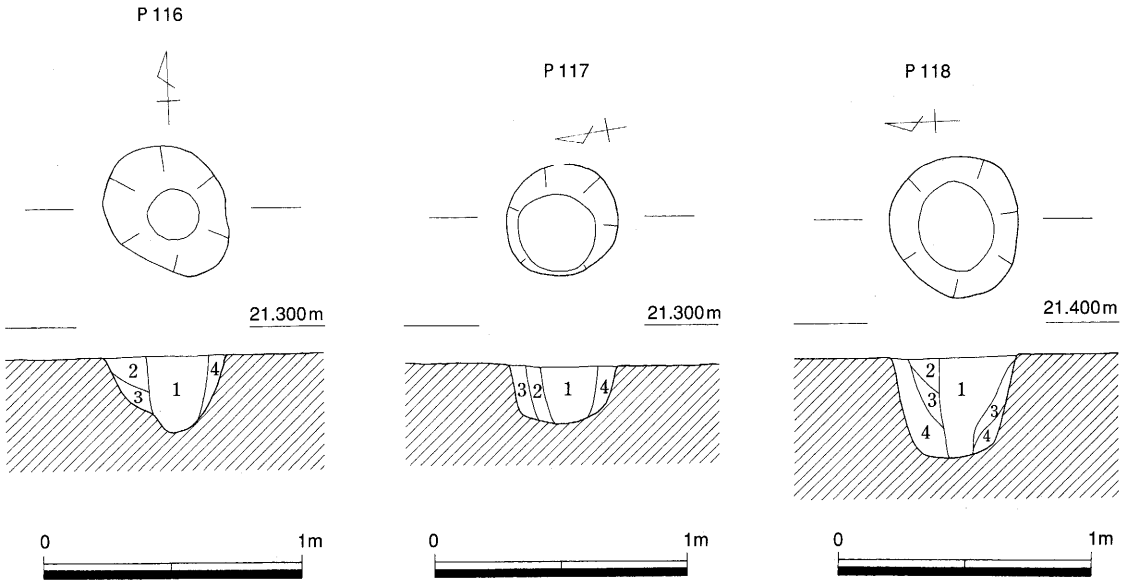


第58図　土壙出土遺物（１）（S＝1/4）

ヌカイト製の打製石鏃14点（**S31～S44**）、石錐1点（**S45**）、粘板岩製のスクレイパーの未製品１点（**S46**）、およびサヌカイトの剥片・チップを無数に検出した。石器は未製品あるいは欠損しているものが多く、石器製作の段階、あるいは使用により欠損したものを土壙内に廃棄したのではないかと考えられる。また、土器は縄文時代晩期の深鉢形土器の口縁部をはじめ、浅鉢形土器を検出した（**129～137**）。いずれも条痕状の工具による入念な調整がほどこされおり、焼成も良好である。しかし、



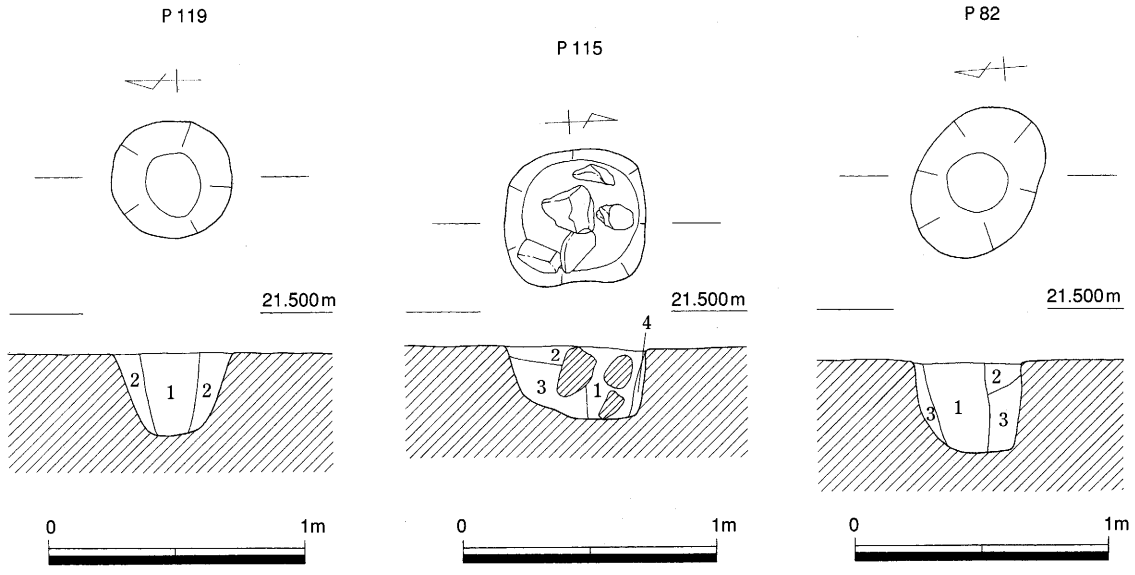
第59図　土壙出土遺物（2）（S＝1/2・1/4）



1　黒褐色粘質の砂質土層（焼土・炭を含む）
2　暗褐色粘質の砂質土層（焼土・炭を含む）
3　暗褐色粘質の砂質土層（炭を含む）
4　褐色砂質土層（炭を含む）

1　黒褐色粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
2　暗褐色粘質の砂質土層（焼土を含む）
3　黒褐色やや粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
4　黄褐色砂質土層

1　暗灰褐色粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
2　灰褐色粘質の砂質土層（焼土を含む）
3　暗灰褐色やや粘質の砂質土層
4　灰褐色やや粘質の砂質土層

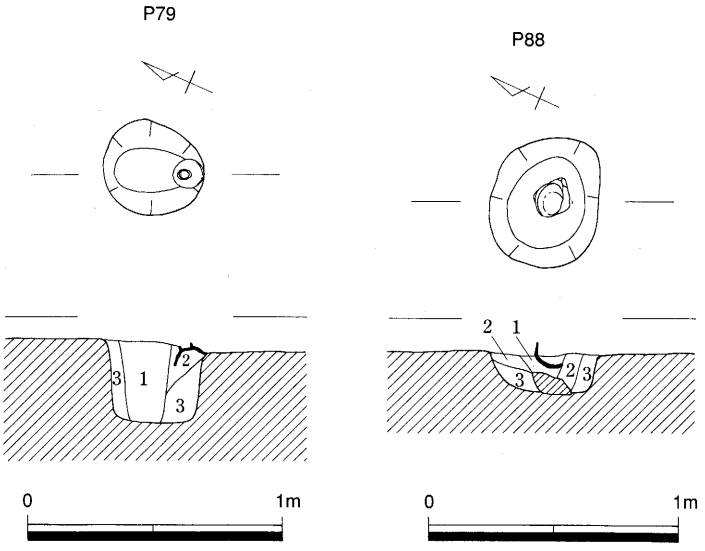


1　暗褐色粘質の砂質土層（焼土・炭を含む）
2　暗灰褐色粘質の砂質土層（焼土・炭を含む）

1　暗灰褐色粘質の砂質土層
2　灰褐色砂質土層
3　暗灰褐色やや粘質の砂質土層
4　暗灰褐色やや粘質の砂質土層

1　暗灰褐色粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
2　暗灰褐色粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
3　暗灰褐色粘質の砂質土層

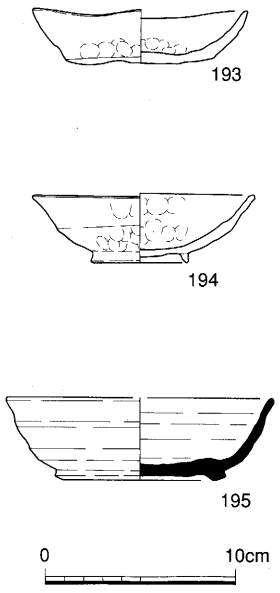
第60図　柱穴（１）（Ｓ＝1/30）



1　黒褐色粘質の砂質土層（炭・焼土を含む）
2　暗褐色やや粘質の砂質土層（炭を含む）
3　暗褐色の砂質土層（炭を含む）

1　暗褐色粘質の砂質土層
2　暗褐色粘質の砂質土層
（炭・焼土を含む）
3　暗褐色粘質の砂質土層

第61図　柱穴（２）（S＝1/30）



第62図　柱穴出土遺物（１）
（S＝1/4）

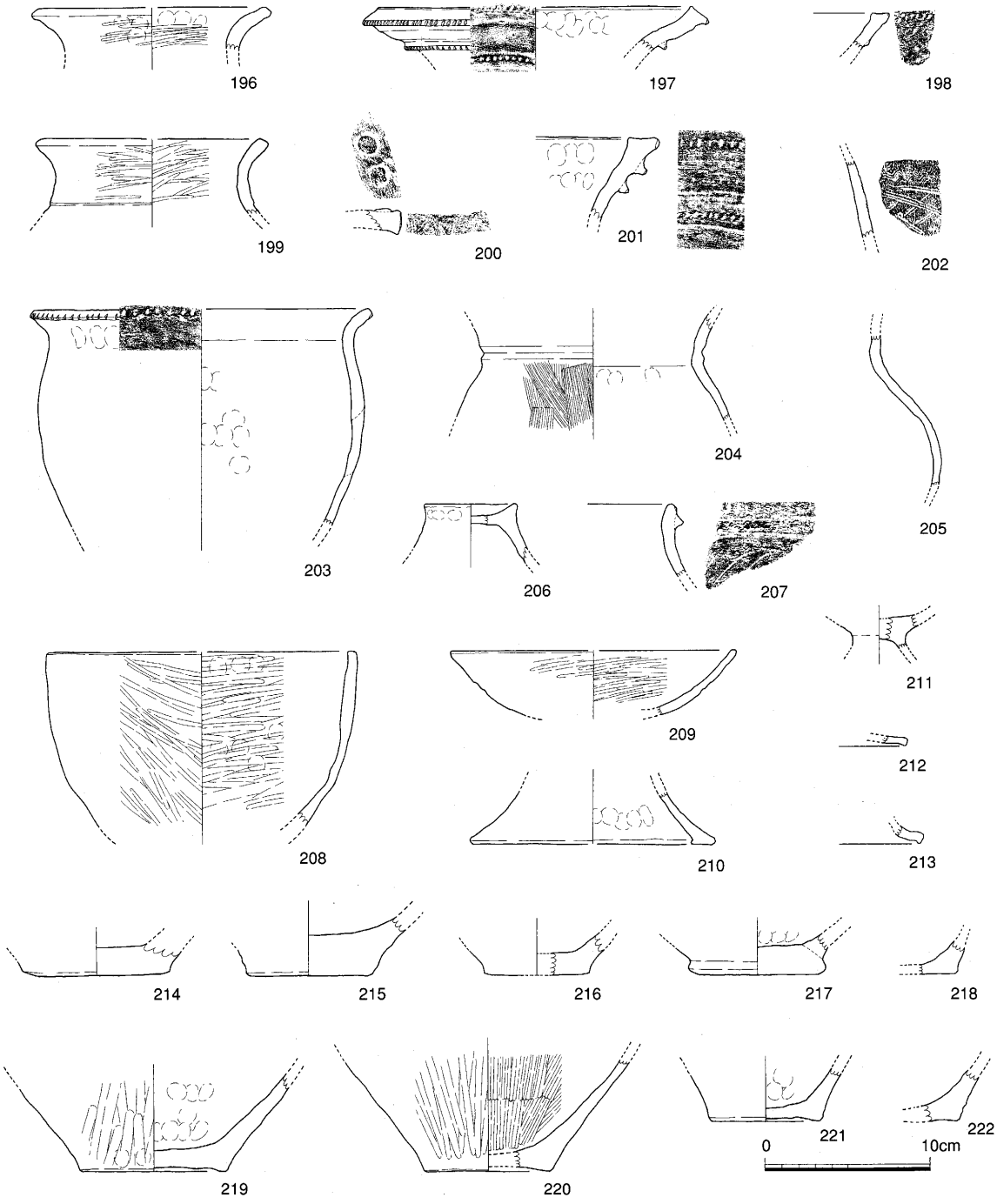
全体の器形がわかるものは**134**のみであった。

土壙の埋土中から出土した遺物の中で残存状況が良好なものを第58図・第59図に掲載している。また、土器観察表、石器・石製品一覧表、土製品一覧表の遺構番号は第５図の番号と対応している。

138はSK６から出土した縄文時代晩期の鉢形土器の口縁部である。**139**～**163**は弥生土器である。**140**・**142**はいずれもSK19から出土した前期の壷型土器の口縁部で、段が明瞭にみとめられる。**144**はSK23から出土した土器で、復元口径が42㎝の甕形土器で、口唇部直下に凸帯が一条巡り、ほぼ等間隔に刻目がほどこされている。**145**・**146**はSK24から出土した縄文時代晩期の土器で、口唇部に凹線文がほどこされている。**147**は弥生時代中期の甕形土器でSK３から出土した。**156**はSK24から出土した甕形土器の底部で穿孔がほどこされている。**163**は蓋形土器で上部を欠損しているが、おそらく角状の突起がつくと考えられる。

164～**166**・**170**・**174**は須恵器、**167**～**169**・**171**～**173**・**175**～**193**は土師器である。時期は古墳時代から中世である。167は土師器の甕形土器で、内面に横方向のハケ調整を明瞭にのこす。**170**はSK26から出土した須恵器の甕で口縁部直下に羽状文がほどこされている。**173**はSK22から出土した無頸壷の口縁部である。**176**はSK20から出土した甑の把手である。把手の断面は楕円形を呈しており、古代に位置付けられよう。**177**はSK１から出土した杯で、復元口径12.2㎝、器高3.3㎝をはかる。色調は灰白色を呈している。口唇部がやや外反しており、調整は入念である。**178**・**185**はSK23から出土した椀形土器である。いずれも浅黄橙色ないし灰白色を呈し、ろくろによる入念な調整がほどこされている。

また、**S47**～**S57**は土壙から出土した石器である。石器がまとまって出土した土壙はSK８以外みとめられなかった。**S47**～**S50**はサヌカイト製の打製石鏃で、とくに**S49**・**S50**は未製品である。**S52**はサヌカイト製の楔形石器で、重量は5.0ｇ。SK13から出土した。**S53**はSK17から出土したサヌカイト



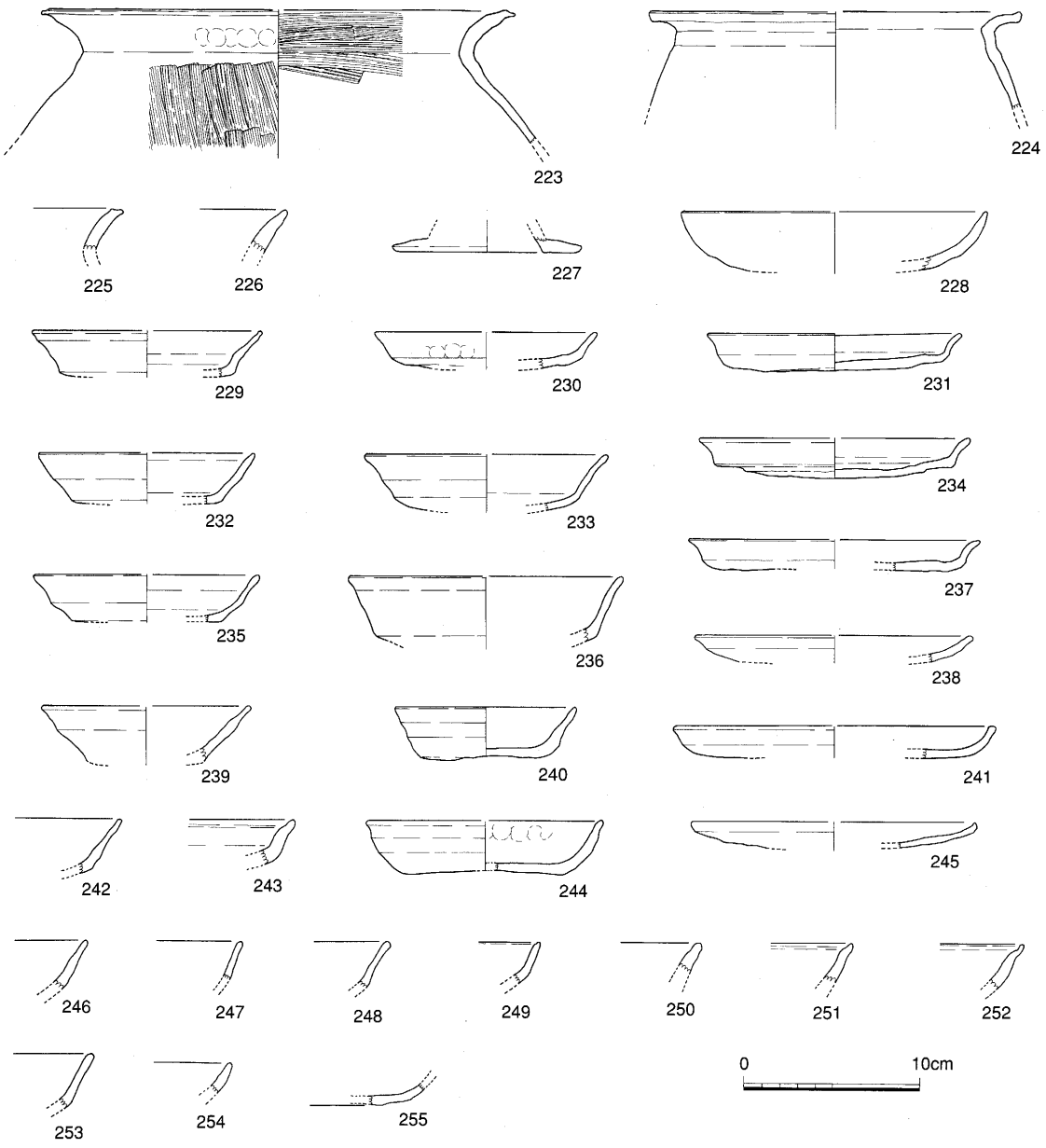
第63図　柱穴出土遺物（２）（S＝1/4）

製の石匙である。残存重量は17.1ｇ。SK17からは粘板岩製の石庖丁も出土している。**S55**はSK19から出土した流紋岩製の磨製石斧である。ほぼ完形だが、刃部にわずかな欠損がある。基部に敲打痕が残存するが、全体を入念に研磨しており、一部研磨痕がみとめられる。重量は621.8ｇ。

C3はSK15から出土した土錘である。上端、下端を欠くが、残存重量は5.8ｇである。

（５）柱穴（第60図・第61図）

柱穴は切り合いの関係などの問題があるが、1,300基以上を検出した。これらは何らかの建物の柱

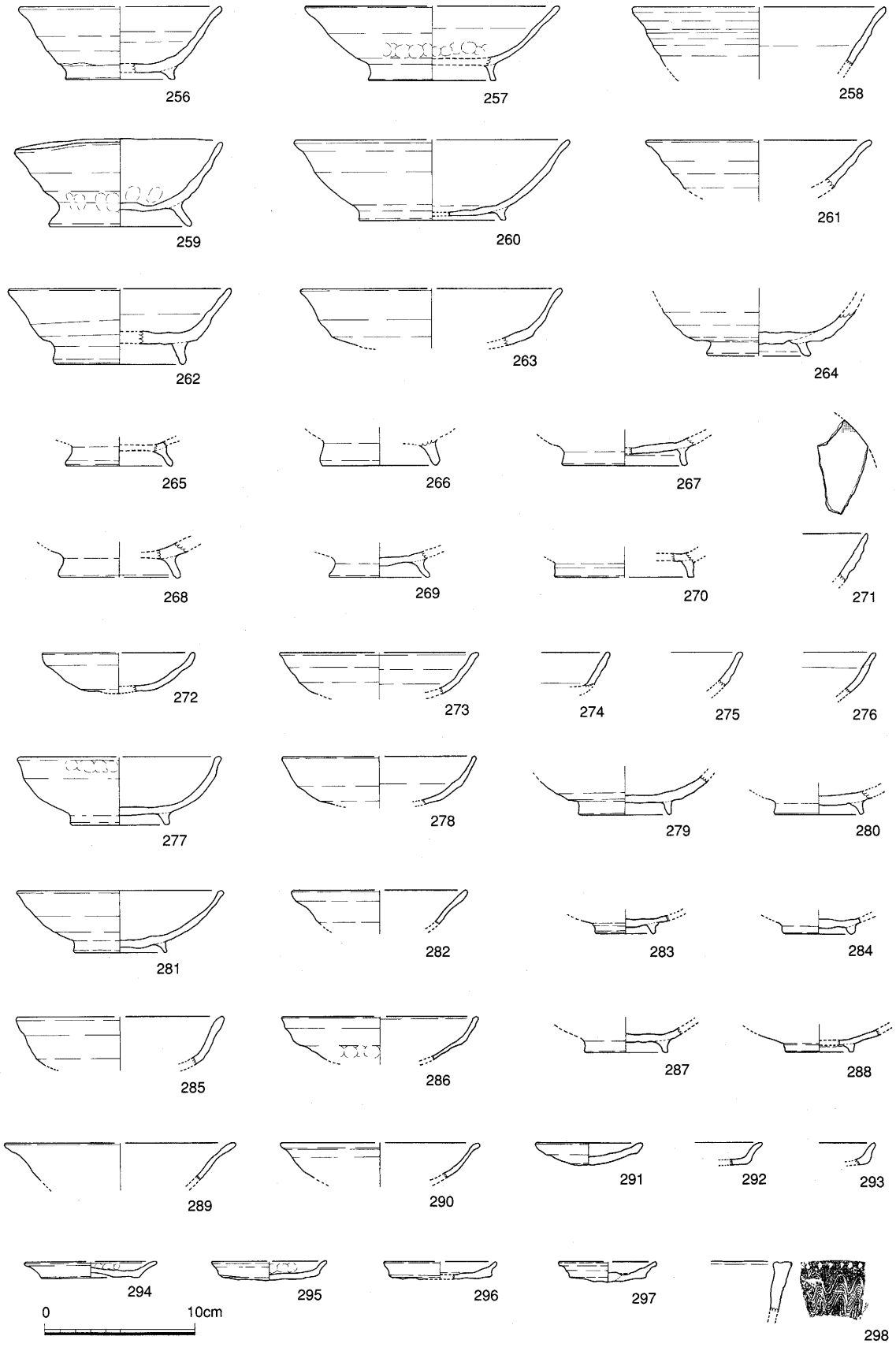


第64図　柱穴出土遺物（3）（S＝1/4）

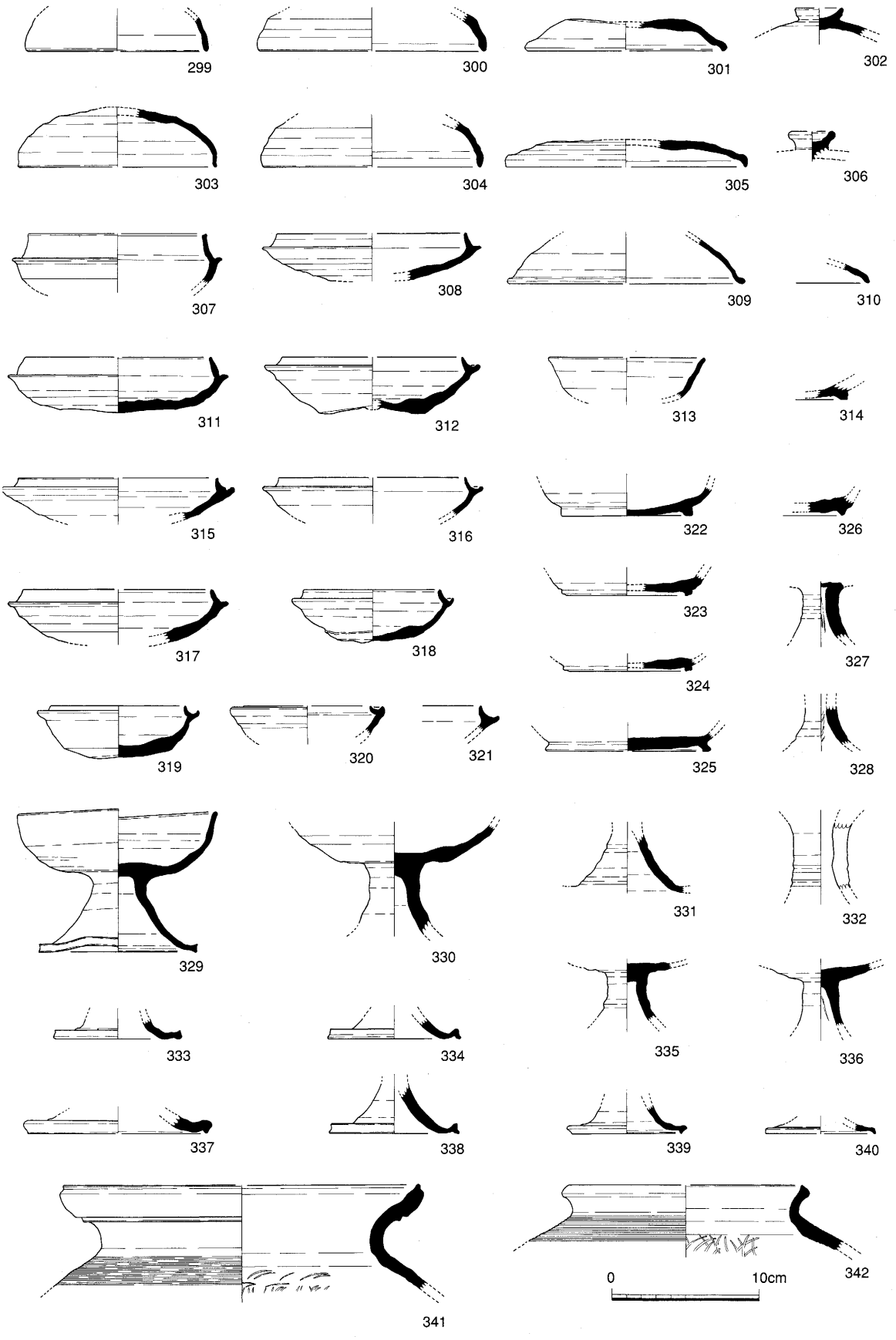
穴であると思われるが、同一の遺構のものと考えられる柱穴がみとめられなかった。埋土は暗灰褐色、暗褐色、黒褐色の色調で、すべて粘質の砂質土である。調査区の南側へいくにつれて粘性がつよくなるようである。多くの柱穴の埋没状況は一様であったが、柱痕を残すもの、埋土中に石を含むもの、柱穴床面に木材を含むものがみとめられた。柱穴床面に木材を含むものについては残存状況が悪く、形状および加工痕等は観察できなかった。それぞれ時期は埋土中の出土遺物より弥生時代前期から中世までと考えられる。

P116は調査区の中央部に位置するピットである。平面形はややいびつな楕円形を呈し、径は約50㎝、深さは約30㎝である。埋土はやや粘質の暗褐色砂質土層で、柱痕を残す。出土遺物は検出されなかった。

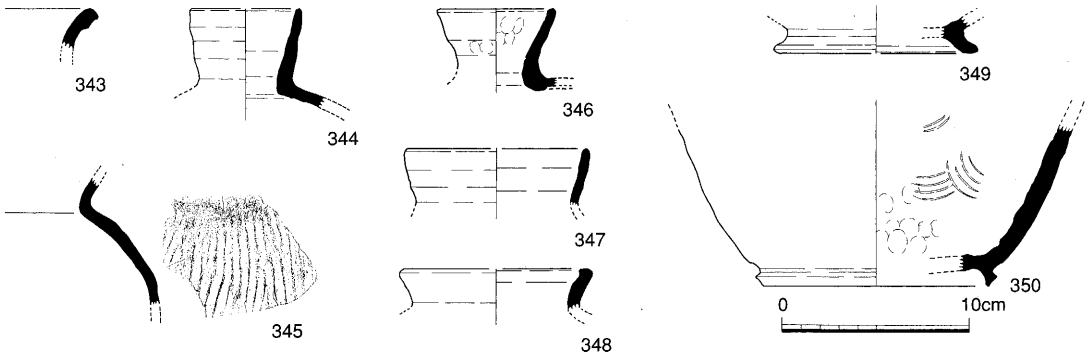
P117は調査区の中央部、SB10に近接し、P116の北側に位置する。平面形は円形を呈し、径は約40



第65図　柱穴出土遺物（４）（Ｓ＝1/4）



第66図　柱穴出土遺物（５）（Ｓ＝1/4）



第67図　柱穴出土遺物（６）（Ｓ＝1/4）

cm、深さは約20cmである。遺構は開墾による削平をうけており残存状況は良好ではない。埋土は基本的にやや粘質の暗褐色砂質土層だが、柱痕部分は粘質の黒褐色砂質土層を呈す。出土遺物はみとめられなかった。

P118は調査区南側、SB21と近接した位置に存する。平面形がややいびつな円形を呈し、径は約60cm、深さは約40cmあり、柱痕を残す。埋土は粘質の暗褐色砂質土層で、柱痕部分は若干黒色を呈す。出土遺物は検出されなかった。

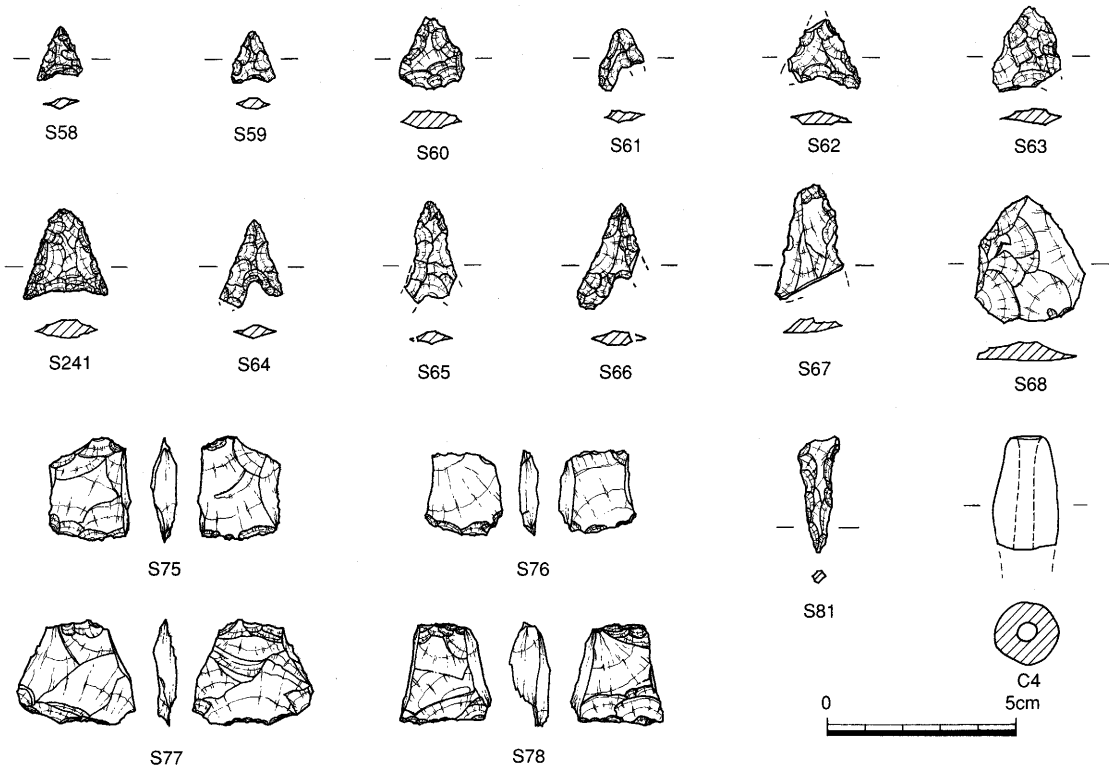
P119は調査区の南側、SD19、SD20と近接するピットである。平面形は円形を呈し、径が約50cm、深さが約30cmで、遺構の残存状況はやや良好である。柱痕が残存しており、埋土はやや粘質の暗褐色砂質土層である。出土遺物は検出されなかった。

P115は調査区の最も南側に位置するピットである。平面形はややいびつな隅丸方形を呈し、埋土中に石を多く含んでいる。径は約50cm、深さは約30cmであった。埋土は湿り気のある暗灰褐色ないし灰褐色の砂質土で、砂の割合が高く、よくしまっている。また、粘土ブロックを含んでいる。遺物は検出されなかった。

P82はSB７、SD13と近接するピットである。平面形はいびつな楕円形を呈し、長径は約60cm、深さは約40cmで遺構の残存状況はやや良好である。埋土はやや粘質の暗褐色砂質土層で、柱痕をよく残している。出土遺物は須恵器の杯が１点（**195**）検出された。**195**は復元口径14.2cm、器高4.4cm、底径9.1cmを呈する。内外面ともに回転ナデによる入念な調整がほどこされており、焼成は良好である。器形から時期は８世紀頃と思われる。

P79はSD16をきっているピットで、調査区の中央部東端に位置する。平面形は円形を呈し、径は約40cm、深さは約30cmである。埋土はやや粘質の暗褐色砂質土層で、粘質の黒褐色砂質土の柱痕を残している。出土遺物は早島式土器と思われるほぼ完形の椀が１点（**194**）検出された。**194**は口径が11.8cm、器高が3.7cm、底径が5.2cmを呈する。内外面ともに指頭圧痕を明瞭にとどめ、そのあと入念にナデ調整をおこなっている。高台をやや粗雑にとりつけている。焼成は良好で、若干歪んでいる。色調は浅黄橙色を呈する。

P88はSD18、P116と近接するピットで、調査区中央部の東端に位置する。平面形はいびつな楕円形を呈し、長径が約50cm、深さが約15cmである。削平により、遺構の残存状況は良好とはいえない。埋土は暗褐色の砂質土層で、平坦でやや大きめの石を床面中央に配置している。この石は柱の沈み込みをおさえる役割をしていたと考えられる。その石の上面からほぼ完形の土師器の杯が1点（**193**）検



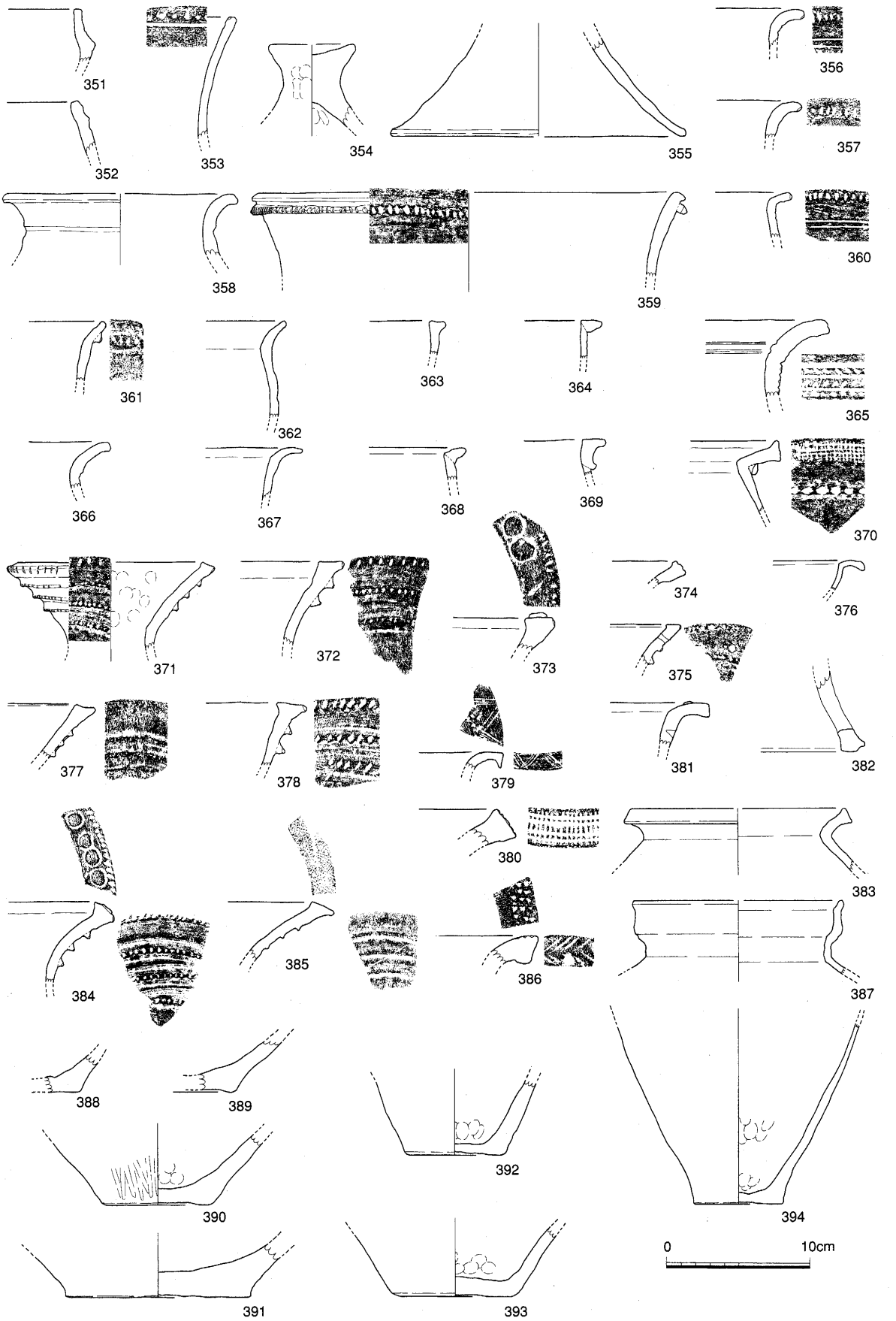
第68図　柱穴出土遺物（７）（Ｓ＝1/2）

出された。**193**は口径が13.2㎝、器高が3.9㎝を呈し、焼成時のひずみが大きい。内外面ともにユビオサエとナデによる調整がほどこされており、焼成は良好である。色調は灰白色ないし浅黄橙色を呈する。器形から10世紀頃と位置付けられる。

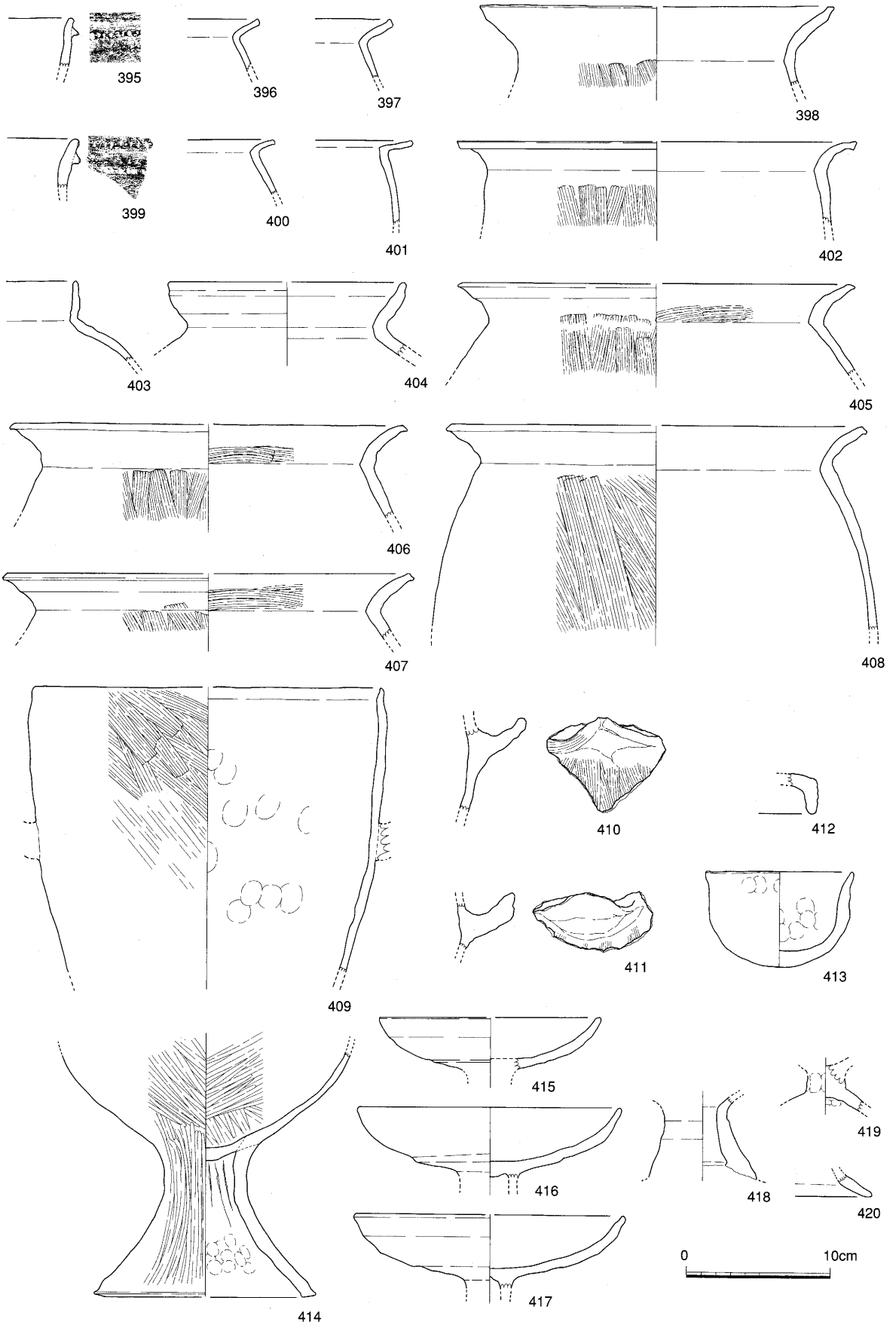
柱穴の埋土中から出土した遺物の中で残存状況が良好なものを第63図～第68図に掲載している。また、土器観察表、石器・石製品一覧表、土製品一覧表の遺構番号は第５図の番号と対応している。

196～222は弥生土器である。**196～202・204・205**は壷形土器である。**199**はP18から出土した頸部に段を有する弥生時代前期前半の土器である。復元口径は14.2㎝である。**197・198・200～202**は装飾が顕著で、凸帯や刻目がほどこされている。弥生時代中期中葉の土器である。203はP18から出土した甕形土器である。**199**の壷形土器と同一遺構から検出された。口唇部に等間隔の刻目がほどこされており、外面にススがわずかに付着する。復元口径は21.0㎝である。**206**はＰ２から出土した蓋形土器の上部で甕形土器に対応するものである。**207**はＰ５から出土した深鉢と思われるが、破片のため傾き不詳はある。口唇部直下に貼り付け凸帯を有する。**209～211・213**は高杯形土器である。209はP100から出土したもので、器形から弥生時代前期後半に位置付けられる。内外面ともにミガキがほどこされており、復元口径は17.5㎝である。

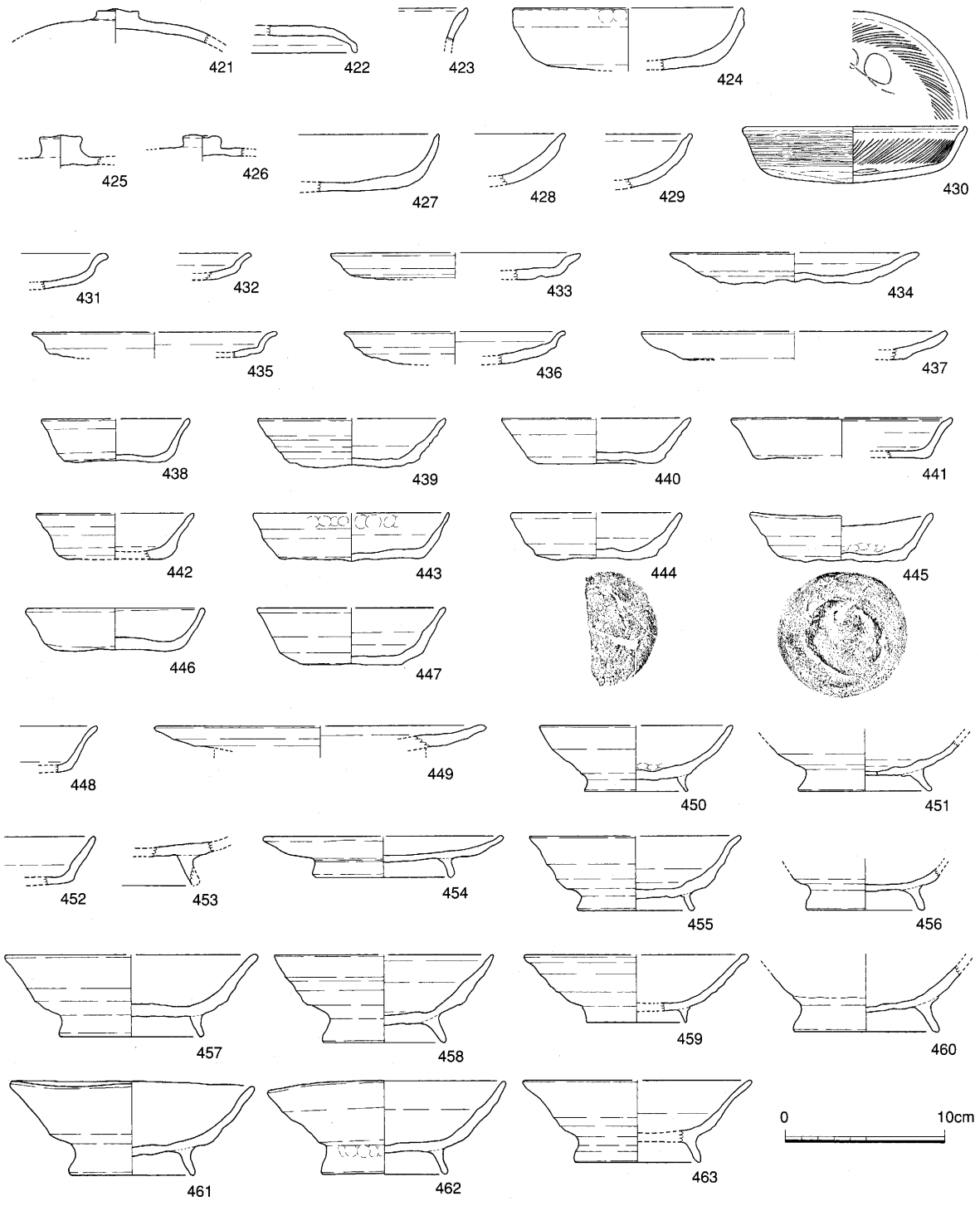
223～226は土師器の煮沸具である。**229～245**は古代の杯および皿である。**231**はP70から出土した、ほぼ完形の皿である。口径は14.6㎝、器高は2.2㎝を呈す。**240**はP42から出土した完形の杯で、口径は10.4㎝、器高は3.1㎝である。**223～298**は古代から中世にかけての土師器である。**259**はP43から出土した完形の椀である。歪んでいるが、口径は14.0㎝、器高は5.9㎝、高台の径9.5㎝を呈す。**271**はP97から出土した平安時代の灯明皿で、図の網掛け部分にススの痕跡が明瞭に残存している。**291**・



第69図　包含層出土遺物（１）（S＝1/4）



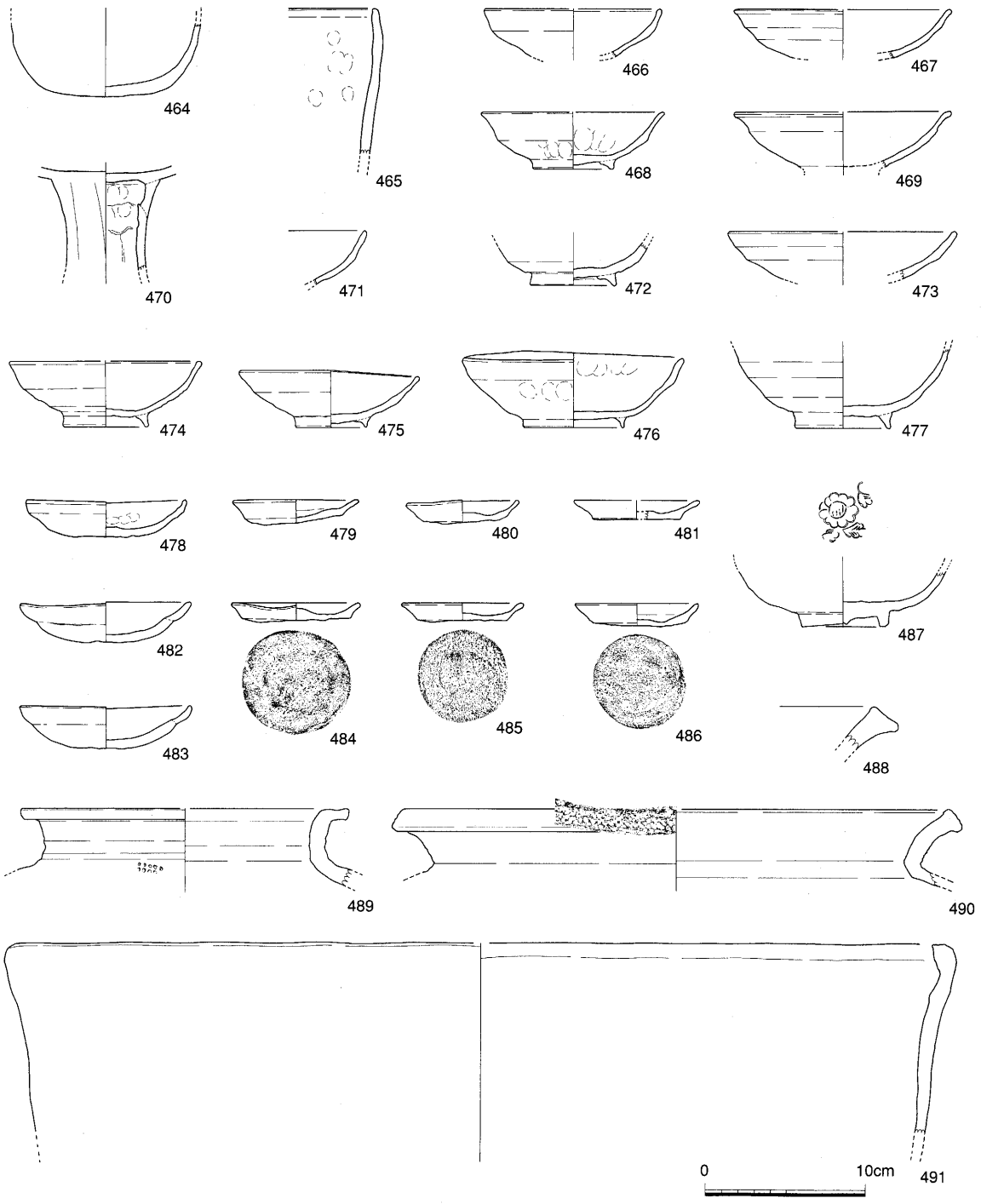
第70図　包含層出土遺物（２）（S＝1/4）



第71図　包含層出土遺物（３）（Ｓ＝1/4）

294～**297**は皿で、いわゆるかわらけと呼ばれているもので11世紀以降に位置付けられる。

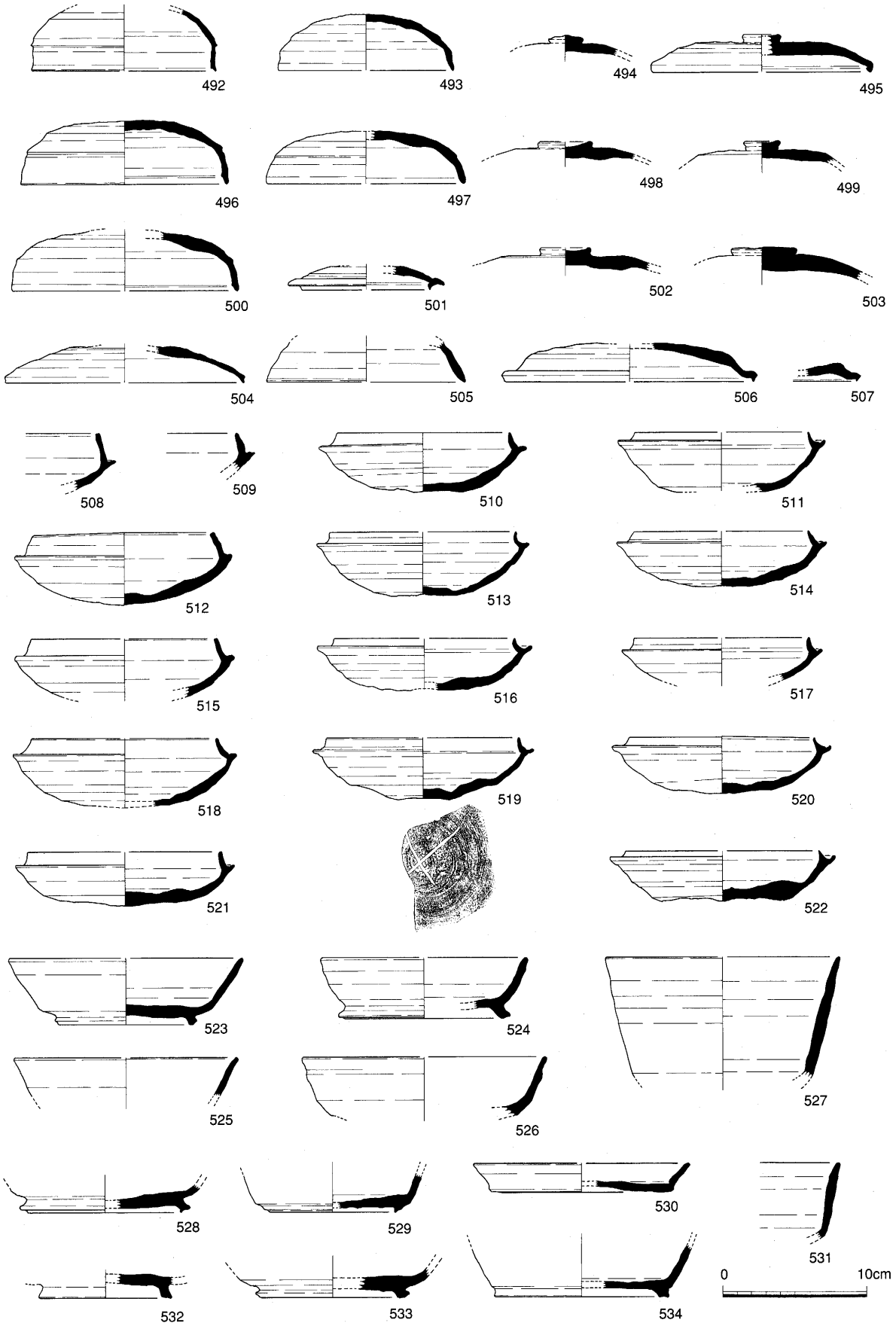
299～**350**は古墳時代から奈良時代にかけての須恵器である。**318**・**319**はほぼ完形の蓋付の杯で、いずれも７世紀に位置付けられる。**329**はP65から出土した完形の高杯である。口径は13.8㎝、器高は9.8㎝、脚部の底径10.9㎝。器形全体にわたって回転ナデによる入念なナデ調整がほどこされており、焼成は良好で、内外面ともに黄灰色を呈す。**332**はP15から出土した高杯の脚部の破片で、すかしがみとめられる。**341**・**342**は壷の口縁部である。胴部内面にはタタキの痕跡が残り、外面はカキメを



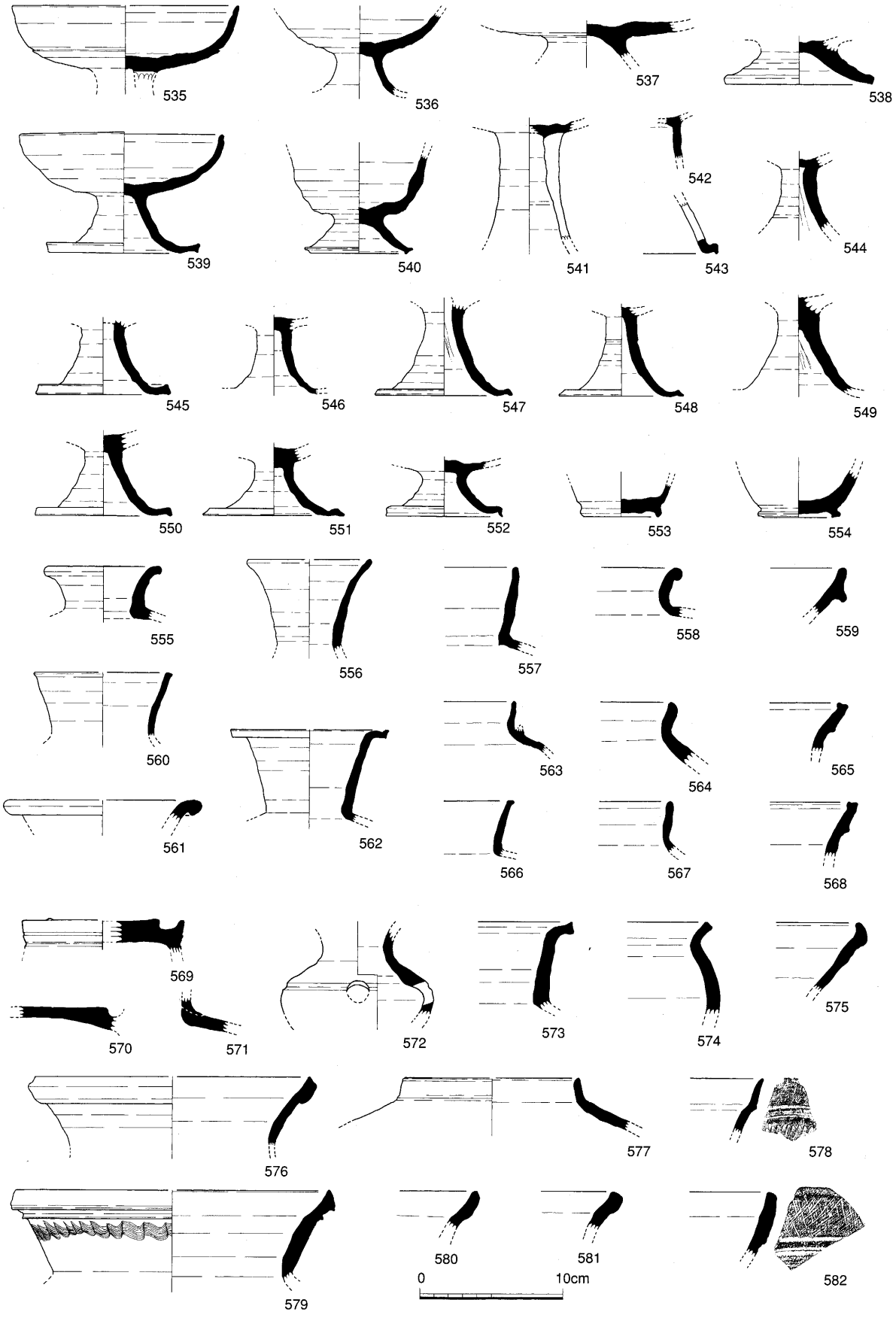
第72図　包含層出土遺物（4）（S＝1/4）

ほどこしている。また、2点とも口縁部は回転ナデにより入念に仕上げられている。**344**は平瓶、**346**は横瓶の口縁部である。

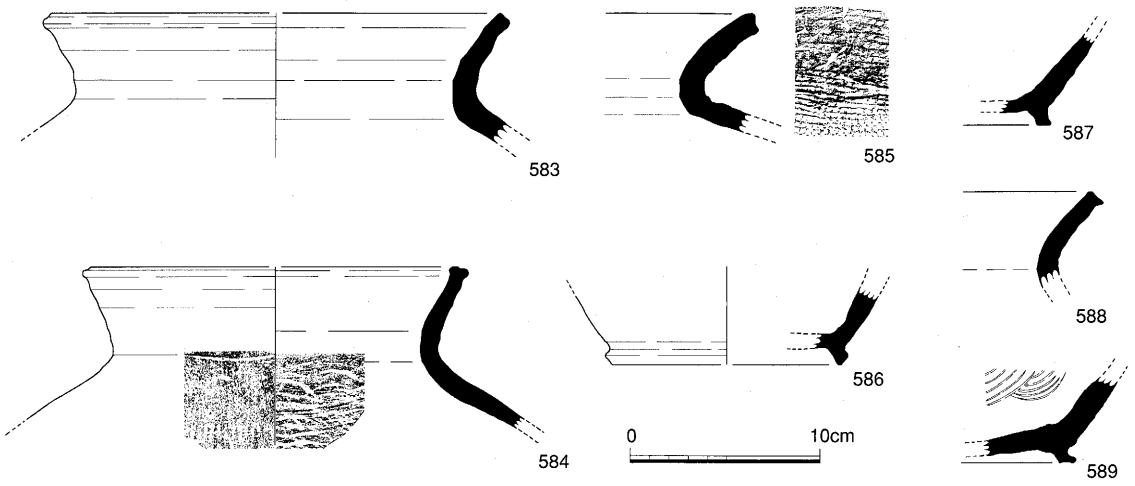
S58～**S68**はサヌカイト製の打製石鏃である。**S67**はP73から出土した石鏃未製品で、**S68**はP90から出土した石鏃未製品である。石鏃には**S58**・**S59**のように小形のものと、**S65**・**S66**のように若干大形のものがあり、狩猟の対象物の違いかと思われる。**S75**～**S78**はサヌカイト製の楔形石器である。いずれも上端と下端がはつれており、典型的な楔形石器といえる。**S81**はP77から出土したサヌカイ



第73図　包含層出土遺物（５）（S＝1/4）



第74図　包含層出土遺物（6）（S＝1/4）



第75図　包含層出土遺物（７）（Ｓ＝1/4）

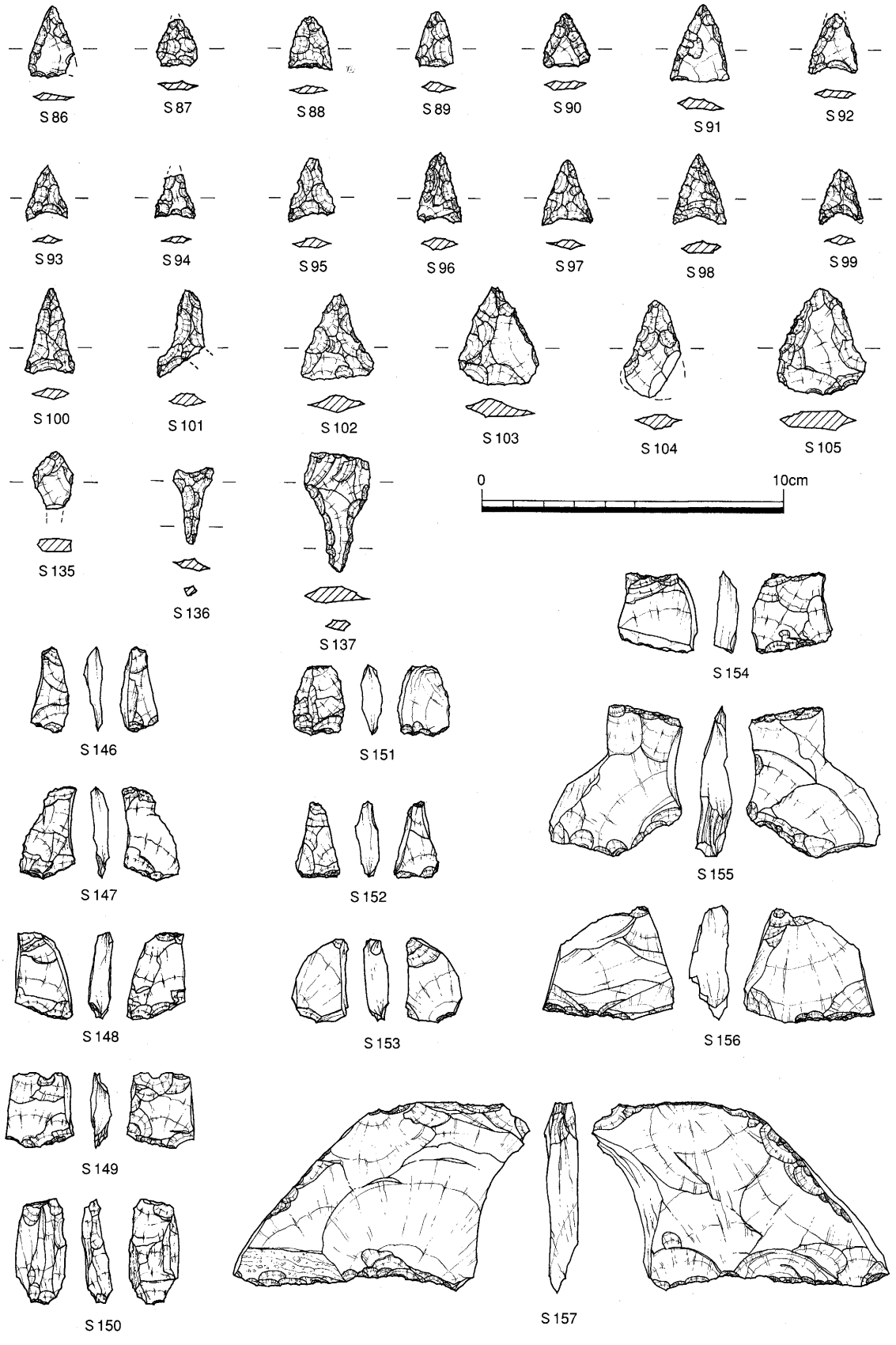
ト製の石錐で、完形品である。長さ2.8㎝、最大幅1.1㎝、最大厚0.5㎝で、重量は1.3ｇである。**Ｃ４**はＰ121から出土した土錘で、下端を大きく欠損する。残存重量7.9ｇである。

（６）遺物包含層

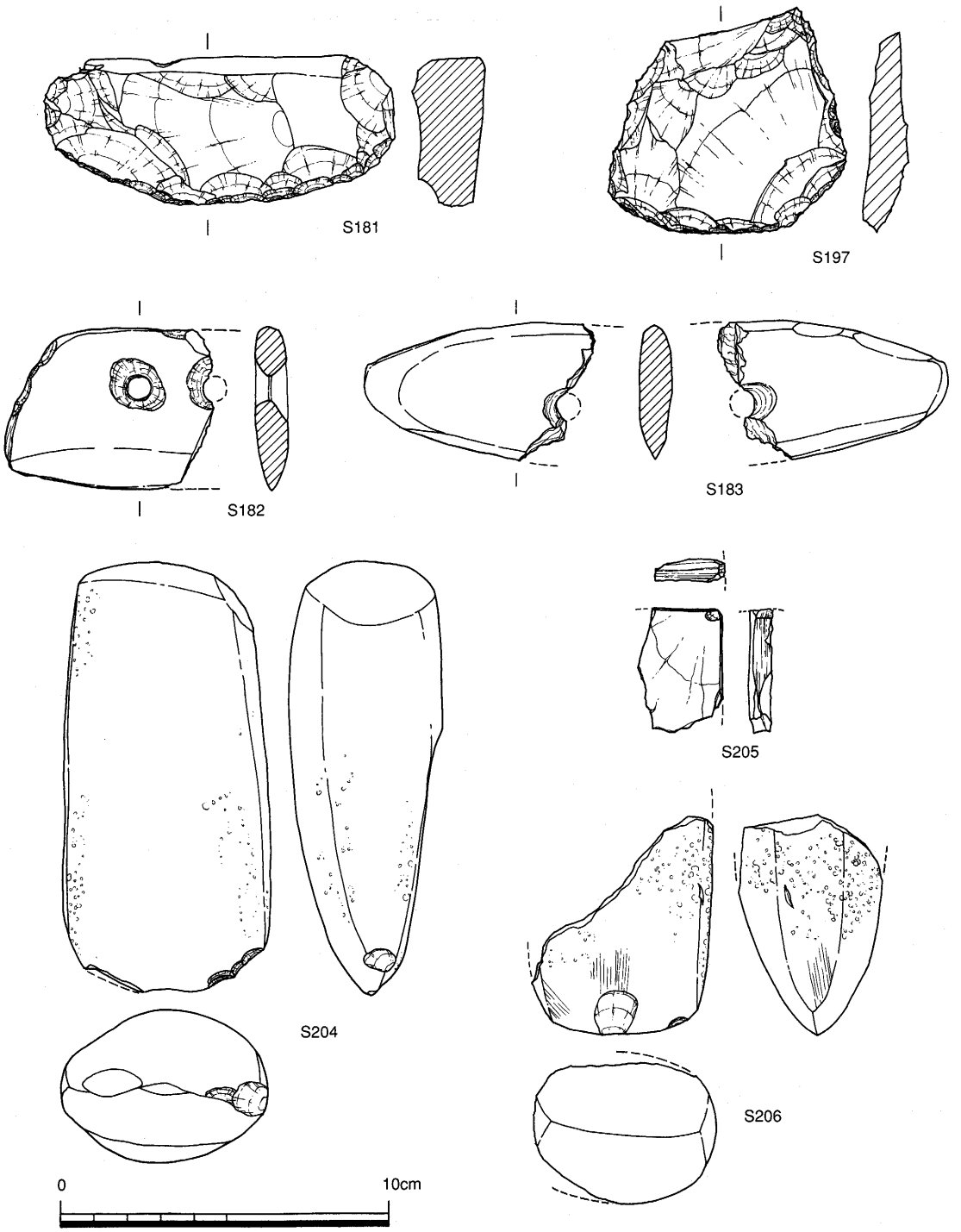
遺物包含層は大別すると二層にわかれており、上層は灰褐色ないし暗灰褐色を呈する砂質土層で、マンガンを含み固くしまっている。この層は調査区北側から南側へ向かって、Ａ－６・Ｂ－６・Ｃ－６グリッドまで堆積している層で、調査区西側にはほとんどみとめられなかった。下層は暗褐色ないし黒褐色で、やや粘性のある砂質土層で遺物を多く含み、炭化物、焼土もわずかに含む。下層の遺物包含層には遺構の掘りこみが一部みとめられたが、遺構の埋土と色調・土質が酷似していることから平面での判別は困難であった。遺物包含層は概ね調査区の東側にいくにつれて厚く堆積しており、これは地形が傾斜していることと後世による削平の影響によるものであると考えられる。

遺物の出土状況は遺物包含層の上層・下層とも同様で、弥生時代前期から中世までの土器・石器・土製品等を含んでいた。ここでは一括して報告したい。

351～353は縄文時代晩期の深鉢形土器の口縁部である。小片であるので全体の器形は不明である。**358**は弥生時代前期前半の壷形土器である。剄部に段を有する。**359**は甕形土器で、口縁部直下に１条の刻目凸帯を有する。**383・387**は弥生時代後期の甕形土器である。２点ともナデより、調整がほどこされている。**398・402・405～408**は古墳時代から奈良時代にかけての甕形土器である。外面に縦位ないし斜位にハケ調整がほどこされる。なかには口縁部の内面にも横位のハケ調整を残すものもみとめられる。**409～411**は甑である。**409**の口縁部はやや内湾気味に立ちあがり、内側の口唇部に段をつける。把手は欠損しているが、断面形は楕円形であると推測される。煮沸具の出土の割合は高く、本遺跡で日常生活が営まれていたことが推測される。**413・419**はてづくね土器である。**414**は、弥生時代中期後葉の高杯形土器である。内外面ともに入念にミガキ調整がほどこされている。**430**は奈良時代の土師器の杯で内外面に丹塗りがほどこされており、内面には螺旋文様と斜位の暗文がみとめられる。外面は細かいミガキで調整される。胎土は緻密でよく精製されており、ほかの在地産の遺物と胎土に違いがみられる。暗文の状況、器形、胎土から畿内産の土師器の可能性が高い[1]。おそらく

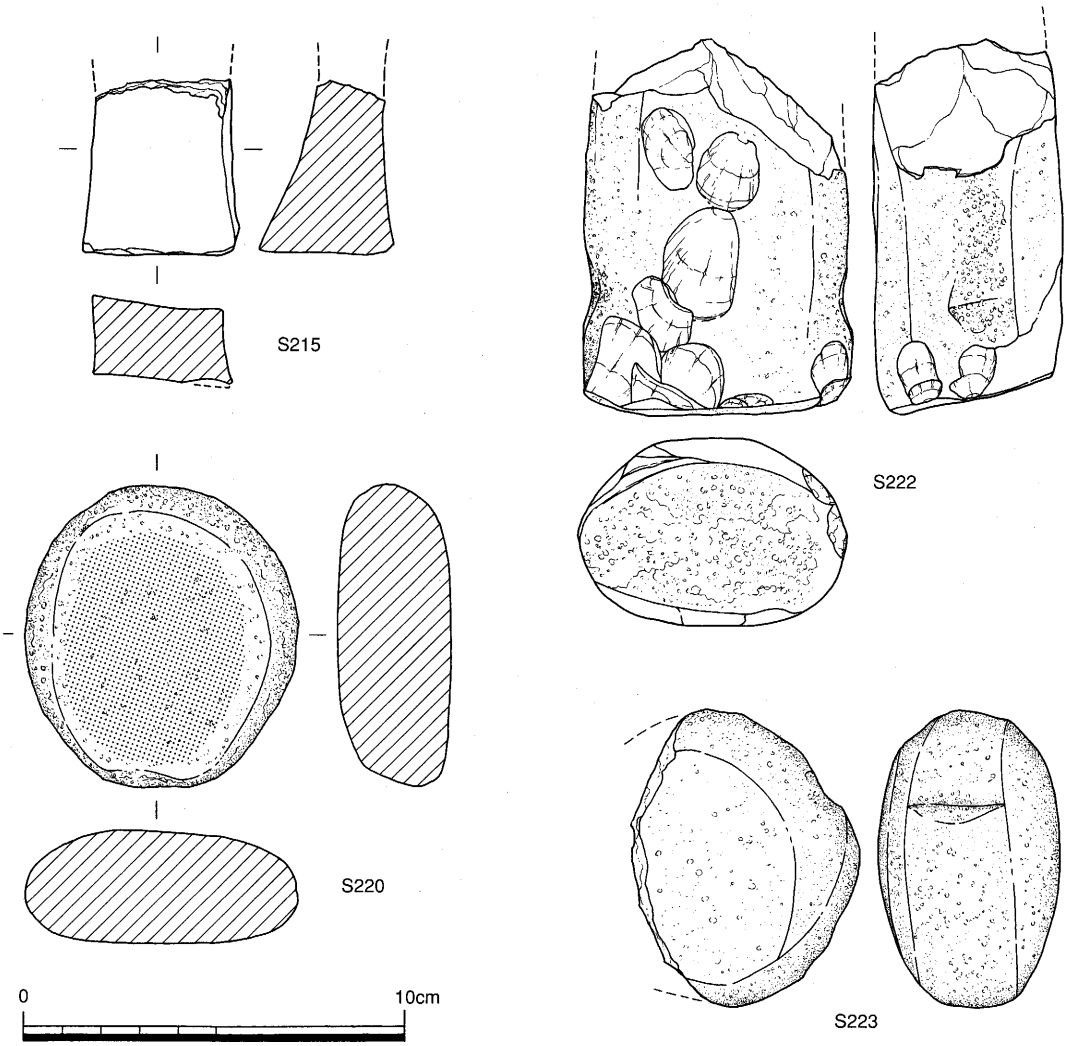


第76図　包含層出土遺物（8）（S＝1/2）



第77図　包含層出土遺物（９）（Ｓ＝1/2）

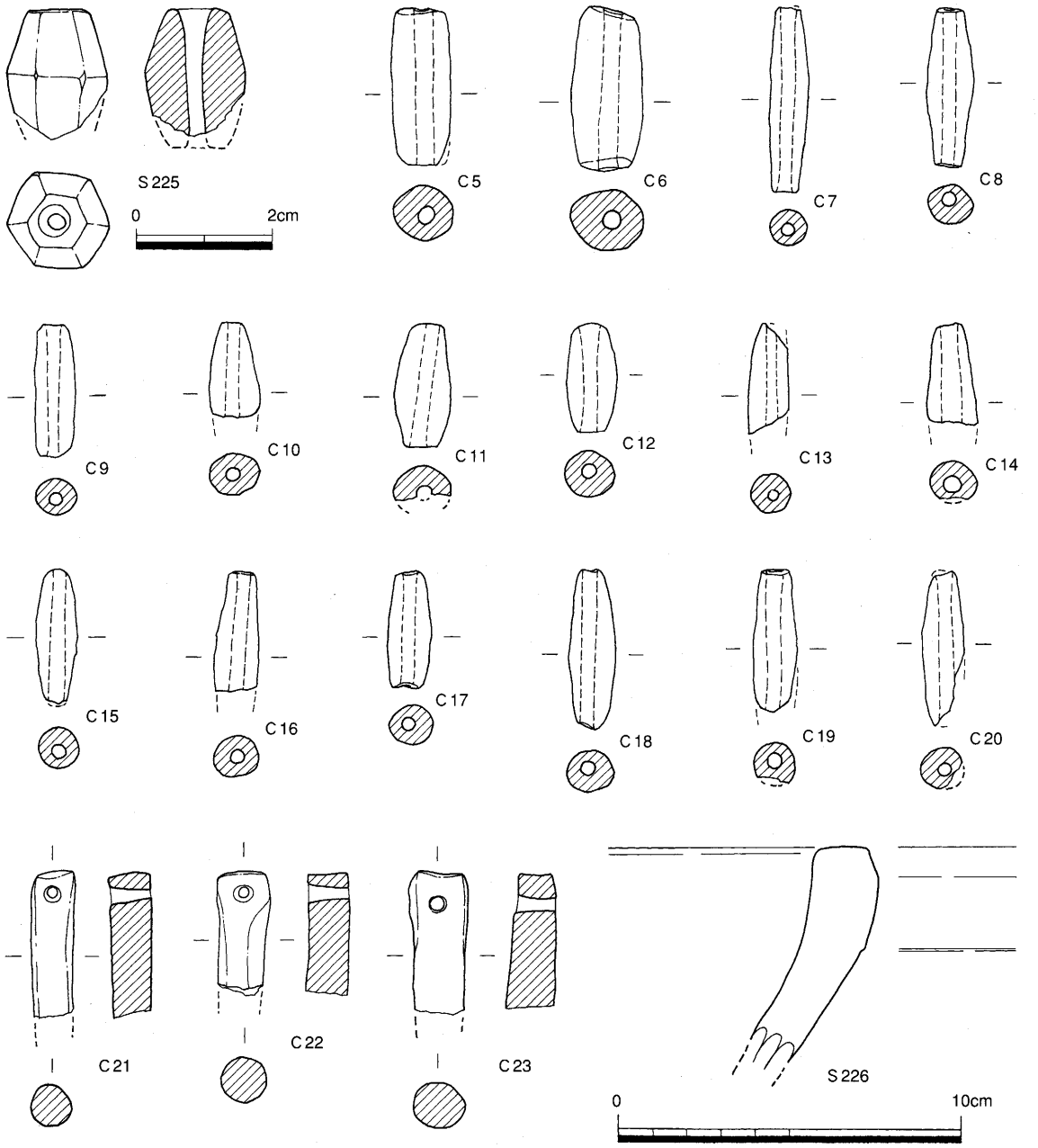
都から復元口径は14.2㎝、器高は3.6㎝。**444・445**は底部の外面にヘラ切りの痕跡を残す。**470**は面取りをほどこした高杯の脚部である。このほかにも面取りした高杯は2点出土しているが、いずれも細片のため図化できなかった。**479～486**はいわゆるかわらけで、**484～486**は底部外面にヘラ切りの痕跡をとどめている。**487**は青磁の椀で、内面中央部に花の文様がほどこされている。また、高台の端



第78図　包含層出土遺物（10）（S＝1/2）

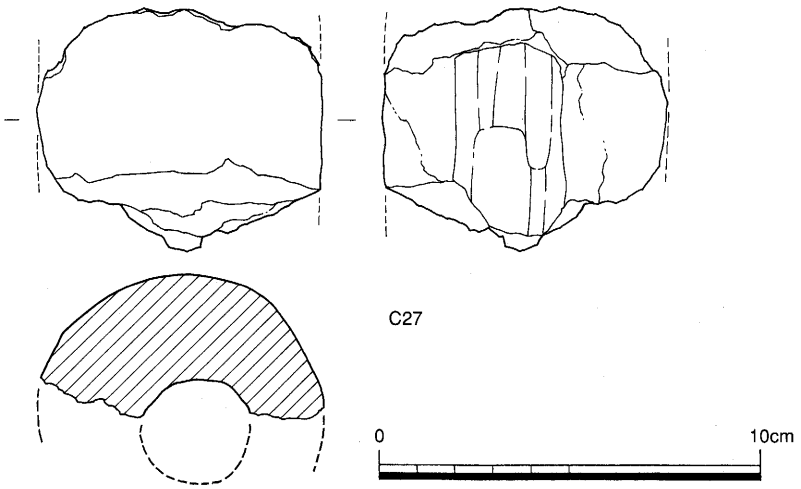
部は擦り減って、なめらかである。**492**～**589**は古墳時代から古代にかけての須恵器である。**519**は外面にヘラ記号を有する杯である。復元口径は13.7cm、器高は4.4cmである。**520**はほぼ完形の杯である。6世紀後半の杯で、口径13.1cm、器高4.0cmである。**539**は完形の高杯で、口径14.4cm、器高8.5cm、底径10.6cmである。内外面ともに口縁部を中心に回転ナデによる入念な調整がほどこされており、色調はにぶい橙色を呈する。焼成はやや良好である。**569**・**570**は円面硯で、両者とも上面は使用によりなれている。**569**・**570**は包含層の出土であるが、近接して出土しており、同時期に使用された可能性がある。**572**は、はそうの胴部である。**577**は須恵器の短頸壷で、復元口径12.4cmである。内外面ともに回転ナデによる調整が入念にほどこされている。**583**・**584**は須恵器の甕の口縁部で頸部から肩部にかけてタタキがほどこされている。タタキの文様は内面が同心円文、外面が格子文である。口縁部は回転ナデにより、入念に仕上げられている。

S86～**S105**はサヌカイト製の打製石鏃で、包含層からは合計64点の打製石鏃が検出された。うち、20点を図化した。**S135**～**S137**はサヌカイト製の石錐である。**S146**～**S157**はサヌカイト製の楔形石



第79図　包含層出土遺物（11）（S＝1/1・1/2）

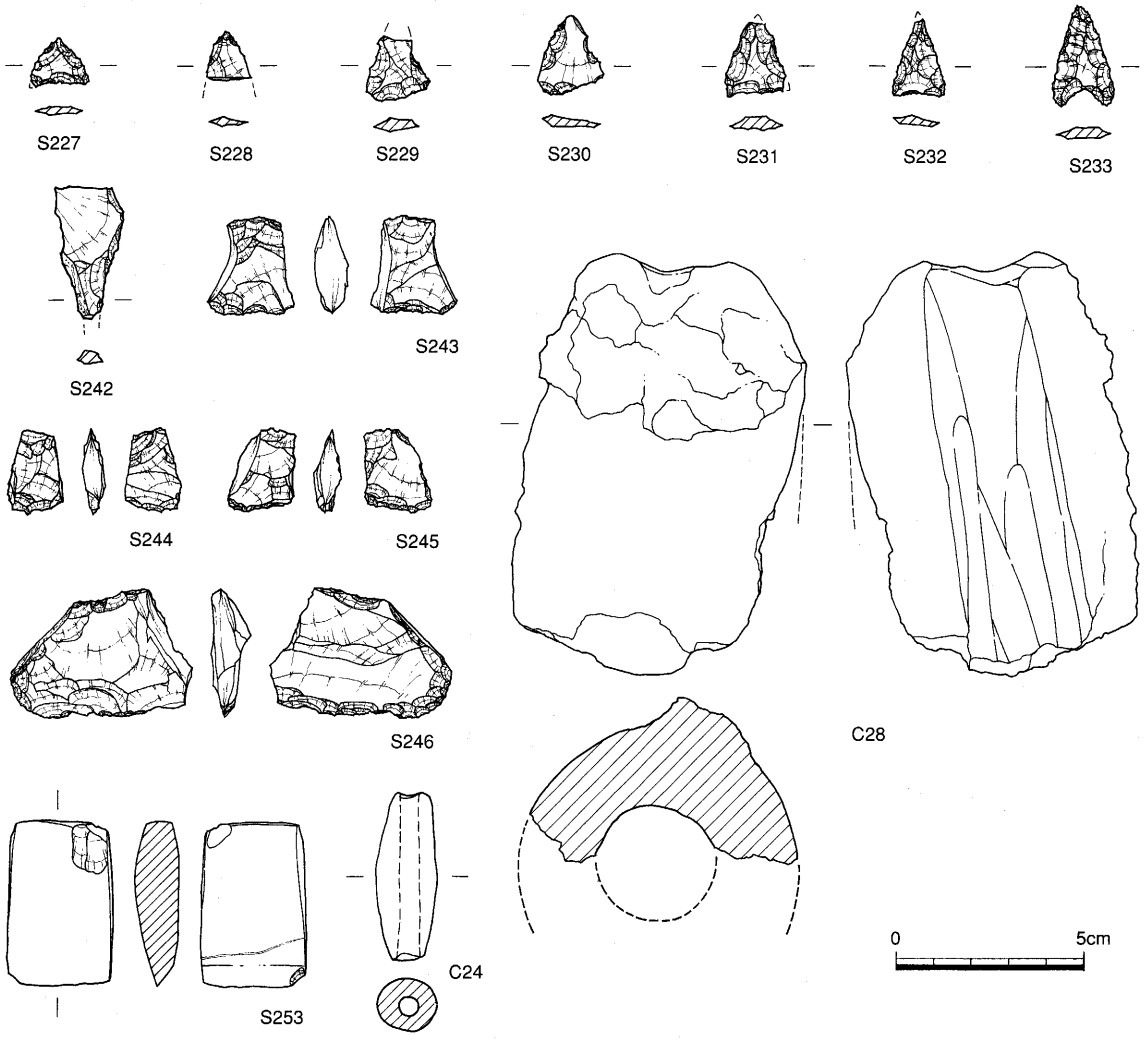
器で、上端と下端がはつれたものが多い。**S181**は頁岩製の石庖丁の未製品である。**S182**・**S183**はいずれも砂岩製の磨製石庖丁の破片である。このほか石庖丁は13点出土したが、いずれも細片で図化できなかった。両者とも丁寧に研磨されている。**S197**はサヌカイト製のスクレイパーで刃部を３辺にほどこしている。**S204**は流紋岩製の磨製石斧で、刃部を一部欠損するがほぼ完形である。**S205**は小型扁平片刃石斧の破片で、基部には研磨痕を明瞭に残す。**S206**は流紋岩製磨製石斧の刃部で、表面をよく研磨し、一部研磨痕が残っている。**S215**はアプライト製の砥石で、使用により磨耗がいちじるしい。**S220**は砂岩製の磨石で、表面は使用によりなめらかである。**S222**・**S223**は敲石である。**S225**は石英製の切子玉である。下端を欠損している。**S226**は滑石製石鍋の口縁部である。１点出土



第80図　包含層出土遺物（12）（S＝1/2）

した。**C 5～C24**は土錘である。棒状のものでに孔が上端から下端にかけて貫通するもの、棒状の上端と下端に孔を穿つものがある。**C27・C28**はフイゴの羽口の破片で、被熱をうけているためもろい。

註（1）総社市教育委員会武田恭彰氏のご教示による。



第81図　包含層出土遺物（13）（S＝1/2）

第Ⅳ章　まとめ

清水谷遺跡柚木地区は矢掛町里山田１３６１－１・１３６２－１に所在する。

矢掛町は岡山県南西部に位置し、瀬戸内海気候の温暖な気候風土である。矢掛町の地形の大半は山地で、主要河川として高梁川の支流である小田川が町の南部を東西に横切り、流域にわずかな平野を形成している。矢掛町の地質は北部から中部にかけて広がる中生代末期（白亜紀）の花崗岩と南部一帯に広がる流紋岩などの火成岩類が主体を占め、その他粘板岩、輝緑岩がわずかに存在している。

清水谷遺跡柚木地区はやや峡狭な山の谷部の緩斜面に位置し、眼前に小田川の氾濫原である比較的広い平野を有している。山からなだらかに下りてきた地形が微高地を形成している本遺跡の地形は後世の田畑の利用により削平をうけているが、日当たりもよく集落を形成するには非常に適しているといえよう。また、周辺の地名に「土井」や「七日市」などがみられることから中世段階に武士の居館や市があったことが推測される。

発掘調査の結果、本遺跡からは建物跡25棟、柵列、溝10本、土壙55基、柱穴約1300基が検出され、包含層および遺構の埋土中からは多数の遺物が出土した。時期は出土土器の形態から縄文時代晩期から中世（15世紀頃）までで、本遺跡は長期間にわたり断続的に利用されたと考えられる。また、遺物の出土量や遺構の検出状況を加味すると、本遺跡の利用にⅠからⅥ期までの画期が考えられる。

Ⅰ期：縄文時代晩期から弥生時代前期前半の時期。

Ⅱ期：弥生時代中期前葉から中葉の時期。

Ⅲ期：古墳時代後期（5世紀後半から6世紀前半）の時期。

Ⅳ期：奈良時代（7世紀）の時期。

Ⅴ期：平安時代（９世紀から10世紀）の時期。

Ⅵ期：鎌倉時代（12世紀から13世紀）の時期。

とくにⅠ・Ⅲ・Ⅴ期は出土遺物量や遺構の検出数も多く、これらの時期に遺跡の利用がもっとも盛んであったことが考えられる。平成11年度に調査した清水谷遺跡一本木地区から検出された環濠集落は弥生時代前期後半から中期前葉を主体とする遺跡である。本遺跡からはその前の段階である縄文時代晩期から弥生時代前期前半にあたる土壙が2基確認されており、また包含層からも同時期の遺物が一定量出土していることから、おそらく当時の人々は弥生時代前期前半から後半にかけての時期に山際の微高地から平野部の微高地へ生活の場を移動したと考えられる。また、古墳時代後期の遺構に関しては溝や柱穴を検出したが、当時期の集落の主体部は調査区東側にひろがるものと推測される。
また、Ⅳ期には斜位方向と螺旋文様の暗文を内側にほどこした土師器が出土しており、胎土や形態から在地の土器とは考えにくく、他地域からの搬入品と考えられる。また、脚部を面取りした高杯や須恵器の短頸壷、円面硯の破片が検出されていることや当時期の総柱建物が検出されていることから、奈良時代期の本遺跡周辺に有力者あるいは公的施設の存在が推測される。

石器はおもに縄文時代晩期から弥生時代にかけての遺物で、石材はサヌカイトをのぞいて、高梁川上流域で採取されるものを用いている。出土土製品については土錘に限られたが、形態から2類に分類でき、さらに大・小で細分化することができる。

第1表　土器観察表

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
1		SB1		椀	12.4			2.5mm以下の赤色酸化粒を中量、石英もわずかに含む	ユビオサエ、ヨコナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	
2		SB2		壺			8.3	0.5～3mmの石英、長石を中量含む	ナデ、ミガキ	ナデ	良好	橙色	にぶい褐色	
3		SB3		壺				0.5mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ	良好	暗灰黄色	灰色	
4		SB2		杯蓋				3.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
5		SB4		高杯				3mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、ナデ	良好	灰色	灰色	
6		SB5		壺	19.6			2.5mm以下の石英を多量に、1mm以下の長石を少量含む	ヨコナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰黄色	黄灰色	
7		SB6		甕				1mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	明赤褐色	
8		SB6		甕				3mm以下の石英と1mm以下の長石を多量に、1mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
9		SB6		甕				4mm以下の石英と3.5mm以下の長石を多量に含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	にぶい黄橙色	
10		SB6		杯蓋	13.0			3mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ケズリ	回転ナデ、ナデ	良好	灰色	灰白色	
11		SB5		杯蓋	16.4			4mm以下の石英を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	ろくろ右回り
12		SB6		杯身	11.2			3mm以下の石英と1mm以下の長石を少量含む	ヘラケズリ、ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
13		SB6		短頸壺				4mm以下の石英と1mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	黄灰色	黄灰色	
14		SB6		杯身				0.5mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	
15		SB7		甕				2mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、雲母を微量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
16		SB8		椀				1mm以下の石英、長石、赤色酸化粒と0.5mm以下の雲母を少量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	橙色	橙色	
17		SB7		皿				雲母、長石をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい黄橙色	
18		SB7		杯蓋	10.2			0.5mm以下の石英を中量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り
19		SB7		杯				2.5mm以下の石英を少量含む	ナデ、ユビナデ？	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
20		SB10		不明				0.5～3mmの石英と1mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	灰黄褐色	
21		SB10		杯				きめ細かい	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	黄灰色	
22		SB10		杯				きめ細かい	ナデ、ミガキ？	ヨコナデ	良好	灰黄色	にぶい黄橙色	
23		SB10		杯				0.5～2mmの赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	浅黄橙色	
24		SB10		甕				2.5mm以下の石英と長石を中量含む	ユビオサエ？、ナデ	ヨコナデ（ハケメ？）	良好	にぶい褐色	にぶい橙色	
25		SB10		鉢				0.5～6.5mmの石英と0.5～3mmの長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰褐色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
26		SB10		鉢				0.5～3.5mmの石英と0.5～2mmの長石を多量に、1mm大の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
27		SB10		鉢				0.5～4mmの石英と1mm以下の長石を中量、赤色酸化粒を微量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	灰褐色	傾き不鮮
28		SB10		杯	10.8			4mm以下の赤色酸化粒を多量に、1mm以下の石英と長石を少量含む	ユビオサエ、ヨコナデ	ユビオサエ、ヨコナデ	良好	浅黄橙色	灰黄褐色	
29		SB10		椀	15.2			1.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ヨコナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
30		SB10		椀			6.8	0.5～2mmの石英と1mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	にぶい黄橙色	
31		SB10		杯	12.0			1mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
32		SB10		椀			8.2	きめ細かい	ヨコナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り
33		SB10		杯	12.4			2mm以下の赤色酸化粒を多量に、1mm以下の石英と長石を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ？、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
34		SB10		壷				1mm以下の石英を中量含む	ナデ、回転ナデ	回転ナデ、ユビオサエ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り
35		SB12		杯	9.6			2mm以下の石英と3mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
36		SB12		椀	12.6			1mm以下の赤色酸化粒を中量、長石を少量含む	ヨコナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
37		SB15		杯蓋				2mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
38		SB14		椀				1mm以下の石英と長石を中量、3mm以下の赤色酸化粒を多量、雲母を少量含む	ハケメ、ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
39		SB16		鉢	30.6			2mm以下の石英を中量、赤色酸化粒、雲母を微量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	褐灰色	
40		SB19		杯蓋				1.5mm以下の石英、赤色酸化粒をわずかに含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
41		SB19		杯				0.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
42		SB19		甑				4.5mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ、ヨコナデ	ハケメ、ヨコナデ	良好	灰白色	浅黄橙色	
43		SB19		鍋				1mm以下の石英、長石を中量、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい黄橙色	
44		SB19		甑				1.5mm以下の石英を中量、0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ、ハケメ	ナデ、ハケメ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
45		SB20		杯	14.4			0.5mm以下の石英、長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	明赤褐色	明赤褐色	丹塗り
46		SB20		高杯				2.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、ユビナデ（仕上げナデ）	良好	灰白色	灰白色	
47		SB22		壷	13.2			2mm以下の石英と長石を少量、1.5mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰白色	
48		SB22		壷			6.2	3.5mm以下の石英を中量、1.5ミリ以下の長石と2.5ミリ以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	黄灰色	
49		SB22		壷			9.6	3mm以下の石英と4mm以下の長石を多量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい黄橙色	
50		SB22		杯蓋	10.6			1.5mm以下の石英と1mm以下の長石を少量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ	良好	灰色	灰色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
51		SB22		杯蓋	14.4			1.5mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
52		SB23		甕				3mm以下の石英を多量、1mm以下の長石を少量、2.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ？	ナデ？	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
53		SB25		甕	30.0			2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量含む	ハケメ、ヨコナデ	ハケメ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄色	
54		SB23		壺			7.8	4mm以下の石英を多量、2mm以下の長石を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	黄灰色	にぶい黄橙色	
55		SB25		杯蓋				0.5mm以下の石英を含む	回転ナデ、ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
56		SB25		杯身				4.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
57		SD11		甕				4mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	浅黄橙色	
58		SD12		甑				3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量含む	ユビオサエ	ナデ	良好	橙色	橙色	
59		SD12		甕			8.6	3mm以下の石英と1mm以下の長石を多量に、赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい黄橙色	
60		SD12		高杯				2mm以下の石英と3mm以下の長石を中量、赤色酸化粒をわずかに含む	ミガキ	ナデ、ユビオサエ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
61		SD14		杯身				1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
62		SD14		甕				1mm以下の石英を少量、雲母、長石を微量含む	ナデ	ハケメ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
63		SD13		甕				1.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量、2mm以下の赤色酸化粒を微量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	弥生
64		SD13		鍋				3.5mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	にぶい褐色	灰黄褐色	傾き不詳
65		SD13		甑				2mm以下の石英と1.5mm以下の長石を中量含む	ナデ、ハケメ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	橙色	
66		SD13		甕				2mm以下の石英を中量、0.5mm以下の長石と赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ハケメ	ナデ	良好	橙色	橙色	
67		SD13		高杯				2.5mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
68		SD13		高杯				0.5mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
69		SD13		高杯				1mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ヨコナデ	良好	橙色	明赤褐色	丹塗り
70		SD13		甕	19.6			1mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を多量に含む	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
71		SD13		甕	22.2			1.5mm以下の石英、長石を多量に、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	橙色	
72		SD13		壺	14.6	19.4		3.5mm以下の石英と1mm以下の長石、4.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ、ユビオサエ	良好	灰黄褐色	にぶい黄褐色	
73		SD13		甕			6.2	5mm以下の石英と2mm以下の長石を中量、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	黄灰色	
74		SD13		杯	11.5	2.6	7.5	1.5mm以下の赤色酸化粒を多量、1.5mm以下の石英と長石を多量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	
75		SD13		甑	22.8			0.5～7mmの石英と0.5～2mmの長石を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい橙色	黄灰色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
76		SD13		甑				2.5mm以下の石英を中量、3mm以下の赤色酸化粒を多量含む	ナデ、ユビオサエ	ナデ？	良好	橙色	橙色	
77		SD13		皿				精製されている。1mm以下の石英、長石を含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	橙色	
78		SD13		皿	7.2			4mm以下の石英と1mm以下の長石を少量、赤色酸化粒を微量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
79		SD13		椀				1mm以下の石英と赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ヨコナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	傾き不詳
80		SD13		椀	14.4			2.5mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
81		SD13		椀				0.5mm以下の赤色酸化粒を多量、長石をわずかに含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	傾き不詳
82		SD13		杯蓋	12.0			1mm以下の石英を中量含む	ナデ	ナデ	良好	黄灰色	青灰色	
83		SD13		杯蓋	14.0			2.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ	良好	灰色	灰色	
84		SD13		杯蓋				0.5mm以下の石英を微量含む	ナデ	ナデ	良好	オリーブ灰色	灰色	
85		SD13		杯蓋				1mm以下の石英と長石を中量、黒色粒子を少量含む	ヘラケズリ、ナデ	ユビナデ、ナデ	良好	灰色	灰色	
86		SD13		杯蓋	14.8			2mm以下の石英を中量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
87		SD13		杯蓋	14.8	3.5		1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り
88		SD13		高杯				1mm以下の石英と長石を中量含む	ナデ	ユビナデ、ナデ	良好	黄灰色	黄灰色	
89		SD13		杯身	11.5			1mm以下の石英と長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
90		SD13		杯身	13.2			2.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
91		SD13		高杯			10.2	1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰色	
92		SD13		杯身	11.8	3.9		2mm以下の石英を少量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
93		SD13		杯身	12.7			1.5mm以下の石英を中量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
94		SD13		杯			10.2	2mm以下の石英を多量、1mm以下の長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰白色	ろくろ右回り
95		SD13		甕	18.4			2mm以下の石英、長石を中量含む	ナデ	ナデ	やや良好	灰白色	灰白色	
96		SD13		甕	24.0			2mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	黄灰色	灰色	ろくろ右回り
97		SD15		甕				3mm以下の石英を中量、0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ハケメ、ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	
98		SD15		甕				3mm以下の石英と長石を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ハケメ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	丹塗り
99		SD15		蓋				1.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
100		SD16		甕				0.5mm以下の石英と長石を中量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	浅黄橙色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備　考
101		SD16		甕				3.5mm以下の石英を中量、1mm以下の長石を少量含む	ナデ、ユビオサエ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	
102		SD15		甑				1.5mm以下の長石と1mm以下の石英を中量含む	ハケメ、ナデ、ユビオサエ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	
103		SD15		杯	13.0	2.7		0.5mm以下の長石を微量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	黒褐色	にぶい黄橙色	丹塗り
104		SD15		杯			9.4	1mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰白色	
105		SD16		壺				0.5～3mmの石英、長石を中量、1.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	明赤褐色	橙色	
106		SD16		甕				2mm以下の石英と1.5mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ、ハケメ	ハケメ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
107		SD17		壺	15.0	13.6		1mm以下の石英を少量、1mm以下の赤色酸化粒を微量含む	ヨコナデ、ユビオサエ、ミガキ	ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ	良好	灰黄褐色	にぶい橙色	
108		SD17		甑				4.5mm以下の石英を多量、長石を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	暗灰黄色	にぶい黄橙色	
109		SD17		鍋				4mm以下の石英と1mm以下の長石を多量、赤色酸化粒をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	灰黄褐色	にぶい黄橙色	
110		SD16		甕			6.2	2.5mm以下の石英と5mm以下の長石を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	褐灰色	
111		SD16		甕				3mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ユビナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
112		SD17		蓋				2.5mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい橙色	
113		SD17		椀	12.0			5mm以下の石英を多量、雲母をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
114		SD16		壺			6.6	1mm以下の石英と長石を多量に含む	ナデ	ユビオサエ、ハケメ	良好	灰黄褐色	褐灰色	
115		SD20		椀				3mm以下の石英と0.5mm以下の長石、1.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
116		SD19		甕			8.9	4mm以下の石英と0.5mm以下の長石を多量含む	ナデ、ユビオサエ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
117		SD20		甑				3mm以下の石英と長石を中量含む	ナデ、ハケメ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
118		SD20		杯蓋	10.2	3.7		1.5mm以下の石英を少量含む	ヘラケズリ、回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	ろくろ右回り
119		SD17		甑	24.0			1mm以下の長石、石英を多量含む	ユビオサエ、ハケメ	ユビオサエ、ハケメ、ナデ	良好	浅黄橙色	灰黄褐色	
120		SD17		甑			10.4	1mm以下の石英と長石を多量に、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ハケメ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい橙色	浅黄色	
121		SD17		杯蓋	16.0			0.5mm以下の石英と長石を中量、黒色粒子をわずかに含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ	良好	灰黄色	灰白色	ろくろ右回り
122		SD17		蓋				0.5mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	
123		SD17		杯身				0.5mm以下の石英、長石を多量に含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	
124		SD16		壺				3mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	暗青灰色	灰色	ろくろ左回り
125		SK8		甕	33.0			4.5mm以下の石英と2mm以下の長石、3mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
126	A-9	SK5		壷			8.3	3mm以下の石英と1.5mm以下の赤色酸化粒を中量、長石を少量含む	ナデ、ユビオサエ	ナデ	良好	橙色	橙色	
127		SK27		鉢				1mm以下の石英、0.5mm以下の長石を中量、3mm以下の赤色酸化粒を少量、雲母を微量含む	ナデ、ハケメ	ヨコナデ	良好	明褐灰色	にぶい黄橙色	
128		SK27		不明				4mm以下の石英を多量、2mm以下の長石、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰白色	
129		SK8		深鉢	46.0			5mm以下の石英を多量、2mm以下の長石を中量含む	ミガキ	ミガキ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄褐色	縄文
130		SK8		鉢				3mm以下の石英を中量、2mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	褐灰色	縄文
131		SK8		深鉢				2mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	黒褐色	黒褐色	縄文
132		SK8		壷				3.5mm以下の石英と1mm以下の赤色酸化粒を中量、0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	橙色	
133		SK8		鉢				3mm以下の石英と2mm以下の長石を多量に、0.5～3mmの雲母を少量含む	ミガキ、ナデ	ミガキ、ナデ	良好	褐灰色	灰黄褐色	縄文
134		SK8		鉢	11.8			2mm以下の石英と3mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰黄褐色	褐灰色	縄文
135		SK8		甕	14.6			2.5mm以下の石英、長石を中量、赤色酸化粒を少量含む	ナデ、ミガキ	ナデ、ミガキ、ユビオサエ	良好	灰黄褐色	にぶい黄褐色	縄文
136		SK8		鉢			7.9	1.5mm以下の石英、長石を中量、赤色酸化粒を微量含む	ミガキ、ナデ	ナデ	良好	灰黄褐色	褐灰色	縄文
137		SK8		深鉢			7.2	4mm以下の石英と3mm以下の長石を多量含む	ミガキ	ナデ、ミガキ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	縄文？
138		SK6		鉢				2.5mm以下の石英と1mm以下の長石を多量に含む	ナデ	不明	良好	褐灰色	灰黄褐色	縄文
139		SK18		甕				3mm以下の石英を中量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	
140		SK19		壷	17.6			3.5mm以下の石英と2mm以下の長石を中量、1mm以下の赤色酸化粒を微量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰黄褐色	
141		SK7		壷				1.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰色	灰色	
142		SK19		壷	17.3			2mm以下の石英と長石を中量、0.5mm以下の赤色酸化粒を微量、雲母を微量含む	ユビオサエ、ヨコナデ、ナデ	ユビオサエ	良好	にぶい黄橙色	明赤褐色	丹塗り
143		SK21		壷	18.4			3mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	灰褐色	灰褐色	
144		SK23		甕	42.0			4mm以下の石英と2mm以下の長石を中量、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ（風化が著しい）	良好	浅黄色	にぶい黄橙色	
145		SK24		甕				4mm以下の石英と1.5mm以下の長石を多量、1mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	灰黄褐色	浅黄橙色	
146		SK24		甕				3.5mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
147		SK3		甕	18.6			2.5mm以下の石英、0.5mm以下の長石を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰黄褐色	にぶい黄褐色	
148		SK23		甕	18.6			2mm以下の石英と長石を多量含む粗い	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい褐色	にぶい黄橙色	
149		SK3		壷				4mm以下の石英と3mm以下の長石を中量、2mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	浅黄橙色	
150		SK4		壷				3mm以下の石英を中量含む	ナデ、ヘラ？	ナデ	良好	にぶい黄橙色	褐灰色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
151		SK3		甕			5.8	2mm以下の石英と3mm以下の長石を多量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	褐灰色	
152		SK24		不明			7.6	3.5mm以下の石英と長石を多量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	浅黄橙色	
153		SK19		壺			8.2	4mm以下の石英と2mm以下の長石を中量、2mm以下の赤色酸化粒を微量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
154		SK7		甕			7.5	3mm以下の石英を少量、1mm以下の赤色酸化粒を微量含む	ナデ、ミガキ	ナデ、ユビオサエ	良好	灰黄褐色	褐灰色	
155		SK23		壺			8.0	3.5mm以下の石英と2mm以下の長石を多量、2.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	不明	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	明褐色	
156		SK24		甕			7.2	3.5mm以下の石英と1.5mm以下の長石を多量に含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	底部穿孔あり
157		SK23		壺			9.0	3mm以下の石英を中量、1mm以下の長石を少量、雲母を微量含む	ナデ、ミガキ、ユビオサエ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	
158		SK24		壺			9.2	5mm以下の石英を多量、1mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	褐灰色	
159		SK19		壺？			9.2	5mm以下の石英と3mm以下の長石を中量、2mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
160		SK4		不明			5.7	2mm以下の石英を多量、長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ハケメ	良好	明赤褐色	にぶい褐色	
161		SK23		甕			6.2	4mm以下の石英と1.5mm以下の長石を中量、赤色酸化粒をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	
162		SK21		甕			6.4	3mm以下の石英と4mm以下の長石を少量、1.5mm以下の赤色酸化粒を微量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	にぶい黄橙色	
163		SK24		蓋	11.7			3.5mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	黒褐色	
164		SK11		蓋				0.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	ナデ、回転ナデ	やや良好	灰白色	灰白色	
165		SD13		蓋				0.5mm以下の石英と3.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	
166		SK7		杯身	9.6	2.6		1mm以下の黒色粒子を中量含む	ナデ	ナデ	良好	褐灰色	黄灰色	ろくろ右回り
167		SK25		甕				5mm以下の石英を少量含む	ヨコナデ、ハケメ	ハケメ	良好	黄灰色	黄灰褐色	
168		SK12		甕				1.5mm以下の石英を中量、雲母、角閃石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	浅黄橙色	丹塗り　傾き不詳
169		SK12		甕				1mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	丹塗り
170		SK26		甕	22.4			2.5mm以下の石英を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	
171		SK7		甕				1.5mm以下の石英を多量、0.5mm以下の長石を少量、1mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ナデ、ユビオサエ	ナデ	良好	橙色	にぶい黄橙色	傾き不詳
172		SK20		甕				2mm以下の石英と3mm以下の長石を中量、赤色酸化粒を微量含む	ナデ、ハケメ	ナデ	良好	にぶい橙色	橙色	
173		SK22		無頸壺				0.5～3mmの石英を多量に、1.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	不明	良好	褐色	にぶい黄褐色	
174		SK2		杯			12.8	4mm以下の石英を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰黄色	
175		SK22		甕	24.2			0.5～3mmの石英と2mm以下の長石を中量、雲母をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	黒褐色	灰黄褐色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備　考
176		SK20		甑				2mm以下の石英と赤色酸化粒を中量含む	ユビオサエ、ナデ		良好	浅黄橙色		
177		SK1		杯	12.2	3.3		1.5mm以下の赤色酸化粒を中量、1mm以下の石英、長石を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
178		SK23		椀	14.9	5.2	7.4	3mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	浅黄橙色	
179		SK15		杯				0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ヨコナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り　傾き不詳
180		SK15		椀				0.5mm以下の赤色酸化粒を少量、1mm以下の長石をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	傾き不詳
181		SK15		椀				1mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り　傾き不詳
182		SK15		鍋				3.5mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、黒色粒子を少量含む	ナデ	ナデ	良好	明褐灰色	浅黄橙色	
183		SK22		椀	12.1	4.5	6.1	0.5～3mmの石英と1mm以下の長石を少量、2mm以下の赤色酸化粒を多量に含む	ユビオサエ、ヨコナデ	ユビオサエ、ヨコナデ、ナデ	良好	にぶい橙色	橙色	丹塗り
184		SK22		椀			6.7	1mm以下の石英、長石と2.5mm以下の赤色酸化粒を中量、雲母をわずかに含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	橙色	浅黄橙色	丹塗り
185		SK23		椀	12.8	5.5	4.8	3mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ヨコナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
186		SK16		椀				きめが細かい	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り
187		SK16		椀				1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	
188		SK16		椀				0.5mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ヨコナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	傾き不詳
189		SK9		椀				2mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	傾き不詳
190		SK22		皿				1mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
191		SK15		椀				1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	橙色	丹塗り
192		SK14		椀			5.0	1.5mm以下の石英と赤色酸化粒を少量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
193		P88		杯	13.2	3.9		1.5mm以下の石英と2mm以下の赤色酸化粒、0.5mm以下の長石を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
194		P79		椀	11.8	3.7	5.2	4mm以下の石英を中量、1.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
195		P82		杯	14.2	4.4	9.1	4mm以下の石英と1mm以下の長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
196		P81		壷	14.7			2mm以下の石英と1.5mm以下の長石、1.5mm以下の赤色酸化粒を少量、雲母を微量含む	ユビオサエ、ナデ、ミガキ	ユビオサエ、ナデ、ミガキ	良好	にぶい橙色	にぶい黄橙色	
197		P95		壷	21.2			2mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、1.5mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ヨコナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
198		P12		壷				2.5mm以下の石英と2mm以下の長石を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい橙色	橙色	
199		P18		壷	14.2			4mm以下の石英を多量、2mm以下の長石を少量含む	ユビオサエ、ナデ、ミガキ	ナデ、ミガキ	良好	橙色	橙色	
200		P11		壷				2.5mm以下の石英と1.5mm以下の長石を多量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
201			包含層	壺				2mm以下の石英と長石を中量、0.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ヨコナデ	良好	にぶい橙色	橙色	
202		P4		壺				0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰黄褐色	褐灰色	傾き不詳
203		P18		甕	21.0			6mm以下の石英を多量、2mm以下の長石を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	淡黄色	
204			包含層	壺				2mm以下の石英を中量、0.5mm以下の長石を少量、赤色酸化粒を微量含む	ハケメ　入念なナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	
205		P20		壺				2.5mm以下の石英と1mm以下の長石を多量に含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	暗灰黄色	黄灰色	傾き不詳
206		P2		壺	5.6			2.5mm以下の石英を中量、1mm以下の長石を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	褐灰色	
207		P5		深鉢				3.5mm以下の石英と2mm以下の長石を多量に、2mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	橙色	傾き不詳
208		P102		鉢	19.0			3mm以下の石英と長石を中量、2mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ミガキ	ユビオサエ、ミガキ、ナデ	良好	橙色	橙色	
209		P100		高杯	17.5			1mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を少量含む	ミガキ、ナデ	ミガキ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	丹塗り
210		P45		高杯	15.0			2.5mm以下の石英と2mm以下の長石を中量、0.5mm大の雲母をわずかに含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい褐色	にぶい褐色	
211		P1		高杯				0.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
212		P51		不明				1mm大の赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	
213		P21		高杯				1.5mm以下の石英と長石を少量、0.5mm以下の雲母を中量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	
214		P28		壺			9.0	3.5mm以下の石英を多量に、1mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	にぶい黄橙色	
215		P18		壺			7.7	3.5mm以下の石英と長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄色	
216		P22		壺			6.4	4mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、1mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	浅黄橙色	
217		P18		壺			8.4	4.5mm以下の石英と2.5mm以下の長石を多量、3mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	にぶい黄橙色	
218		P63		甕				3mm以下の石英を中量、3mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
219		P83		壺			9.1	4mm以下の石英と3mm以下の長石を中量、雲母を少量含む	ミガキ、ユビオサエ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい橙色	
220		SK12		甕			7.8	2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を多量、赤色酸化粒を微量含む	ナデ、ミガキ	ハケメ	良好	にぶい褐色	灰黄褐色	
221		P31		甕			7.0	3mm以下の石英と2mm以下の長石を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰黄褐色	灰黄褐色	
222		P20		不明				3.5mm以下の石英と2mm以下の長石を多量に、赤色酸化粒、黒色粒子をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	橙色	浅黄橙色	
223		SB14		甕	27.2			2mm以下の石英と長石を多量、赤色酸化粒、黒色粒子を少量含む	ヨコナデ、ハケメ	ハケメ、ナデ	良好	にぶい橙色	橙色	
224		P86		甕	21.4			2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量、1.5mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ、ユビオサエ	良好	にぶい褐色	にぶい褐色	
225		SD12		不明				2mm以下の石英と長石を多量に、3mm以下の赤色酸化粒を少量、角閃石をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	灰褐色	にぶい黄橙色	傾き不詳

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
226		P63		不明				0.5mm以下の赤色酸化粒と長石、石英を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	橙色	明赤褐色	
227			包含層	高杯			10.8	0.5mm以下の赤色酸化粒と黒色粒子を少量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
228			包含層	高杯？	17.6			1mm以下の赤色酸化粒を中量、0.5mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	丹塗り（剥離）
229		P114		杯	13.2			3mm以下の赤色酸化粒を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
230		P104		杯	12.8			3mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ユビオサエ、ナデ、ヘラケズリ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
231		P70		皿	14.6	2.2		1mm以下の赤色酸化粒を多量に含む	ナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい橙色	丹塗り
232		P85		杯	12.4			2mm以下の赤色酸化粒を中量、1.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	淡赤橙色	淡赤橙色	
233		P89		椀	14.0			1mm以下の赤色酸化粒を少量、長石、石英をわずかに含む	ヨコナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	にぶい黄橙色	
234		SB6		皿	15.6	2.4	13.8	3mm以下の赤色酸化粒を中量、長石を少量含む	ナデ、回転ナデ、ヘラケズリ	ユビオサエ、回転ナデ、ユビナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り
235		P91		杯	13.0			1mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
236		P51		椀	15.9			6mm以下の赤色酸化粒を中量、0.5mm以下の長石を少量、雲母、石英もわずかに含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ	良好	橙色	にぶい黄橙色	丹塗り
237		P80		皿	16.8			1.5mm以下の赤色酸化粒を少量、長石を微量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	橙色	丹塗り
238		P44		皿	16.0			3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ	良好	橙色	明赤褐色	丹塗り
239		SB13		杯	12.0			1mm以下の赤色酸化粒を少量、石英をわずかに含む	ナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	浅黄橙色	にぶい黄橙色	
240		P42		杯	10.4	3.1		2mm以下の赤色酸化粒を多量に、1mm以下の長石を中量、石英を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	橙色	灰白色	丹塗り
241		P53		皿	18.6			0.5mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を中量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ	良好	橙色	明赤褐色（丹）	丹塗り
242		SB13		椀				3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	淡橙色	淡橙色	
243		P72		杯				きめが細かい	ナデ	ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	丹塗り
244		P8		杯	13.6	3.1	9.1	1mm以下の赤色酸化粒を多量に含む	ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ	ヨコナデ、ユビオサエ	良好	橙色	橙色	
245		P60		皿	16.4			1mm以下の石英と長石、赤色酸化粒を少量含む	ケズリ、ナデ	ナデ	良好	橙色	明赤褐色	丹塗り
246		P75		椀				0.5mm以下の赤色酸化粒を中量含む　緻密	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	傾き不詳
247		P61		椀				0.5mm以下の赤色酸化粒を中量、長石を少量含む。金雲母を含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	傾き不詳
248		P39		杯？				0.5mm以下の赤色酸化粒を中量、0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	丹塗り
249		P48		椀				きめ細かい	ヨコナデ	ミガキ？	良好	明赤褐色	明赤褐色	丹塗り
250		P71		不明				0.5mm以下の石英、長石を多量、0.5mm以下の雲母を中量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	橙色	傾き不詳

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備　考
251		P48		杯？				0.5mm以下の石英、長石、長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	丹塗り
252		P47		杯				1mm以下の石英、長石を含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り
253		P46		椀				きめ細かい	ヨコナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り
254		P26		不明				0.5mm以下の石英と赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	明赤褐色	橙色	傾き不詳
255		P24		杯				2mm以下の石英と長石、赤色酸化粒を少量含む	ミガキ	ヨコナデ	良好	橙色	浅黄橙色	丹塗り
256		P53		椀	13.7	4.9	7.4	3mm以下の石英を中量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
257		P84		椀	17.2	5.0	8.6	2mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
258		P6		椀	17.0			4mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
259		P43		椀	14.0	5.9	9.5	1～3mmの石英を中量、1mm以下の長石を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
260		P6		椀	18.6	5.4	9.9	1.5mm以下の赤色酸化粒を中量、3mm以下の石英を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	丹塗り
261		P100		椀	15.2			0.5mm以下の長石と1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
262		P8		椀	15.0	5.1	9.0	2mm以下の赤色酸化粒を多量に、0.5mm以下の長石を中量、雲母を少量含む	ナデ	ヨコナデ、ユビオサエ	良好	にぶい橙色	灰黄褐色	
263		SB13		椀	17.6			0.5mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	丹塗り
264			包含層	椀			7.0	3mm以下の石英と1mm以下の長石を少量含む	ナデ、回転ナデ、ケズリ	入念なナデ	良好	にぶい橙色	にぶい黄橙色	
265		P103		椀			7.2	0.5mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	橙色	橙色	
266		P93		椀			8.0	1mm以下の長石と1.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
267		P7		椀			8.4	0.5mm以下の長石と1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	褐灰色	褐灰色	
268		P68		椀			8.2	1mm以下の赤色酸化粒を少量、細かい雲母を中量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	浅黄橙色	灰黄褐色	
269		SB13		椀			6.8	2mm以下の石英を少量、1mm以下の赤色酸化粒を少量、雲母をわずかに含む	ヨコナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
270		P104		椀			9.4	1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ	ナデ、ヨコナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
271		P97		杯				きめが細かい	回転ナデ	回転ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	灯明皿
272		P33		杯	10.2			1mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	浅黄橙色	
273		P109		杯	13.4			1.5mm以下の黒色粒子を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
274		P19		椀？				1mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
275		P23		椀				0.5mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰白色	傾き不詳

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
276		P19		椀				1mm以下の石英、長石を多量に含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
277		P19		椀	13.8	4.6	6.8	3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を多量に含む長石を多量に含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
278		P110		椀	13.1			3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
279		P58		椀			6.2	2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ、ヨコナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
280		P106		椀			6.0	0.5mm以下の長石を微量含む	ヨコナデ	ナデ、ヨコナデ	良好	褐灰色	褐灰色	
281		P73		椀	14.0	4.2	6.3	4mm以下の石英を中量、0.5mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
282		SB13		椀	12.6			1mm以下の石英、長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ヨコナデ	良好	灰白色	灰白色	
283		P111		椀			4.0	3mm以下の石英と6mm以下の長石を少量含む	ヨコナデ	ナデ、ヨコナデ	良好	褐灰色	浅黄橙色	
284		P113		椀			4.9	0.5mm以下の石英と赤色酸化粒を微量含む	ナデ、ヨコナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	淡黄色	黒色	
285		P36		杯	14.0			2mm以下の石英と長石を中量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
286		P69		椀	13.2			1mm以下の石英と長石を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
287		P120		椀			5.6	3mm以下の石英を中量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	灰黄色	灰白色	
288		P110		椀			4.6	1mm以下の石英を微量、きめが細かい	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
289		P100		椀	17.6			1mm以下の長石と赤色酸化粒を少量、細かい雲母を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
290		P110		椀	13.4			2.5mm以下の石英を少量、細かい雲母を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
291		P34		皿	7.2	1.5		0.5mm以下の赤色酸化粒を中量、長石、石英もわずかに含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	ろくろ右回り
292		P25		皿				0.5mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	丹塗り
293		SK28		皿				0.5mm以下の石英、長石と1mm以下の赤色酸化粒を微量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
294		P107		皿	9.0	1.1	6.7	2mm以下の石英と0.5mm以下の石英を中量、赤色酸化粒を微量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰黄褐色	灰黄褐色	
295		P		皿	7.8	1.3	6.8	4mm以下の石英を少量、長石、雲母をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
296		P74		皿	7.6	1.2	7.0	1.5mm以下の石英を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
297			包含層	皿	6.6	1.4	5.1	2mm以下の石英と長石を少量、0.5mm以下の赤色酸化粒を微量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
298		P31		鉢				3mm以下の石英と雲母、赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄褐色	灰黄褐色	
299		P92		杯蓋	12.6			細かい黒色粒子を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
300		P29		杯蓋	15.6			0.5mm以下の石英、長石をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰白色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備　考
301		P72		蓋	14.0			1mm以下の石英と長石を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	ろくろ右回り
302		SB13		杯蓋				4mm以下の長石と1.5mm以下の石英を中量含む	回転ナデ	ユビナデ、回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
303		P10		杯蓋	13.7			1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
304			包含層	杯蓋	15.0			2.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り
305		P112		蓋	16.7			3mm以下の石英と1mm以下の長石を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	ろくろ右回り
306		P108		蓋				2mm以下の石英を少量含む	ナデ	ユビナデ	良好	灰色	灰色	
307		P14		杯身	12.3			1mm以下の石英を少量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ	良好	灰色	灰色	
308		P54		杯身	13.1			4mm以下の石英を中量、2mm以下の長石を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰黄色	
309		P94		蓋	16.4			2mm以下の石英を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰色	
310		P12		蓋				3mm以下の石英を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰色	
311		P67		杯身	12.8	3.8		3mm以下の石英を中量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り
312			包含層	杯身	12.4	3.9		2mm以下の石英を少量、黒色粒子を多量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
313		P37		杯	10.8			1mm以下の石英を少量、1mm以下の黒色粒子を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰褐色	灰白色	
314		P25		杯				1mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	黄灰色	灰色	
315		P49		杯身	13.8			2mm以下の石英と1mm以下の長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
316		P35		杯身	13.0			1mm以下の石英、長石を少量、3.5mm以下の黒色粒子をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	
317			包含層	杯身	13.1			3mm以下の石英を少量含む	ヘラケズリ、回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
318		P64		杯身	9.3	3.7		0.5～3mmの石英を少量、1.5mm以下の長石を中量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り
319		P65		杯身	9.2	3.6		1mm以下の石英、長石を中量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り
320			包含層	杯身	8.8			1mm以下の石英と長石を微量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
321		P72		杯身				黒色粒子を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰白色	
322		SB24		杯			9.0	2mm以下の石英と1mm以下の黒色粒子を中量含む	ヨコナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰色	灰白色	
323		P66		杯			9.0	3mm以下の石英を少量、0.5mm以下の黒色粒子と長石をわずかに含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
324		P66		杯			8.8	1.5mm以下の石英と長石を少量含む	回転ナデ	ユビナデ、回転ナデ	良好	灰色	灰色	
325			包含層	杯			11.4	3.5mm以下の石英と2.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	ユビナデ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備　考
326		P20		杯				2.5mm以下の石英を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
327			包含層	高杯				1.5mm以下の石英、長石を中量含む	回転ナデ	ケズリ	良好	灰色	灰色	
328			包含層	高杯				長石を微量含む	回転ナデ	ケズリ	良好	灰色	灰色	
329		P65		高杯	13.8	9.8	10.9	3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を多量に含む	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	黄灰色	黄灰色	
330		P53		高杯				4mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰白色	灰黄色	ろくろ右回り
331		SB14		高杯				1mm以下の石英、長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
332		P15		高杯				1mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	すかし
333			包含層	高杯			8.8	長石、黒色粒子を微量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰白色	
334			包含層	高杯			9.2	長石を微量含む　緻密	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
335			包含層	高杯				1mm以下の石英と不明石材を少量含む	回転ナデ	ユビナデ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
336			包含層	高杯				3mm以下の石英と1mm以下の長石を少量含む	ナデ	ユビナデ	良好	灰色	灰色	
337		P15		高杯			13.0	2.5mm以下の石英を中量、長石を少量含む	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	灰白色	灰白色	
338		P32		高杯			9.0	0.5mm以下の長石、黒色粒子、雲母を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
339		P120		高杯			8.2	2.5mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	
340		P105		高杯			7.6	0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	黄灰色	黄灰色	
341			包含層	甕	24.6			4mm以下の石英を少量、黒色粒子を少量含む	カキメ、回転ナデ	回転ナデ、タタキ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
342			包含層	壷	16.0			5mm以下の石英を中量含む	回転ナデ、カキメ	回転ナデ、タタキ	良好	灰色	灰色	
343		P20		壷				0.5～2mmの黒色粒子を少量含む	ナデ	ナデ	やや良好	灰色	灰色	
344			包含層	平瓶	6.0			石英と黒色粒子を微量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰色	自然釉
345		P19		甕				2mm以下の石英を中量、細かい粒を多量に含む		ナデ、ヨコナデ	良好	灰色	灰色	自然釉
346		P27		横瓶	6.4			0.5～3.5mmの石英と1mm以下の長石を中量含む	ユビオサエ、ヨコナデ	ユビオサエ、ヨコナデ	良好	灰色	灰色	
347			包含層	壷	10.0			1.5mm以下の黒色粒子を中量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
348			包含層	壷	10.4			2mm以下の石英を少量、黒色粒子を微量含む	回転ナデ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
349			包含層	不明			11.0	2mm以下の石英を少量、1mm以下の黒色粒子を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰色	
350		P38		壷			13.0	3mm以下の石英を多量に含む	ナデ、カキメ	ナデ、ユビオサエ、タタキ	良好	灰色	灰色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備　考
351	A-9、B-9		包含層	浅鉢				1mm以下の石英を中量含む	ナデ	条痕調整	良好	灰黄褐色	灰黄褐色	縄文
352	A-9、B-9		包含層	深鉢				5mm以下の石英と1mm以下の長石を多量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	縄文
353	A-9、B-9		包含層	深鉢				2mm以下の石英を中量含む	条痕調整　ナデ	ナデ	良好	灰黄褐色	褐灰色	縄文
354	B-4		包含層	蓋				3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を多量、赤色酸化粒をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	淡黄色	浅黄橙色	
355	B-5		包含層	蓋	20.8			6mm以下の石英を多量、3mm以下の長石を少量含む	風化している	ナデ、ユビオサエ？	良好	にぶい黄橙色	明赤褐色	
356	B-7		包含層	甕				2.5mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、0.5mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	
357	B-7		包含層	甕				4mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰白色	
358	B-4		包含層	壷	16.6			5mm以下の石英を中量、長石を赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい橙色	
359	B-5		包含層	甕	30.6			4.5mm以下の石英と中量、3mm以下の長石を少量、3.5mm以下の赤色酸化粒と雲母を微量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ	良好	黄灰色	にぶい黄橙色	
360	B-8		包含層	甕				2.5mm以下の石英、1.5mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	浅黄橙色	
361	B-4		包含層	甕				4mm以下の石英を多量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
362	A-11		包含層	甕				3mm以下の石英と2mm以下の長石を中量、赤色酸化粒と雲母を少量含む	ナデ	ナデ	良好	明赤褐色	にぶい橙色	
363	B-8		包含層	甕				2.5mm以下の石英と長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	灰白色	
364	A-11		包含層	甕				3mm以下の石英と2mm以下の長石を少量含む	ナデ	ミガキ	良好	橙色	にぶい黄橙色	
365	B-2		包含層	壷				4mm以下の石英を中量、1mm以下の長石、1.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	にぶい褐色	浅黄橙色	
366	B-10		包含層	壷				3mm以下の石英を多量、5mm以下の赤色酸化粒を微量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
367	B-7		包含層	甕				3mm以下の石英と2.5mm以下の長石を中量、赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ、ユビオサエ	ナデ、ハケメ?	良好	橙色	にぶい黄橙色	
368	B-10		包含層	甕				3mm以下の石英と1mm以下の長石、0.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい黄橙色	
369	B-2		包含層	甕				2.5mm以下の石英と1.5mm以下の長石を中量、赤色酸化粒、角閃石を微量含む	ユビオサエ、ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい橙色	
370	B-2		包含層	甕				3mm以下の石英と1.5mm以下の長石を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	橙色	橙色	
371			包含層	壷	13.0			3.5mm以下の石英と3mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	浅黄橙色	
372	A-9、B-9ベルト		包含層	壷				1.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
373	B-8		包含層	壷				1mm以下の石英を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰白色	
374	B-2		包含層	甕				4.5mm以下の石英と1.5mm以下の長石を中量、赤色酸化粒を微量含む	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
375	B-6		包含層	壷				6mm以下の石英を少量、1mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	灰黄褐色	にぶい黄橙色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
376	A-8		包含層	高杯？				3.5mm以下の石英と0.5mm以下の石英を少量含む	ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ	ヨコナデ、ハケメ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
377	A-8		包含層	壷				3mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	灰褐色	
378			包含層	壷				2.5mm以下の石英と長石を中量、赤色酸化粒を雲母を少量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ、ユビオサエ	良好	浅黄橙色	橙色	
379	B-2		包含層	壷				3.5mm以下の石英と2.5mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
380			包含層	壷				1mm以下の石英と1.5mm以下の長石と2mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ヨコナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	浅黄橙色	
381	A-11		包含層	壷				3mm以下の石英を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
382	B-8		包含層	高杯				4mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、0.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	すかし
383			包含層	甕	14.0			2.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量、赤色酸化粒をわずかに含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	橙色	橙色	
384	B-7		包含層	壷				4mm以下の石英と1.5mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ	ユビオサエ、ヨコナデ、ナデ、ミガキ	良好	灰黄褐色	浅黄橙色	
385	B-2		包含層	壷				3mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	灰白色	橙色	
386	B-7		包含層	壷				4mm以下の石英と1.5mm以下の長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
387	B-7		包含層	甕	15.0			1mm以下の石英、赤色酸化粒、0.5mm以下の雲母を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰褐色	にぶい褐色	
388	C-5		包含層	壷				2mm以下の石英と3mm以下の長石を中量含む	ナデ、ミガキ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	黄灰色	
389	A-8		包含層	壷				4.5mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、0.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ、ユビオサエ、ミガキ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄色	
390			包含層	壷			7.9	3mm以下の石英と1mm以下の長石を多量、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ（ミガキ？）	ユビオサエ、ナデ	良好	灰黄褐色	にぶい黄橙色	
391	B-4		包含層	壷			13.0	4mm以下の石英と2.5mm以下の長石を中量、2mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
392	C-8		包含層	甕			7.2	3.5mm以下の石英と3mm以下の長石を多量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	
393	B-2		包含層	壷			9.0	3.5mm以下の石英と5mm以下の長石を多量、0.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	黄灰色	
394	A-8		包含層	甕			6.4	3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を多量、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい橙色	灰白色	
395	C-6		包含層	甕				3.5mm以下の石英を中量含む	ヨコナデ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
396	B-2		包含層	甕				3mm以下の石英を中量、0.5mm以下の長石を少量、赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ、ユビオサエ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	
397			包含層	甕				1.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量、赤色酸化粒をわずかに含む	ヨコナデ、ハケメ	ヨコナデ、ハケメ	良好	橙色	橙色	
398	Z-11		包含層	甕	25.0			2.5mm以下の石英と1mm以下の長石を中量、角閃石をわずかに含む	ヨコナデ、ハケメ	ナデ	良好	橙色	橙色	
399	Z-11		包含層	甕				3.5mm以下の石英と1mm以下の長石を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
400	A-8		包含層	甕				1mm以下の長石と石英を少量、赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい黄橙色	丹塗り

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
401	B-9		包含層	甕				4mm以下の石英を中量、1.5mm以下の長石含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ(?)、ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	
402	A-10、A-11		包含層	甕	28.2			2.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	ヨコナデ、ナデ、ハケメ?	ナデ、ハケメ?	良好	にぶい褐色	にぶい橙色	
403			包含層	甕				3.5mm以下の石英を中量含む	ナデ?	ユビオサエ、ナデ	良好	灰黄褐色	褐灰色	
404	B-7		包含層	甕	16.8			2mm以下の石英を中量、0.5mm以下の長石と赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	橙色	にぶい黄橙色	丹塗り
405	B-9		包含層	甕	28.0			2.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量含む	ユビオサエ、ヨコナデ、ハケメ	ユビオサエ、ヨコナデ、ハケメ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
406	B-8		包含層	甕	28.0			1mm以下の石英、2mm以下の長石を少量、0.5mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ナデ、ハケメ、ユビオサエ	ナデ、ハケメ	良好	灰黄褐色	にぶい黄橙色	
407	A-8		包含層	甕	29.0			0.5mm以下の石英、長石を少量、赤色酸化粒、黒色粒子を微量含む	ヨコナデ、ハケメ	ヨコナデ、ハケメ、ナデ	良好	にぶい黄橙色	灰黄褐色	
408	C-8		包含層	甕	29.0			1mm以下の石英、長石を多量、0.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ハケメ、ユビオサエ	ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ	良好	浅黄橙色	にぶい黄橙色	丹塗り
409	B-7		包含層	甑	24.4			2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を多量、1mm以下の雲母を多量、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ハケメ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	丹塗り
410	B-8～C-8		包含層	甑				2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量含む	ユビオサエ、ハケメ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	浅黄橙色	
411	B-1		包含層	甑				3mm以下の石英を中量、0.5mm以下の長石を少量含む	ユビオサエ、ハケメ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰黄色	
412	B-7		包含層	器台				3mm以下の石英と0.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	浅黄橙色	
413	B-7		包含層	椀	10.4	6.7		5mm以下の赤色酸化粒を多量、2mm以下の石英を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	
414	Z-10		包含層	台付壷			15.6	2mm以下の長石と石英、0.5mm以下の雲母を中量、0.5mm大の赤色酸化粒をわずかに含む	ユビオサエ?、ミガキ	ユビオサエ、ミガキ、ナデ、ヨコナデ	良好	にぶい褐色	にぶい褐色	
415	A-9、B-9		包含層	高杯	15.6			2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
416	B-6		包含層	高杯	18.6			3.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量、赤色酸化粒、雲母を少量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	
417	B-6		包含層	高杯	19.2			2mm以下の赤色酸化粒を中量、雲母、石英、長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	橙色	丹塗り
418	B-7		包含層	高杯			7.6	2.5mm以下の石英を少量、赤色酸化粒と雲母を微量含む	回転ナデ	回転ナデ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
419	Z-11		包含層	高杯				5mm以下の石英を中量、赤色酸化粒をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ	良好	にぶい橙色	灰褐色	手づくね
420	B-7		包含層	高杯				0.5mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
421	B-8		包含層	蓋				長石をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	明赤褐色	明赤褐色	丹塗り
422	B-10		包含層	蓋				細かい長石と雲母を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ	良好	橙色	明赤褐色	丹塗り
423	B-7		包含層	杯?				0.5mm以下の黒色粒子を少量、雲母をわずかに含む	ナデ	ヨコナデ	良好	にぶい黄橙色	明赤褐色	丹塗り
424	B-4		包含層	杯	14.4			1mm以下の長石、赤色酸化粒、雲母を少量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り
425	B-1		包含層	蓋				0.5mm以下の石英と長石と赤色酸化粒を少量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ?	良好	橙色	橙色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備 考
426	B-8		包含層	蓋				2.5mm以下の石英を少量、7mm以下の灰色粒子を微量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
427	B-4		包含層	杯				2.5mm以下の石英を少量、赤色酸化粒をわずかに含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	丹塗り
428	B-10		包含層	高杯				細かい石英、長石を中量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
429	B-8		包含層	杯				0.5mm以下の赤色酸化粒と長石を少量含む。緻密	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
430	B-8		包含層	杯	14.2	3.6		0.5mm以下の長石を少量、金雲母をわずかに含む	ヘラケズリ	ヨコナデ、ヘラミガキ、ヘラケズリ	良好	橙色	橙色	
431	B-8		包含層	皿				0.5mm以下の長石を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り
432	B-5		包含層	皿				0.5mm以下の赤色酸化粒と長石、石英、雲母を少量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	丹塗り
433	A-6～C-6		包含層	皿	15.8		13.4	1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
434	Z-11		包含層	皿	15.8	2.0	7.7	きめが細かい	回転ナデ、ナデ	不明	良好	にぶい黄橙色	にぶい橙色	
435	B-6		包含層	皿	15.6			2.5mm以下の石英と3mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ、ユビオサエ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	
436			包含層	皿	14.0			1mm以下の石英と長石を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り
437	B-7		包含層	皿	19.4			1mm以下の赤色酸化粒と石英を少量、雲母を少量含む	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	橙色	にぶい橙色	丹塗り
438	B-4		包含層	杯	9.4	2.7	6.5	0.5mm以下の石英、長石を微量含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ(ヨコナデ？)	良好	灰白色	灰白色	
439	C-5		包含層	杯	11.9	3.1	8.6	0.5mm以下の赤色酸化粒、長石を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ	良好	灰白色	灰白色	
440			包含層	杯	12.0	2.9		0.5mm以下の赤色酸化粒と雲母を少量含む	ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ	ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ	良好	灰黄褐色	にぶい黄橙色	丹塗り？
441	B-8		包含層	杯	14.0			0.5mm以下の長石を多量に、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ	良好	橙色	橙色	丹塗り
442	B-4		包含層	杯	10.0		6.0	1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	淡黄色	灰白色	
443	A-9		包含層	杯	12.4	2.6	9.2	1mm以下の赤色酸化粒と1mm以下の石英を少量含む	ユビオサエ、ヨコナデ、ナデ	ユビオサエ、ナデ、ヨコナデ	良好	黄灰色	にぶい黄橙色	
444	B-5		包含層	杯	10.8	3.0	7.8	1mm以下の石英と3mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ナデ、ヘラキリ	ナデ、ユビオサエ？	良好	浅黄橙色	灰白色	
445	B-7		包含層	杯	11.6	3.2		1mm以下の長石をわずかに、0.5～3mmの赤色酸化粒を中量含む	ヨコナデ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
446	B-7		包含層	杯	11.3	2.7		0.5～1mmの長石と2mm以下の赤色酸化粒を多く含む	ナデ	ナデ	良好	灰黄色	にぶい黄橙色	
447	C-6		包含層	杯	12.0	3.6		0.5mm以下の石英と長石、2.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ、ユビオサエ	良好	灰白色	灰白色	
448	C-6		包含層	杯				2.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	丹塗り
449	C-7		包含層	皿	21.0			細かい赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
450	B-5		包含層	椀	12.2	4.2	6.6	4mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量、1mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ユビオサエ、ナデ	良好	にぶい橙色	にぶい橙色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
451	B-5		包含層	椀			8.4	4.5mm以下の石英と0.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	橙色	浅黄橙色	
452	C-4		包含層	杯				2mm以下の石英と1mm以下の長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	
453			包含層	椀				長石、雲母を微量、1.5mm以下の赤色酸化粒を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	丹塗り
454	A-9		包含層	皿	15.2	2.6	9.0	1mm以下の石英と長石、赤色酸化粒を中量、0.5mm大の黒色粒子をわずかに含む	ヨコナデ	ナデ、ヨコナデ	良好	灰白色	浅黄橙色	
455	C-5		包含層	椀	13.4	4.8	7.4	1mm以下の石英と0,5mm以下の長石、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
456	B-7		包含層	椀			7.5	1mm以下の赤色酸化粒を少量、長石、石英を微量含む	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	丹塗り
457	A-11		包含層	椀	16.0	5.2		1.5mm以下の赤色酸化粒を中量、石英を少量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ、ユビオサエ、ヨコナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
458	B-7		包含層	椀	13.9	5.6	7.8	0.5mm以下の石英と長石と1mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ヨコナデ、ナデ、ユビオサエ	良好	浅黄橙色	灰白色	丹塗り
459	B-7		包含層	椀	14.2	4.3	6.4	2mm以下の石英を少量含む	ヨコナデ	入念なナデ	良好	にぶい黄橙色	浅黄橙色	
460	B-5		包含層	椀			9.2	1.5mm以下の石英と1mm以下の長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
461	B-7		包含層	椀	15.5	6.0	8.0	1mm以下の石英と長石を微量、1mm大の赤色酸化粒を少量、雲母をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	丹塗り
462	B-8		包含層	椀	15.0	7.0	8.0	2mm以下の石英と4mm以下の長石を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	丹塗り
463	B-10		包含層	椀	14.6	5.2	8.0	0.5mm以下の石英を中量含む。緻密	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	灰黄褐色	褐灰色	
464	A-9、B-9		包含層	椀				2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を多量、赤色酸化粒、雲母を微量含む	ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰黄色	
465	B-7		包含層	甑				1.5mm以下の石英と、長石と2mm以下の赤色酸化粒と0.5mm以下の雲母を多量に含む	ナデ、ハケメ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰黄褐色	橙色	
466	B-8		包含層	椀	11.2			2.5mm以下の石英を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄色	灰白色	
467	C-7		包含層	椀	13.7			1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	ヨコナデ、ナデ	入念なナデ	良好	灰白色	灰白色	
468	B-7		包含層	椀	11.6	3.6	5.2	2mm以下の石英と長石を少量、4mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	にぶい黄橙色	
469	A-8		包含層	椀	13.8			3mm以下の石英を少量、雲母をわずかに含む	ヨコナデ、ナデ	入念なナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
470			包含層	高杯				2mm以下の赤色酸化粒と4mm以下の長石、石英を多量に含む	ナデ	ナデ、ユビオサエ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	丹塗り、面取り
471	C-7		包含層	椀				0.5mm以下の石英、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ナデ	良好	橙色	橙色	
472			包含層	椀			5.5	0.5mm以下の石英をわずかに含む	ヨコナデ、ナデ？	ナデ、ヨコナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
473	C-7		包含層	椀	14.4			2.5mm以下の石英を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	灰白色	
474	B-2		包含層	椀	12.2	3.2	5.4	3mm以下の赤色酸化粒を少量、石英を少量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ、ヨコナデ	良好	灰白色	灰白色	
475	C-7		包含層	椀	11.4	3.6	4.6	1.5mm以下の石英と赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
476	B-7		包含層	椀	24.0	4.8	6.4	3mm以下の石英と1mm大の長石を中量、1mm以下の赤色酸化粒をわずかに含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	やや	灰白色	灰白色	
477	表採		包含層	椀			6.1	1mm以下の赤色酸化粒を少量、長石と不明粒子をわずかに含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ、ヨコナデ	良好	灰白色	灰白色	
478	A-8		包含層	皿	10.1	2.4		2mm以下の石英を微量、0.1～1mmの赤色酸化粒を中量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
479	A-8		包含層	皿	8.0	1.6		2.5mm以下の石英を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	浅黄橙色	
480			包含層	皿	7.1	1.5	4.8	3mm以下の石英と0.5mm以下の長石、2mm以下の赤色酸化粒を少量、不明粒子を雲母を微量含む	ナデ	ナデ	良好	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	
481	B-1		包含層	皿	9.6	1.7	7.2	2mm以下の石英と長石を少量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、回転ナデ	良好	橙色	にぶい橙色	
482	A-8		包含層	皿	10.8	2.5		3mm以下の石英と1mm以下の長石を微量、1mm以下の赤色酸化粒を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
483	A-8		包含層	皿	10.8	2.7		2mm以下の赤色酸化粒を多く含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
484	A-5		包含層	皿	8.2	1.2	6.9	0.5mm以下の石英と長石を少量、雲母と赤色酸化粒をわずかに含む	ヨコナデ、ナデ	ナデ	良好	浅黄橙色	灰白色	
485			包含層	皿	7.7	1.1	5.6	1.5mm以下の石英を中量、1mm以下の長石、赤色酸化粒を少量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	丹塗り
486	C-7		包含層	皿	7.8	1.5	5.8	1.5mm以下の石英、赤色酸化粒を中量、0.5mm以下の長石を微量含む	ヨコナデ、ナデ	ユビオサエ、ヨコナデ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	
487	A-9		包含層	青磁椀			5.6	細かい粒を多量含む　緻密	不明	不明	良好	明オリーブ灰色	明オリーブ灰色	
488	A-9		包含層	鍋				1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ハケメ?	回転ナデ、ハケメ	良好	暗青灰色	灰色	
489	C-7		包含層	甕	20.7			1mm以下の石英と赤色酸化粒を少量含む	回転ナデ、タタキ	回転ナデ	良好	黄灰色	灰黄色	
490	B-3		包含層	甕	36.0			3mm以下の石英と1.5mm以下の長石を少量、赤色酸化粒をわずかに含む	タタキ、ナデ	回転ナデ	良好	灰黄色	黄灰色	
491	C-6		包含層	不明	60.0			6mm以下の石英を多量、1mm以下の長石と赤色酸化粒を少量含む	ユビオサエ、ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	浅黄橙色	浅黄橙色	丹塗り
492	B-7		包含層	杯蓋	13.0			1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰白色	灰色	ろくろ左回り
493	D-6		包含層	杯蓋	12.4			4mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ、ナデ	回転ナデ、仕上げナデ	良好	にぶい褐色	にぶい褐色	ろくろ左回り
494			包含層	杯蓋				0.5mm大の黒色粒子と白色粒子を中	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	灰色	灰色	
495	A-8		包含層	杯蓋	15.6	2.6		3mm以下の石英と1.5mm以下の長石、2mm以下の黒色粒子を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
496	B-7		包含層	杯蓋	14.4	4.5		2.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量含む	ヘラケズリ、回転ナデ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	
497	B-7		包含層	杯蓋	14.0	3.7		1.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
498			包含層	杯蓋				1mm以下の石英と長石を少量含む	回転ナデ、ユビナデ	ユビナデ、回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
499			包含層	杯蓋				1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	ユビナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
500	B-7		包含層	杯蓋	16.0			4mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
501	B-1		包含層	杯蓋	9.0			4mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り
502	B-8	トレンチ	包含層	杯蓋				3mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰黄色	灰白色	ろくろ右回り
503	C-4		包含層	杯蓋				3.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を中量含む	ナデ、ヨコナデ	ナデ、ユビオサエ	不良	灰白色	にぶい黄橙色	
504	B-8		包含層	杯蓋	17.0			1.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰白色	
505			包含層	杯蓋	14.0			1.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	ナデ	ナデ、ユビオサエ	良好	灰白色	灰白色	ろくろ右回り
506	A-8		包含層	杯蓋	17.6			4.5ミリ以下の石英を中量含む	回転ナデ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰黄褐色	灰白色	ヘラ記号
507	B-7		包含層	蓋				1.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	ユビナデ、回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
508	B-7		包含層	杯身				1mm以下の石英を中量含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰色	
509	C-8		包含層	杯身				3.5mm以下の石英を中量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	暗オリーブ灰色	灰色	
510	B-5		包含層	杯身	12.1	4.2		5mm以下の石英を中量、2mm以下の長石を少量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ、ユビナデ	良好	黄灰色	灰黄色	ろくろ右回り
511	A-9、B-9		包含層	杯身	12.3			1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ左回り
512			包含層	杯身	12.8	5.1		1mm以下の長石を多く含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ、ユビオサエ	良好	灰色	灰色	
513	C-7		包含層	杯身	13.2	4.5		4.5mm以下の石英と3mm以下の長石を中量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	ろくろ右回り
514	A-9		包含層	杯身	12.2			2mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ、仕上げナデ	良好	灰白色	灰色	
515			包含層	杯身	13.2			0.5mm以下の石英と長石を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	黄灰色	灰色	ろくろ左回り
516	A-8		包含層	杯身	12.8	3.7		4mm以下の石英と0.5mm以下の黒色粒子を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、仕上げナデ	良好	灰色	灰白色	
517	B-7		包含層	杯身	12.4			1mm以下の石英を中量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰色	自然釉
518	B-7		包含層	杯身	13.2			3mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ、仕上げナデ	良好	黄灰色	灰色	ろくろ右回り
519	B-7		包含層	杯身	13.7	4.4		2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ、ユビナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	青灰色	ろくろ右回り ヘラ記号
520	B-7		包含層	杯身	13.1	4.0		3mm以下の石英と長石を中量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
521	B-7		包含層	杯身	13.7			1.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
522	B-7		包含層	杯身	13.7	3.6	8.5	2mm以下の石英を少量、1mm以下の黒色粒子を少量含む	回転ナデ、ヘラギリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
523	B-3		包含層	杯	16.5	4.7	9.5	2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	ろくろ右回り
524	A-1～C-1		包含層	杯	14.6	4.3	12.2	0.5mm以下の石英と長石と1.5mm以下の黒色粒子を少量含む	回転ナデ	ナデ、回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
525	A-2～C-2		包含層	杯	15.8			長石をわずかに含む　きめが細かい	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰白色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
526	B-4		包含層	杯	17.2			5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	
527			包含層	椀？	16.5			0.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	黄灰色	
528			包含層	杯			12.0	2mm以下の石英と1mm以下の黒色粒子を少量含む	回転ナデ	ユビナデ、回転ナデ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
529	B-7～C-7		包含層	杯			8.8	3mm以下の石英を少量含む	ナデ	ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	
530	C-6		包含層	皿	15.2	2.1	13.0	1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、ヘラギリ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰白色	灰白色	ろくろ右回り
531	B-6		包含層	杯				2mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
532	B-2		包含層	杯			9.4	0.5mm以下の石英と長石を中量含む	回転ナデ	ユビナデ、回転ナデ、ナデ	良好	灰色	灰色	
533	C-3		包含層	杯			10.8	3mm以下の石英を中量、1.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ	ナデ、ユビナデ	良好	灰黄色	灰黄色	
534	C-8		包含層	杯			12.3	3mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
535	A-8		包含層	高杯	16.0			2mm以下の石英を中量含む	回転ナデ、ヘラケズリ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り すかし
536	C-6		包含層	高杯				1mm以下の石英と長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	黄灰色	黄灰色	
537	A-8		包含層	高杯				4mm以下の石英と1mm以下の長石を中量含む	回転ナデ	ユビナデ、ユビオサエ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
538	C-1		包含層	高杯？			10.6	2mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量、1mm以下の赤色酸化粒を少量含む	回転ナデ	ユビナデ、回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
539	B-7		包含層	高杯	14.4	8.5	10.6	3mm以下の石英を少量、黒色粒子を中量含む	ナデ、ヘラケズリ	ナデ	やや良好	にぶい橙色	にぶい橙色	
540	C-1		包含層	脚台付椀			6.9	2.5mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量、黒色粒子を少量含む	ナデ	ユビナデ	良好	灰白色	灰白色	釉
541	B-7		包含層	高杯				0.5mm以下の石英と長石を中量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	黄灰色	黄灰色	すかし
542	C-6		包含層	高杯				細かい長石、雲母を微量含む	ナデ	不明	良好	にぶい橙色	橙色	
543			包含層	高杯				0.5mm以下の黒色粒子を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰黄色	すかし
544	B-7		包含層	高杯				2.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	ケズリ	良好	灰色	灰色	
545			包含層	高杯			9.6	3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
546			包含層	高杯				1.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	
547			包含層	高杯			9.7	3mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、ケズリ	良好	灰色	灰色	
548			包含層	高杯			8.8	0.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
549	A-9		包含層	高杯				3mm以下の石英を少量、2mm以下の長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、ケズリ	良好	灰白色	灰白色	
550			包含層	高杯			9.7	3.5mm以下の石英と2mm以下の長石を中量、0.5mm以下の赤色酸化粒を微量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
551	B-3		包含層	高杯			10.0	0.5mm以下の長石と黒色粒子を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰白色	灰白色	
552			包含層	高杯			8.2	1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰黄色	灰白色	
553	B-8		包含層	不明			5.8	1.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰白色	
554	A-7～C-7		包含層	壷？			5.9	4mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	ろくろ右回り
555	B-7		包含層	提瓶	8.3			5mm以下の石英を中量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	黄灰色	
556			包含層	壷	8.8			1mm以下の石英と黒色粒子を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
557	B-8		包含層	平瓶				1mm以下の石英と黒色粒子を中量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	黄灰色	黄灰色	自然釉
558	B-8		包含層	甕				1.5mm以下の石英と黒色粒子を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
559	B-9		包含層	壷				1.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰色	
560	B-7		包含層	横瓶	9.8			2mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
561			包含層	壷	14.0			1.5mm以下の赤色酸化粒、0.5mm以下の長石、石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
562	A-11		包含層	壷	11.2			3mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰赤色	
563	B-7		包含層	短頸壷				0.5mm以下の石英と黒色粒子を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
564	B-8		包含層	壷				1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
565			包含層	甕				1.5mm以下の長石をわずかに含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
566	B-8		包含層	横瓶				0.5mm以下の石英、長石を中量、黒色粒子を微量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰白色	灰白色	
567	B-8		包含層	壷				0.5mm以下の石英と黒色粒子を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰オリーブ色	黄灰色	
568	B-8		包含層	甕				0.5mm以下の長石を少量、石英をわずかに含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
569	B-3		包含層	円面硯	9.6			5mm以下の石英を中量含む	ナデ	ユビオサエ、ナデ	良好	灰色	灰色	
570	C-3		包含層	円面硯				3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量、5mm以下の不明粒子をわずかに含む	不明（使用による摩滅か？）	不明（使用による摩滅か？）	良好	灰白色	灰白色	
571			包含層	平瓶				1.5mm以下の石英と長石を中量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、ナデ	良好	灰白色	灰白色	
572			包含層	甑				きめが細かい	回転ナデ	回転ナデ、ケズリ	良好	灰色	灰色	
573	B-5		包含層	壷				1mm以下の石英と長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	黄灰色	灰色	自然釉
574	B-7		包含層	甕				1.5mm以下の石英を少量、3mm以下の長石をわずかに含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰白色	
575			包含層	甕				1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	ユビオサエ、ユビナデ、回転ナデ	良好	灰色	灰色	

番号	地区・グリッド	遺構	層位	器種	口径	器高	底径	胎　土	調整外面	調整内面	焼成	色調外面	色調内面	備考
576	A-9		包含層	甕	19.4			1.5mm以下の石英と0.5mm以下の黒色粒子を中量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰白色	
577	A-10		包含層	短頸壺	12.4			5mm以下の石英と3mm以下の長石を中量含む	ヨコナデ	ヨコナデ	良好	灰色	灰色	
578	Z-9		包含層	壺				3mm以下の石英をわずかに含む	ナデ	ナデ	良好	灰色	灰オリーブ色	
579	B-3		包含層	甕	22.0			1mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
580	B-7		包含層	甕				2mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	黄灰色	灰オリーブ色	
581	B-8		包含層	甕				0.5mm以下の石英と長石を少量含む	ナデ	ナデ	良好	灰白色	黄灰色	
582	B-8		包含層	甕				3mm以下の石英と0.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	オリーブ灰色	
583	B-5		包含層	甕	24.8			4mm以下の石英を少量含む	ヨコナデ	ヨコナデ、タタキ	良好	灰白色	灰白色	
584	B-8		包含層	甕	20.6			2mm以下の石英と1mm以下の黒色粒子を中量含む	回転ナデ	回転ナデ、タタキ	良好	黄灰色	黄灰色	
585	B-7		包含層	甕				0.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ	回転ナデ、ユビナデ	良好	灰色	灰色	
586	B-8		包含層	壺			12.2	3mm以下の石英を少量、2mm以下の黒色粒子を中量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	黄灰色	黄灰色	
587	B-7		包含層	壺				2mm以下の石英と長石を少量含む	回転ナデ	回転ナデ	良好	灰色	灰色	
588	C-7		包含層	甕				0.5mm以下の石英を少量含む	回転ナデ、タタキ	回転ナデ	良好	黄灰色	黄灰色	
589	B-7		包含層	甕?				4mm以下の石英と1.5mm以下の長石を少量含む	回転ナデ、タタキ	タタキ、ケズリ	良好	灰色	灰色	

第２表　石器・石製品一覧表

NO	地区・グリッド	遺　構	層　位	器　種	長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　材	備　考
S1		SB1		打製石鏃	3.0	(1.5)	0.5	(1.6)	サヌカイト	Ⅱ類
S2		SB2		打製石鏃	1.3	1.2	0.3	0.4	サヌカイト	Ⅱ類
S3		SB2		打製石鏃	(1.8)	(1.3)	0.3	(0.7)	サヌカイト	未製品
S4		SB5		打製石鏃	(1.7)	1.5	0.3	(0.7)	サヌカイト	Ⅱ類
S5		SB7		スクレイパー	5.4	(4.8)	0.7	(21.9)	サヌカイト	
S6		SB13		楔形石器	3.6	3.2	1.8	20.6	サヌカイト	
S7		SB13		磨石	11.1	9.9	4.8	748.8	花崗岩	
S8		SB14		楔形石器	1.6	2.1	0.5	1.8	サヌカイト	
S9		SB14		楔形石器	4.7	1.6	1.1	5.9	サヌカイト	
S10		SB14		石斧	(2.6)	2.1	(4.4)	(30.4)	砂岩	
S11		SB18		石錐	(4.0)	2.4	0.8	(5.8)	サヌカイト	
S12		SB25		打製石鏃	(1.8)	1.6	0.3	(0.8)	サヌカイト	Ⅱ類
S13		SB24		石包丁	(2.3)	(3.6)	(0.6)	(5.9)	粘板岩	
S14		SD11		スクレイパー	(4.5)	(3.2)	0.7	(10.5)	サヌカイト	
S15		SD13		打製石鏃	(2.5)	(1.3)	0.3	(1.1)	サヌカイト	未製品
S16		SD13		石錐	(2.6)	(1.1)	0.6	(1.7)	サヌカイト	
S17		SD13		楔形石器	2.6	1.4	0.7	3.0	サヌカイト	
S18		SD13		楔形石器	1.6	1.3	0.7	2.0	サヌカイト	
S19		SD13		石匙	(1.7)	0.7	0.3	(0.4)	サヌカイト	
S20		SD13		スクレイパー？	5.0	7.4	1.1	58.5	頁岩	
S21		SD13		スクレイパー	(3.5)	(3.2)	0.6	(8.1)	サヌカイト	
S22		SD13		石包丁	(3.2)	(3.6)	(0.6)	(9.1)	粘板岩	
S23		SD16		磨石	12.3	9.7	6.4	1000.6	花崗岩	
S24		SD16		砥石	(2.9)	1.7	1.3	(11.3)	アプライト	
S25		SD17		楔形石器	2.7	2.4	0.8	8.3	サヌカイト	
S26		SD20		敲石	10.6	8.2	7.4	1300.0	流紋岩	
S27	A-9	SK5		打製石鏃	1.7	1.5	0.2	0.4	サヌカイト	Ⅱ類
S28	A-9	SK5		石錐	(0.9)	(0.6)	0.3	(0.2)	サヌカイト	
S29	A-9	SK5		スクレイパー	2.8	(3.3)	0.7	(8.1)	サヌカイト	
S30		SK27		石斧	(9.6)	6.6	4.8	(468.9)	流紋岩	未製品
S31		SK8		打製石鏃	(1.0)	1.2	0.2	(0.2)	サヌカイト	
S32		SK8		打製石鏃	(1.6)	(0.9)	0.3	(0.3)	サヌカイト	
S33		SK8		打製石鏃	1.3	1.2	0.3	0.3	サヌカイト	Ⅱ類
S34		SK8		打製石鏃	(1.1)	(1.7)	0.3	(0.8)	サヌカイト	
S35		SK8		打製石鏃	(1.6)	1.7	0.5	(0.9)	サヌカイト	Ⅱ類
S36		SK8		打製石鏃	(1.1)	(1.8)	0.3	(0.6)	サヌカイト	Ⅱ類
S37		SK8		打製石鏃	(1.6)	(0.6)	0.5	(0.6)	サヌカイト	
S38		SK8		打製石鏃	1.8	1.8	0.4	1.2	サヌカイト	未製品
S39		SK8		打製石鏃	2.3	2.0	0.5	1.4	サヌカイト	Ⅱ類
S40		SK8		打製石鏃	2.1	1.7	0.4	0.7	サヌカイト	Ⅱ類
S41		SK8		打製石鏃	(1.8)	2.2	0.4	(1.4)	サヌカイト	Ⅱ類
S42		SK8		打製石鏃	2.3	1.6	0.4	1.1	サヌカイト	Ⅱ類
S43		SK8		打製石鏃	3.6	(1.4)	0.3	(1.3)	サヌカイト	Ⅴ類
S44		SK8		打製石鏃	2.9	(1.0)	0.4	(1.3)	サヌカイト	Ⅴ類
S45		SK8		石錐？	(1.9)	0.7	0.4	(0.6)	サヌカイト	
S46		SK8		石包丁	(4.8)	(7.6)	1.3	(52.8)	粘板岩	未製品
S47		SK18		打製石鏃	2.1	1.7	0.4	0.9	サヌカイト	Ⅱ類
S48		SK23		打製石鏃	(2.1)	(1.3)	0.3	(0.6)	サヌカイト	Ⅱ類
S49		SK21		打製石鏃	(3.3)	(2.6)	0.6	(4.0)	サヌカイト	未製品
S50		SK10		打製石鏃	(2.9)	2.3	0.5	(3.7)	サヌカイト	未製品
S51		SK10		スクレイパー	(1.3)	(2.9)	0.7	(3.4)	サヌカイト	
S52		SK13		楔形石器	2.5	1.8	0.9	5.0	サヌカイト	
S53		SK17		石匙	5.9	(4.0)	0.8	(17.1)	サヌカイト	
S54		SK17		石包丁	2.4	4.3	0.4	6.4	粘板岩	
S55		SK19		磨製石斧	12.7	6.5	4.0	621.8	流紋岩	

NO	地区・グリッド	遺 構	層 位	器 種	長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考
S56		SK3		打製石鏃	(2.0)	(1.6)	0.3	(0.9)	サヌカイト	Ⅱ類
S57		SK3		石錐	2.9	1.1	0.4	1.2	サヌカイト	
S58		P41		打製石鏃	1.4	1.1	0.2	0.3	サヌカイト	Ⅱ類
S59		P59		打製石鏃	1.3	1.1	0.3	0.4	サヌカイト	Ⅱ類
S60		P3		打製石鏃	1.9	1.7	0.4	1.1	サヌカイト	Ⅲ類
S61		P78		打製石鏃	1.4	(1.1)	0.3	(0.3)	サヌカイト	Ⅱ類
S62		P50		打製石鏃	(1.8)	(1.9)	0.4	(1.0)	サヌカイト	Ⅱ類
S63		P62		打製石鏃	2.2	(1.7)	0.4	(1.2)	サヌカイト	Ⅰ類
S64		P57		打製石鏃	(2.3)	1.5	0.3	(0.7)	サヌカイト	Ⅱ類
S65		P40		打製石鏃	(2.6)	(1.2)	0.3	(0.9)	サヌカイト	Ⅴ類
S66		P87		打製石鏃	2.7	(1.0)	0.3	(0.9)	サヌカイト	Ⅱ類
S67		P73		打製石鏃	(3.0)	(1.6)	0.3	(1.5)	サヌカイト	未製品
S68		P90		打製石鏃	3.3	2.8	0.5	4.2	サヌカイト	未製品
S69		P17		打製石鏃	(1.4)	1.7	0.5	(1.3)	サヌカイト	Ⅰ類
S70		P20		打製石鏃	(1.4)	(1.6)	0.3	(0.8)	サヌカイト	Ⅱ類
S71		P13		打製石鏃	(1.3)	(1.2)	0.3	(0.5)	サヌカイト	
S72		P9		打製石鏃	(2.7)	1.5	0.4	(1.8)	サヌカイト	未製品
S73		P9		スクレイパー	(5.0)	2.2	0.6	(8.9)	サヌカイト	
S74		P31		スクレイパー	3.7	(2.4)	0.6	(4.6)	サヌカイト	
S75		P55		楔形石器	2.7	2.1	0.6	4.4	サヌカイト	
S76		P96		楔形石器	2.1	1.9	0.6	2.9	サヌカイト	
S77		P56		楔形石器	2.6	3.1	0.6	5.6	サヌカイト	
S78		P101		楔形石器	2.5	2.2	1.0	7.3	サヌカイト	
S79		SB6		楔形石器	2.4	2.2	0.7	3.9	サヌカイト	
S80		P30		楔形石器	2.7	1.8	0.6	3.8	サヌカイト	
S81		P77		石錐	(2.8)	(1.1)	0.5	(1.3)	サヌカイト	
S82		P52		石包丁？	(3.4)	(1.5)	(0.6)	(4.5)	頁岩	
S83		P16		石包丁	(3.8)	(6.7)	(0.9)	(24.5)	粘板岩	
S84		P98		砥石	(3.0)	(2.1)	(1.9)	(19.4)	アプライト	
S85		P99		磨石	10.4	9.4	3.0	393.4	花崗岩	
S86	C-7		包含層	打製石鏃	2.3	(1.4)	0.2	(0.8)	サヌカイト	Ⅰ類
S87	C-8		包含層	打製石鏃	1.6	1.3	0.3	0.6	サヌカイト	Ⅱ類
S88	B-2		包含層	打製石鏃	1.8	1.4	0.3	0.6	サヌカイト	Ⅰ類
S89	B-5		包含層	打製石鏃	1.8	1.2	0.3	0.7	サヌカイト	Ⅰ類
S90	Z-11		包含層	打製石鏃	1.7	1.5	0.3	0.8	サヌカイト	Ⅰ類
S91	B-6		包含層	打製石鏃	2.5	(1.8)	0.4	(1.5)	サヌカイト	Ⅰ類
S92	C-6		包含層	打製石鏃	(2.1)	1.6	0.3	(0.8)	サヌカイト	Ⅱ類
S93	A-8		包含層	打製石鏃	1.7	1.4	0.3	0.5	サヌカイト	Ⅱ類
S94	B-5		包含層	打製石鏃	(1.4)	1.3	0.2	(0.4)	サヌカイト	Ⅴ類
S95	B-8		包含層	打製石鏃	2.2	1.4	0.4	0.8	サヌカイト	Ⅱ類
S96	Z-11		包含層	打製石鏃	2.3	1.4	0.4	0.9	サヌカイト	Ⅱ類
S97	C-6		包含層	打製石鏃	2.2	1.5	0.3	0.8	サヌカイト	Ⅱ類
S98	C-7		包含層	打製石鏃	2.4	1.6	0.4	1.2	サヌカイト	Ⅱ類
S99	B-8		包含層	打製石鏃	1.8	1.4	0.3	0.5	サヌカイト	Ⅱ類
S100	Z-10		包含層	打製石鏃	2.8	1.6	0.4	1.2	サヌカイト	Ⅱ類
S101	B-8		包含層	打製石鏃	2.8	(1.2)	0.4	(1.0)	サヌカイト	Ⅴ類
S102	D-6		包含層	打製石鏃	3.0	2.3	0.5	2.4	サヌカイト	未製品
S103	C-6		包含層	打製石鏃	3.2	2.5	0.5	3.7	サヌカイト	未製品
S104	D-8		包含層	打製石鏃	3.2	(1.5)	0.5	(2.5)	サヌカイト	Ⅲ類
S105	B-3		包含層	打製石鏃	3.5	2.8	0.7	6.2	サヌカイト	未製品
S106			包含層	打製石鏃	2.0	(1.2)	0.3	(0.7)	サヌカイト	Ⅱ類
S107			包含層	打製石鏃	(2.1)	(1.8)	0.4	(1.6)	サヌカイト	Ⅰ類
S108	A-6		包含層	打製石鏃	(1.9)	(1.9)	0.4	(1.3)	サヌカイト	未製品
S109			包含層	打製石鏃	(2.0)	1.6	0.3	(0.7)	サヌカイト	Ⅱ類
S110			包含層	打製石鏃	(1.7)	1.1	0.3	(0.6)	サヌカイト	Ⅰ類

NO	地区・グリッド	遺 構	層 位	器 種	長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考
S111			包含層	打製石鏃	(1.4)	(1.6)	0.4	(0.8)	サヌカイト	Ⅴ類
S112			包含層	打製石鏃	(1.9)	(1.4)	0.3	(0.5)	サヌカイト	Ⅱ類
S113			包含層	打製石鏃	(1.6)	1.0	0.4	(0.5)	サヌカイト	Ⅱ類
S114			包含層	打製石鏃	(2.4)	1.9	0.5	(2.1)	サヌカイト	Ⅱ類
S116	A-11		包含層	打製石鏃	(1.2)	1.5	0.3	(0.7)	サヌカイト	Ⅱ類
S117	A-10		包含層	打製石鏃	(1.0)	1.8	0.3	(0.6)	サヌカイト	Ⅱ類
S118	A-10		包含層	打製石鏃	(1.9)	(1.0)	0.3	(0.6)	サヌカイト	
S119			包含層	打製石鏃	(1.5)	(1.2)	0.2	(0.4)	サヌカイト	Ⅰ類
S120	C-8		包含層	打製石鏃	(2.0)	(1.6)	0.3	(0.9)	サヌカイト	
S121	B-9		包含層	打製石鏃	(2.3)	(1.4)	0.4	(1.1)	サヌカイト	Ⅰ類
S122	B-9		包含層	打製石鏃	2.2	1.9	0.5	2.0	サヌカイト	Ⅱ類
S123	B-8		包含層	打製石鏃	(1.2)	(1.1)	0.3	(0.6)	サヌカイト	Ⅰ類
S124	B-8		包含層	打製石鏃	3.6	2.2	0.7	4.9	サヌカイト	未製品
S125	B-8		包含層	打製石鏃	(1.7)	(0.9)	0.3	(0.6)	サヌカイト	未製品
S126	C-7		包含層	打製石鏃	2.4	1.0	0.3	0.6	サヌカイト	Ⅱ類
S127	C-7		包含層	打製石鏃	(3.5)	(2.5)	0.4	(2.6)	サヌカイト	未製品
S128	C-7		包含層	打製石鏃	(1.5)	1.4	0.2	(0.4)	サヌカイト	Ⅱ類
S129	C-7		包含層	打製石鏃	(2.3)	(1.5)	0.2	(1.0)	サヌカイト	
S131	B-7		包含層	打製石鏃	(1.5)	(1.5)	0.3	(0.5)	サヌカイト	Ⅱ類
S132	C-6		包含層	打製石鏃	2.7	2.1	0.4	1.9	サヌカイト	未製品
S133	B-6		包含層	打製石鏃	(1.9)	(1.6)	0.3	(0.8)	サヌカイト	未製品
S134	B-4～C-4		包含層	打製石鏃	(1.4)	1.5	0.3	(0.6)	サヌカイト	Ⅱ類
S135	B-3		包含層	石錐	(1.9)	1.2	0.5	(1.4)	サヌカイト	
S136	C-8		包含層	石錐	2.6	1.3	0.4	1.0	サヌカイト	
S137			包含層	石錐	4.0	2.2	0.5	3.7	サヌカイト	
S138			包含層	石錐	(2.9)	(1.2)	0.8	(0.9)	サヌカイト	
S139	C-8		包含層	石錐	(2.6)	(0.7)	0.3	(0.8)	サヌカイト	
S139	B-7		包含層	打製石鏃	2.1	(1.5)	0.3	(0.9)	サヌカイト	Ⅱ類
S140	B-9		包含層	石錐	(2.5)	1.2	0.4	(1.1)	サヌカイト	
S141	B-9		包含層	石錐	(2.8)	(1.6)	0.6	(3.3)	サヌカイト	
S142	C-7		包含層	石錐	(1.6)	1.5	0.2	(0.7)	サヌカイト	
S143	B-5		包含層	石錐	(3.3)	(1.3)	0.5	(2.8)	サヌカイト	未製品
S144	D-7		包含層	石錐	(2.4)	1.8	0.4	(2.6)	サヌカイト	
S145	B-7～C-7		包含層	石錐	(1.3)	(0.5)	0.2	(0.2)	サヌカイト	
S146			包含層	楔形石器	2.8	1.1	0.6	2.2	サヌカイト	
S147	C-8		包含層	楔形石器	3.2	1.7	0.6	3.2	サヌカイト	
S148	C-7		包含層	楔形石器	3.1	1.8	0.8	5.4	サヌカイト	
S149	A-6～C-6		包含層	楔形石器	2.5	2.0	0.7	5.1	サヌカイト	
S150	C-8		包含層	楔形石器	3.4	1.4	1.1	5.9	サヌカイト	
S151	A-6～C-6		包含層	楔形石器	2.3	1.6	0.6	3.2	サヌカイト	
S152			包含層	楔形石器	2.5	1.5	0.7	2.9	サヌカイト	
S153	B-9		包含層	楔形石器	2.8	1.9	0.8	5.3	サヌカイト	
S154	C-7		包含層	楔形石器	2.5	2.5	0.8	8.3	サヌカイト	
S155	B-5		包含層	楔形石器	4.9	3.9	1.3	30.6	サヌカイト	
S156	B-5		包含層	楔形石器	3.6	4.3	1.3	27.3	サヌカイト	
S157	Z-11		包含層	楔形石器	5.7	(7.5)	1.0	(67.0)	サヌカイト	
S158	B-6		包含層	楔形石器	2.3	2.8	0.7	5.4	サヌカイト	
S159			包含層	楔形石器	2.8	1.6	0.6	3.3	サヌカイト	
S160	B-4		包含層	楔形石器	3.0	2.6	1.0	1.4	サヌカイト	
S161	B-4		包含層	楔形石器	2.8	2.7	1.1	7.5	サヌカイト	
S162	A-5		包含層	楔形石器	3.7	2.4	0.7	7.5	サヌカイト	
S163	B-5		包含層	楔形石器	2.5	2.3	0.9	4.8	サヌカイト	
S164	B-5		包含層	楔形石器	3.3	1.1	0.4	2.6	サヌカイト	
S165	C-5		包含層	楔形石器	2.8	2.4	0.6	5.8	サヌカイト	
S166			包含層	楔形石器	5.5	2.0	0.9	11.4	サヌカイト	

NO	地区・グリッド	遺 構	層 位	器 種	長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考
S167	A-11		包含層	楔形石器	2.5	2.4	0.7	5.1	サヌカイト	
S168	A-10		包含層	楔形石器	4.8	3.5	1.3	26.4	サヌカイト	
S169	A-10		包含層	楔形石器	2.5	2.8	0.9	7.9	サヌカイト	
S170			包含層	楔形石器	3.9	3.3	1.2	18.4	サヌカイト	
S171	B-8		包含層	楔形石器	3.2	2.2	0.8	6.5	サヌカイト	
S172	B-8		包含層	楔形石器	4.0	2.4	0.4	6.2	サヌカイト	
S173	B-3		包含層	楔形石器	2.8	3.1	0.8	6.8	サヌカイト	
S174	B-5		包含層	楔形石器	2.9	2.7	0.9	7.9	サヌカイト	
S175	B-9、B-10、A-10		包含層	楔形石器	4.6	3.1	1.1	20.4	サヌカイト	
S176	A-1～C-1		包含層	楔形石器	5.0	2.2	1.7	20.8	サヌカイト	
S177	C-8		包含層	楔形石器	2.3	3.0	0.8	7.1	サヌカイト	
S178	B-4、B-5、C-4		撹乱	楔形石器	4.1	2.8	0.9	9.6	サヌカイト	
S179	A-10		包含層	楔形石器	1.8	2.1	0.6	3.6	サヌカイト	
S180	A-11		包含層	石匙	(3.1)	(2.5)	0.6	(3.7)	サヌカイト	
S181	C-8		包含層	石包丁	4.3	10.5	2.2	150.2	頁岩	未製品
S182	A-6		包含層	石包丁	4.8	(6.3)	1.0	(43.5)	砂岩	
S183	A-1～C-1		包含層	石包丁	(4.0)	(7.1)	1.1	(30.7)	砂岩	
S184	B-6		包含層	石包丁	(4.2)	(5.0)	(1.0)	(16.8)	頁岩	
S185	C-3		包含層	石包丁	5.2	(6.1)	(1.4)	(61.2)	砂岩	未製品
S186	A-11		包含層	石包丁	5.7	3.3	0.9	5.7	砂質片岩	未製品
S187			包含層	石包丁	(2.7)	(4.8)	(0.9)	(14.4)	黒色頁岩	
S188	B-8		包含層	石包丁	(3.7)	(7.5)	1.1	(36.6)	粘板岩	未製品
S189	C-8		包含層	石包丁	(3.0)	(4.9)	(0.5)	(9.4)	頁岩	
S190	C-8		包含層	石包丁	(4.0)	(4.1)	0.8	(18.9)	泥質片岩	
S191	B-7		包含層	石包丁	4.7	(5.9)	1.2	(45.4)	泥質片岩	
S192	B-7		包含層	石包丁	5.3	(6.1)	1.4	(60.3)	砂岩	未製品
S193	B-6		包含層	石包丁	(5.3)	(6.7)	(0.8)	(45.9)	頁岩	
S194	C-2		包含層	石包丁？	(4.4)	(3.9)	0.8	(18.8)	砂岩	
S195	B-8～C-8		包含層	石包丁	(3.4)	(3.9)	(0.7)	(11.9)	頁岩	未製品
S196	B-8		包含層	打製石包丁	6.3	(6.4)	1.7	(75.0)	サヌカイト	
S197	C-4		包含層	スクレイパー	6.2	7.2	1.5	70.6	サヌカイト	
S198	B-4		包含層	スクレイパー	3.7	2.4	0.8	16.3	サヌカイト	
S199	B-5		包含層	スクレイパー	(3.0)	(4.9)	0.7	(11.5)	サヌカイト	
S200	C-9		包含層	スクレイパー	(2.8)	(2.8)	0.7	(7.2)	サヌカイト	
S201	B-8		包含層	スクレイパー	4.7	(5.0)	0.9	(27.7)	サヌカイト	
S202	B-4		包含層	スクレイパー	(4.7)	6.3	0.7	(45.8)	サヌカイト	
S203	C-6		包含層	スクレイパー	(4.3)	(4.5)	0.9	(17.0)	サヌカイト	
S204	C-8		包含層	石斧	13.2	6.2	4.7	617.6	流紋岩	
S205	B-9		撹乱	片刃石斧	(3.7)	(2.5)	(0.7)	(28.7)	泥質片岩	
S206	B-7		包含層	石斧	(6.7)	(5.3)	(4.3)	(150.1)	流紋岩	
S207			包含層	石斧	(6.8)	(2.5)	5.0	(129.1)	流紋岩	
S208			包含層	石斧	(9.1)	(5.2)	(3.8)	(208.8)	流紋岩	
S209	B-2		包含層	石斧	12.8	7.4	3.4	380.3	流紋岩	未製品
S210	B-2		包含層	石斧	(8.9)	(4.1)	(1.9)	(123.8)	泥質片岩	未製品
S211	B-5		包含層	石斧	12.8	7.9	6.1	943.4	流紋岩	未製品
S212			包含層	石斧	(11.0)	8.3	3.3	(534.2)	流紋岩	未製品
S213	A-1～C-1		包含層	石斧	(7.8)	(5.6)	3.9	(257.1)	流紋岩	
S214	B-8		包含層	石斧	(6.8)	(5.9)	3.7	(209.7)	斑レイ岩	
S215	D-6		包含層	砥石	(4.6)	3.6	3.5	(85.2)	アプライト	
S216			包含層	砥石	(4.0)	(3.9)	(3.9)	(104.1)	砂岩	
S217			包含層	砥石	8.8	6.0	3.1	268.7	砂岩	
S218	B-1		包含層	砥石？	13.7	4.0	3.4	366.2	砂岩	
S219	A-1～C-1		包含層	砥石	(8.2)	(3.9)	(3.5)	(200.2)	砂岩	
S220	A-5		包含層	磨石	8.9	7.1	3.0	256.0	砂岩	
S221	A-1～C-1		包含層	磨石	(5.1)	7.4	5.5	(284.5)	花崗岩	

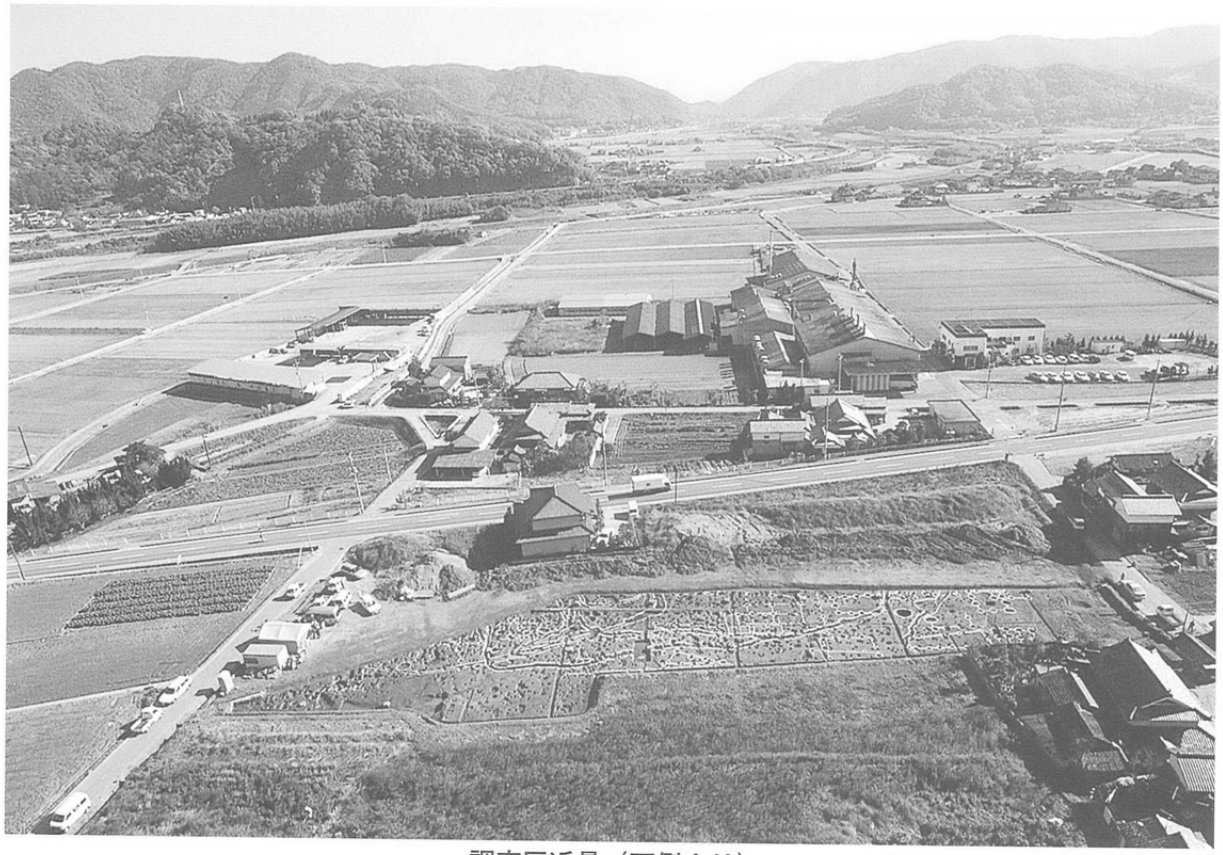
NO	地区・グリッド	遺 構	層 位	器 種	長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石 材	備 考
S222			包含層	石斧→敲石	(9.9)	7.0	5.0	(612.6)	流紋岩	
S223	A-1～C-1		包含層	敲石	7.9	(5.6)	4.7	(310.7)	砂岩	
S224			包含層	敲石	7.3	7.0	6.4	491.5	花崗岩	
S225	Z-11			切子玉	(1.9)	1.4	1.4	(4.0)	石英	
S226	C-8			石鍋					滑石	
S227			包含層	打製石鏃	1.4	1.3	0.2	0.4	サヌカイト	Ⅰ類
S228			包含層	打製石鏃	(1.2)	(1.1)	0.2	(0.3)	サヌカイト	
S229			包含層	打製石鏃	(1.8)	(1.7)	0.4	(0.9)	サヌカイト	Ⅱ類
S230			包含層	打製石鏃	(1.9)	(1.7)	0.3	(0.9)	サヌカイト	Ⅲ類
S231			包含層	打製石鏃	(2.0)	1.5	0.4	(1.1)	サヌカイト	Ⅰ類
S232	B-7		包含層	打製石鏃	(2.0)	1.4	0.3	(0.7)	サヌカイト	Ⅰ類
S233	B-7		包含層	打製石鏃	2.6	1.5	0.3	1.2	サヌカイト	Ⅱ類
S234			包含層	打製石鏃	(1.7)	(1.0)	0.3	(0.6)	サヌカイト	Ⅱ類
S235	B-6		包含層	打製石鏃	3.2	(1.4)	0.4	(1.9)	サヌカイト	Ⅱ類
S236	B-7		包含層	打製石鏃	(1.9)	(1.3)	0.3	(0.7)	サヌカイト	Ⅱ類
S237	B-7		包含層	打製石鏃	(2.0)	(1.5)	0.3	(0.7)	サヌカイト	Ⅱ類
S238	B-7		包含層	打製石鏃	1.8	1.4	0.3	0.8	サヌカイト	
S239	B-7		包含層	打製石鏃	2.0	1.0	0.3	0.5	サヌカイト	
S240	B-7		包含層	打製石鏃	(1.6)	(1.4)	0.3	(0.9)	サヌカイト	
S241			包含層	打製石鏃	2.3	2.0	0.4	1.6	サヌカイト	Ⅱ類
S242			包含層	石錐	(3.4)	1.8	0.4	(1.9)	サヌカイト	未製品
S243			包含層	楔形石器	2.5	2.2	0.9	5.5	サヌカイト	
S244	B-7		包含層	楔形石器	2.2	1.4	0.7	2.4	サヌカイト	
S245	B-7		包含層	楔形石器	2.3	1.7	0.7	3.5	サヌカイト	
S246			包含層	楔形石器	3.0	4.8	1.1	18.9	サヌカイト	
S247	B-6		包含層	楔形石器	2.1	3.2	0.9	6.8	サヌカイト	
S248	B-6		包含層	楔形石器	2.8	2.1	0.8	4.9	サヌカイト	
S249	B-7		包含層	楔形石器	(1.8)	(2.3)	0.6	(3.4)	サヌカイト	
S250	A-4、B-4		包含層	楔形石器	3.6	2.4	1.0	12.8	サヌカイト	
S251	B-7		包含層	石匙	(3.6)	(2.2)	0.5	(5.0)	サヌカイト	
S252	A-4、B-4		包含層	スクレイパー	3.9	2.2	0.8	8.0	サヌカイト	
S253			包含層	片刃石斧	4.4	2.7	1.2	28.1	頁岩	
S254	表採			打製石鏃	3.2	(2.0)	0.4	(2.6)	サヌカイト	未製品
S255	表採			打製石鏃	2.0	(1.8)	0.3	(1.3)	サヌカイト	Ⅰ類
S256	表採			打製石鏃	1.9	(1.1)	0.3	(0.7)	サヌカイト	Ⅰ類
S257	表採			打製石鏃	(1.4)	1.3	0.2	(0.6)	サヌカイト	Ⅱ類
S258	表採			打製石鏃	(1.5)	(1.3)	0.4	(0.7)	流紋岩	Ⅱ類
S259	表採			打製石鏃	(1.4)	(1.0)	0.2	(0.4)	サヌカイト	
S260	表採			打製石鏃	1.9	1.3	0.3	0.7	サヌカイト	Ⅰ類
S261	表採			打製石鏃	2.5	1.6	0.3	10.0	サヌカイト	Ⅱ類
S262	表採			打製石鏃	(2.0)	(2.0)	0.3	(1.2)	サヌカイト	未製品
S263	表採			打製石鏃	2.4	1.7	0.3	1.1	サヌカイト	Ⅱ類
S264	表採			石錐	(2.3)	(1.0)	0.4	(1.0)	サヌカイト	
S265	表採			石錐	(1.6)	1.5	0.3	(0.7)	サヌカイト	
S266	表採			楔形石器	2.4	2.3	0.5	4.9	サヌカイト	
S267	表採			楔形石器	2.3	1.4	0.7	2.7	サヌカイト	
S268	表採			楔形石器	1.9	1.5	0.8	2.9	サヌカイト	
S269	表採			楔形石器	2.6	2.0	0.5	3.3	サヌカイト	
S270	表採			楔形石器	4.0	0.6	0.9	2.5	サヌカイト	
S271	表採			楔形石器	2.1	1.9	0.8	3.2	サヌカイト	
S272	表採			スクレイパー	(2.9)	(2.2)	1.0	(6.3)	サヌカイト	
S273	表採			石包丁	(2.9)	(1.6)	(0.3)	(1.9)	粘板岩	
S274	表採			石包丁	(4.5)	(7.3)	1.1	(51.5)	頁岩	
S275	表採			石包丁	4.6	(4.9)	0.9	(31.6)	泥質片岩	
S276	表採			石包丁	(2.5)	(3.3)	0.8	(8.2)	頁岩	

NO	地区・グリッド	遺　構	層　位	器　種	長(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石　材	備　考
S277	表採			石包丁？	(4.1)	(2.9)	(0.8)	(10.1)	安山岩	
S278	表採			石包丁？	(4.9)	(3.8)	0.8	(22.6)	サヌカイト	
S279	表採			石包丁	(1.5)	(4.1)	(0.3)	(2.4)	黒色頁岩	
S280	表採			石包丁？	(1.3)	(3.2)	(0.4)	(2.2)	泥質片岩	
S281	表採			石包丁	(2.7)	(5.1)	(0.7)	(11.9)	泥質片岩	
S282	表採			砥石	(2.8)	(2.0)	(1.8)	(13.7)	砂岩	

第３表　土製品一覧表

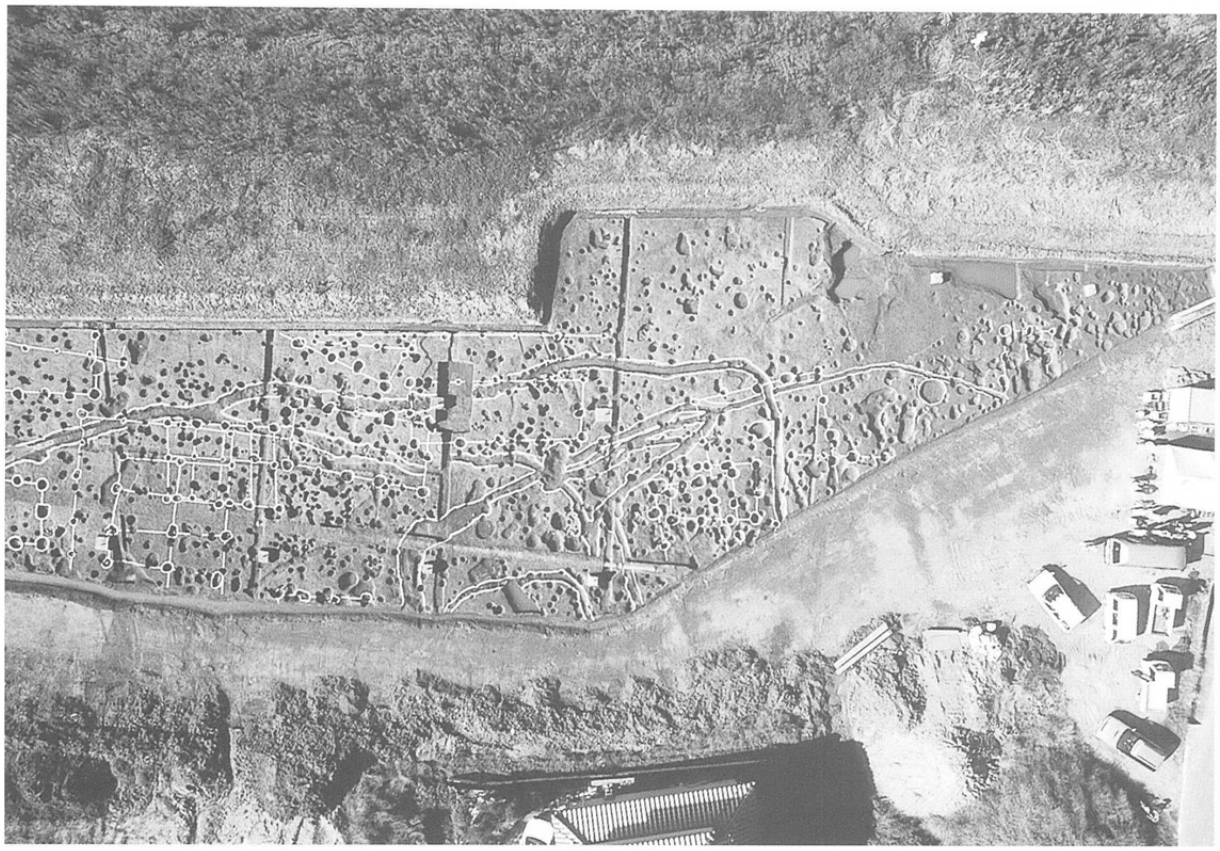
NO	地区・グリッド	遺　構	層　位	器　種	長	幅	重　量	備　考
C1		SD13		土錘	9.7	3.6	117.9	
C2		SD13		土錘	9.3	3.5	113.9	
C3		SK15		土錘	(4.4)	1.3	(5.8)	
C4		P121		土錘	(2.9)	1.7	(7.9)	
C5			包含層	土錘	4.5	1.7	13.2	
C6	C-6		包含層	土錘	4.8	2.1	20.4	
C7			包含層	土錘	5.4	1.1	6.0	
C8	C-8		包含層	土錘	4.7	1.3	6.9	
C9	C-8		包含層	土錘	3.9	1.2	5.5	
C10	C-7		包含層	土錘	(2.7)	1.5	(5.0)	
C11	A-1～C-1		包含層	土錘	3.6	(1.7)	(4.3)	
C12	C-9	撹乱		土錘	3.2	1.5	5.5	
C13	B-9		包含層	土錘	(3.2)	1.2	(3.9)	
C14	D-7		包含層	土錘	(2.9)	1.4	(4.3)	
C15	C-8		包含層	土錘	(3.9)	1.3	(5.5)	
C16	B-7		包含層	土錘	(3.6)	1.2	(5.3)	
C17	C-9		包含層	土錘	(3.4)	1.3	(5.9)	
C18	C-9		包含層	土錘	4.7	1.4	8.4	
C19	C-7		包含層	土錘	(4.2)	1.3	(6.2)	
C20	C-8		包含層	土錘	(4.5)	1.2	(5.0)	
C21	C-8		包含層	土錘	(4.4)	1.2	(8.9)	
C22	C-7		包含層	土錘	(3.7)	1.5	(8.7)	
C23	C-7		包含層	土錘	(4.2)	1.7	(11.1)	
C24	B-6		包含層	土錘	4.5	1.6	9.7	
C25		SD13		鞴羽口			(58.1)	
C26		SD13		鞴羽口			(55.4)	
C27	A-8		包含層	鞴羽口			(137.6)	
C28			包含層	鞴羽口			(255.9)	
C29	表採			土錘	(3.4)	1.5	(5.3)	
C30	表採			土錘	(3.8)	1.5	(6.3)	

調査区遠景

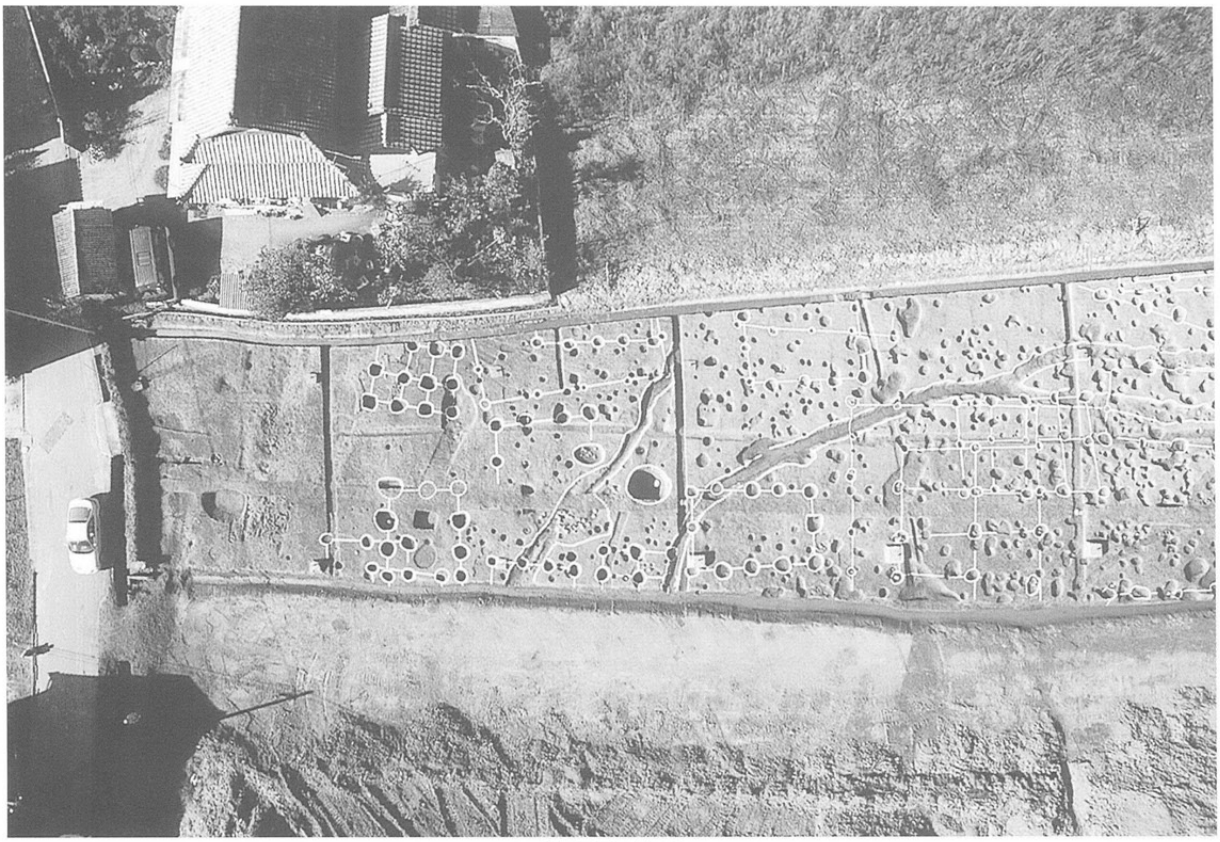


調査区近景（西側より）

図版 2



調査区（1）



調査区（2）

調査区現状

表土掘削状況

遺構検出状況（1）

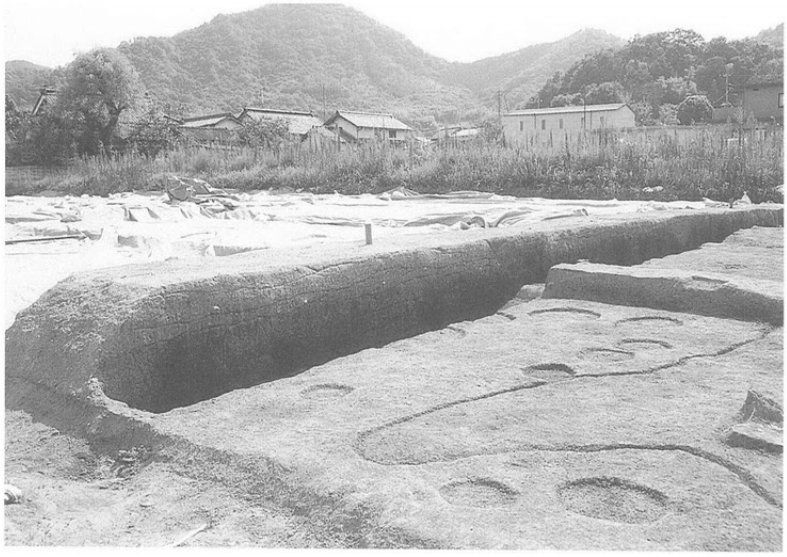
図版 4

遺構検出状況（2）

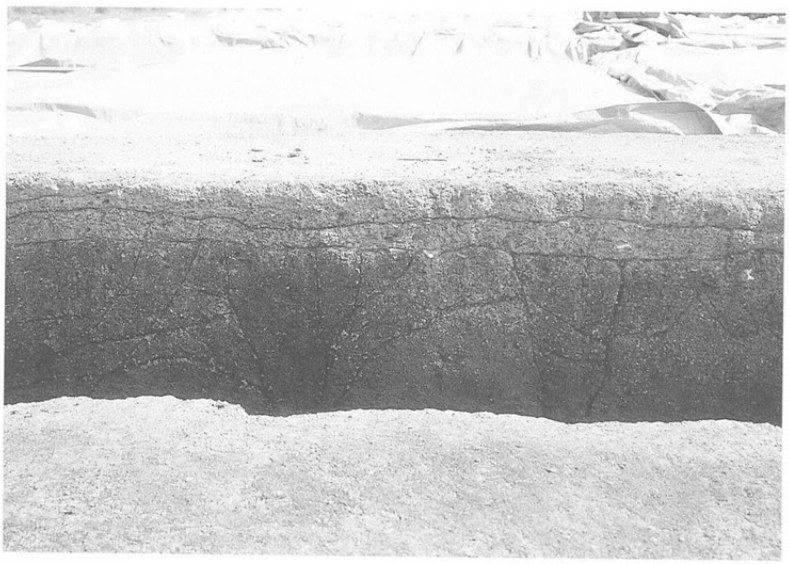
調査区西壁セクション（1）

調査区西壁セクション（2）

調査区西壁セクション（３）



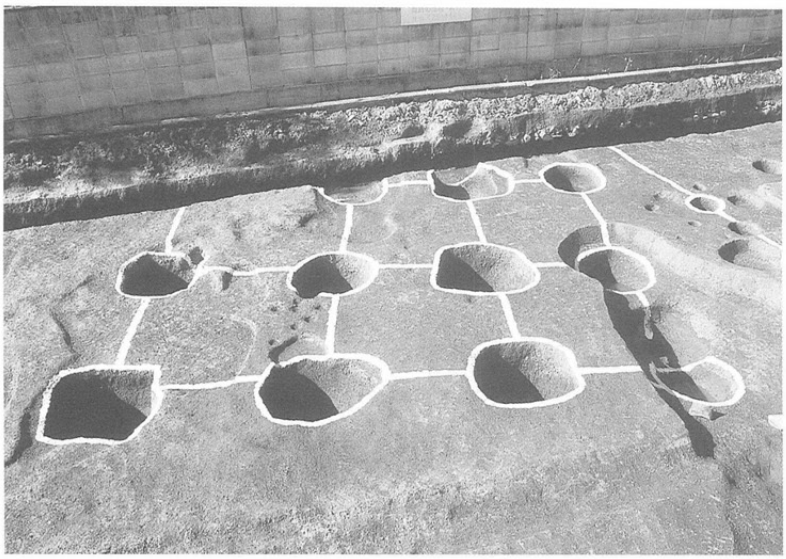
東西トレンチＴ１



東西トレンチＴ１セクション

図版 6

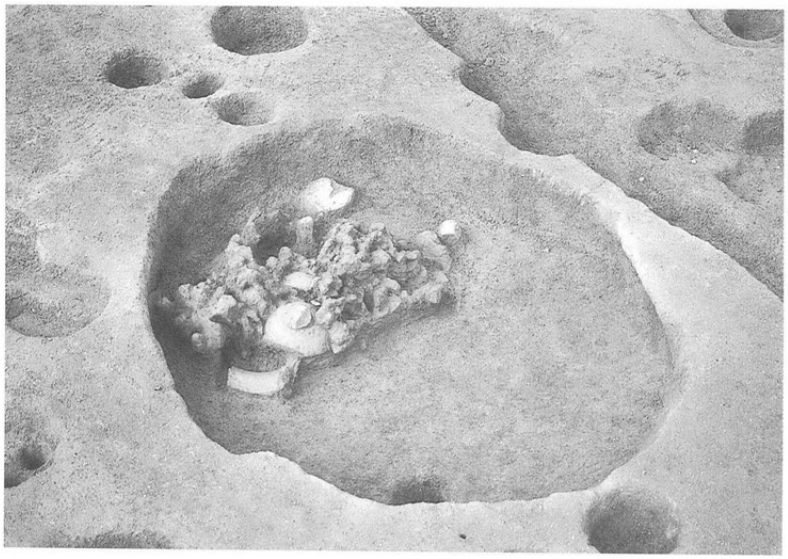
堀立柱建物完掘状況



建物跡完掘状況

焼土壙検出状況

焼土壙断面



焼土壙完掘状況（1）

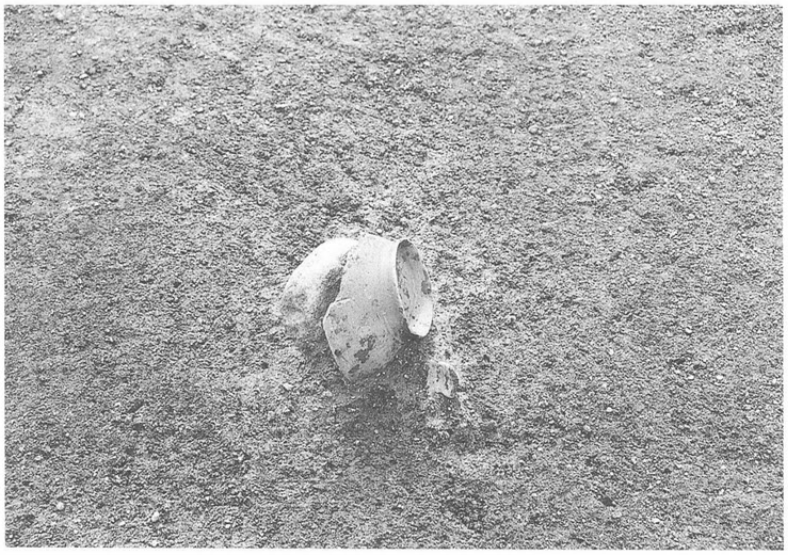
焼土壙完掘状況（2）

図版 8

土壙断面

土壙完掘状況

遺物出土状況（1）



遺物出土状況（2）

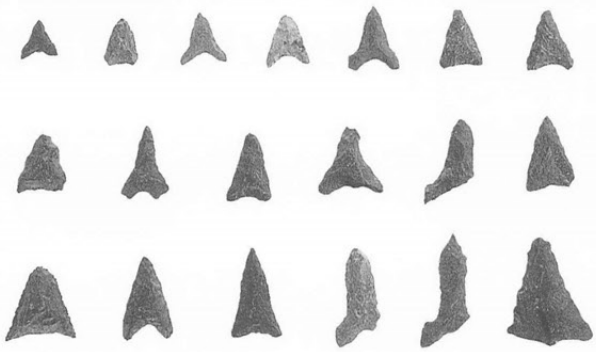
遺物出土状況（3）

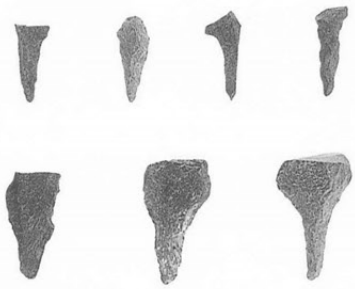
遺物出土状況（4）

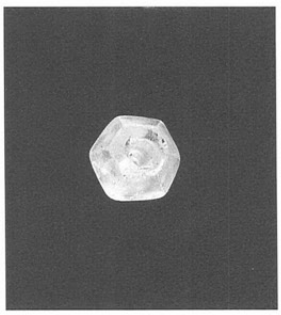
図版10

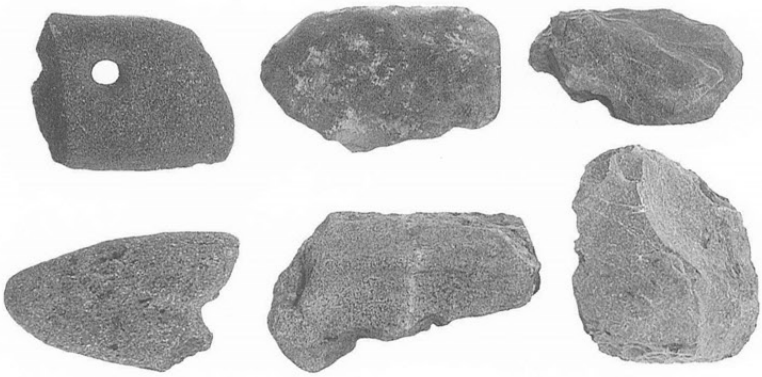
出土土器（3）

出土土器（4）

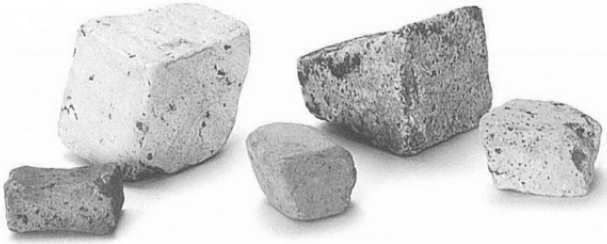








出土石器・石製品（1）



出土石器（2）

図版14

出土土製品

報告書抄録

ふりがな	しみずだにいせきーゆのきちくー
書名	清水谷遺跡ー柚木地区ー
副書名	里山田地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査(2)
シリーズ名	矢掛町埋蔵文化財発掘調査報告
シリーズ番号	2
編集・発行機関	岡山県矢掛町教育委員会
所在地	〒714－1201　岡山県小田郡矢掛町矢掛2677－1　TEL 0866－82－2100
発行年月日	2003年3月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 m²	調査原因
しみずだにいせき 清水谷遺跡	おかやまけん 岡山県 おだぐん 小田郡 やかげちょう 矢掛町 さとやまだ 里山田 1361－1・ 1362－1	33461		34° 36′ 43″	133° 35′ 43″	2001.5.14 ～ 2002.3.29	1,510m²	里山田地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
清水谷遺跡	集落	弥生時代前期 古墳時代・中世	掘立柱建物・ 土壙・溝 柱穴	縄文土器・弥生土器・ 須恵器・土師器・石器・ 石製品・土製品	

矢掛町埋蔵文化財発掘調査報告２

清水谷遺跡
〈柚木地区〉

里山田地区県営圃場整備事業に伴う発掘調査（２）

平成15年３月25日　印刷
平成15年３月31日　発行

編集・発行　岡山県矢掛町教育委員会
岡山県小田郡矢掛町矢掛2677-1

印　　刷　サンコー印刷株式会社